

令和7年度 知的財産行政情報の収集促進支援調査事業

特許庁の戦略的な広報実施に向けた調査  
調査報告書

令和8年3月

三菱UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社



## 目 次

### 本編

第1部.	既存ホームページの課題把握に向けた調査.....	1
第1章	企業支援情報の発信に関する現状把握.....	1
第1節.	調査目的.....	1
第2節.	事前準備.....	1
第3節.	調査概要.....	4
第4節.	実施方法.....	5
第5節.	調査結果.....	6
第6節.	ウェブサイトデザインのトレンド・ベストプラクティスの選出.....	28
第7節.	特許庁、I N P I T及び関係団体の担当者へのアンケート調査.....	32
第2章	ユーザーのニーズ調査.....	48
第1節.	調査対象の選定.....	48
1.	企業および知財関係者（ユーザー①～⑧）の調査対象の選定.....	48
2.	知財の知識や知財制度になじみのない一般の方（ユーザー⑨）の調査対象の選定.....	48
第2節.	調査方法の検討及び実施.....	48
1.	企業および知財関係者（ユーザー①～⑧）の調査方法.....	48
2.	知財の知識や知財制度になじみのない一般の方（ユーザー⑨）の調査方法.....	48
3.	調査の概要.....	48
第3節.	調査結果.....	50
1.	調査1回目.....	50
2.	調査2回目.....	55
3.	調査3回目.....	55
第3章	課題の抽出・整理.....	56
第1節.	ターゲットユーザーの定義.....	56
第2節.	トップページに関する課題.....	56
第3節.	第二階層目以降に関する課題.....	57
第4章	課題解決手段の整理.....	59
第1節.	トップページに関する課題解決.....	59
1.	ユーザーごとの解決手段の整理.....	59
2.	課題解決.....	59
第2節.	第二階層目以降に関する課題解決.....	67
第2部.	特許庁ホームページのトップページのリニューアルに関する調査.....	68

第1章 課題及び課題解決手段に関する検証.....	68
第1節. 検証プロセス.....	68
第2節. 検証環境構築.....	68
第2章 試作ページを用いたヒアリング.....	69
第1節. 特許庁、INPIT 及び関係団体の担当者へのアンケート調査.....	69
第2節. ユーザーニーズ調査（2回目）.....	83
1. 調査結果.....	83
第3章 試作ページの改良.....	85
第1節. 特許庁向け調査結果に基づく改良点.....	85
第2節. 外部利用者向け調査結果に基づく改良.....	86
第3節. その他の改良（デジタル庁の指摘に基づく改良）.....	87
第4章 トップページ媒体の納入.....	89
第1節. 納入プロセス.....	89
第2節. 納入に向けた手続き.....	89
第3節. 納入物.....	89
第4節. 納入サイトの UX 評価.....	114
第5節. アクセシビリティ.....	115
第6節. 今後の運用に向けた、ウェブデザインの改善提案.....	117
第3部. 特許庁ホームページの第二階層以下のリニューアルに向けた準備.....	119
第1章 既存ホームページの問題点の把握.....	119
第1節. 調査対象ページ.....	119
第2節. 問題点の整理.....	119
第3節. 特許庁の第二階層以下のページユーザーの体験（UX）の評価アクセシビリティ.....	121
第4節. アクセシビリティ.....	122
第2章 特許庁ホームページのあり方検討.....	125
第1節. 解決手段の整理.....	125
第2節. あり方の検討.....	125
第3章 改善策（案）についてのヒアリング.....	136
第1節. 特許庁、INPIT 及び関係団体の担当者へのアンケート調査.....	136
第2節. ユーザーニーズ調査（3回目）.....	140
1. 調査結果.....	140
第4章 特許庁関係者に対するヒアリング結果に基づく改善策の検討.....	143
第1節. ヒアリング結果に対する所感.....	143
第2節. 改善すべき課題.....	143

第3節. 改善策の検討.....	144
第5章 特許関係ユーザーに対するヒアリング結果に基づく改善策の検討.....	145
第1節. ヒアリング結果に対する所感.....	145
第2節. 改善すべき課題.....	145
第3節. 改善策の検討.....	146
第4部. 特許庁及び INPIT 職員向け検討会及び報告会の開催.....	147
第1章 検討会の開催.....	147
第1節. 検討会の開催概要.....	147
第2章 報告会の開催.....	149
第1節. 報告会の開催概要.....	149
第5部. 調査総括.....	151
第1章 調査概要.....	151
第2章 個別調査結果のまとめ.....	151
第1節. 既存ホームページの課題把握に向けた調査.....	151
第2節. 特許庁ホームページのトップページのリニューアルに関する調査.....	151
第3節. 特許庁ホームページの2階層以下のリニューアルに向けた準備.....	152
第4節. 特許庁及び INPIT 職員向け検討会及び報告会の開催.....	153
第3章 調査全体のまとめ.....	153
第4章 今後の取り組みについて（戦略的な広報にあたりとるべき方針案）.....	154

(白紙)

# 本 編



## 第1部. 既存ホームページの課題把握に向けた調査

### 第1章 企業支援情報の発信に関する現状把握

企業支援情報の発信に関する現在のウェブサイトデザインのトレンド・ベストプラクティスなどについてとりまとめを行った。

#### 第1節. 調査目的

情報を発信することを目的とする官庁・民間企業のホームページについて、現在のウェブサイトのトレンド・ベストプラクティスを調査し、特許庁の戦略的な広報の実施において中核となり、かつ、優れたユーザー体験（User Experience：UX）を提供する特許庁ホームページの実現を目指す。

#### 第2節. 事前準備

最新のウェブサイトデザイン潮流およびベストプラクティスを把握するため、必須6社を含む計49社を調査候補として選定した。これらに対し、「特許庁との親和性」「特許庁ウェブサイトへの適用可能性」「行政類似分野におけるサービス提供」「法人による事業運営の実態」といった観点から精査を行い、調査対象を絞り込んだ。

図表1 ベストプラクティスとしての調査対象候補49社

NO	名前	URL
1	特許庁	<a href="https://www.jpo.go.jp/">https://www.jpo.go.jp/</a>
2	独立行政法人工業所有権情報・研修館	<a href="https://www.inpit.go.jp/">https://www.inpit.go.jp/</a>
3	中小企業庁	<a href="https://www.chusho.meti.go.jp/">https://www.chusho.meti.go.jp/</a>
4	中小企業基盤整備機構	<a href="https://www.smrj.go.jp/">https://www.smrj.go.jp/</a>
5	経済産業省中国経済産業局	<a href="https://www.chugoku.meti.go.jp/ip/">https://www.chugoku.meti.go.jp/ip/</a>
6	パテント・インテグレーション株式会社	<a href="https://patent-i.com/">https://patent-i.com/</a>
7	JETRO	<a href="https://www.jetro.go.jp/">https://www.jetro.go.jp/</a>
8	日本政策投資銀行	<a href="https://www.dbj.jp/">https://www.dbj.jp/</a>
9	日本経済団体連合会	<a href="https://www.keidanren.or.jp/">https://www.keidanren.or.jp/</a>
10	日本商工会議所	<a href="https://www.jcci.or.jp/">https://www.jcci.or.jp/</a>
11	公益財団法人東京都中小企業振興公社	<a href="https://www.tokyo-kosha.or.jp/">https://www.tokyo-kosha.or.jp/</a>
12	ミラサポ plus	<a href="https://mirasapo-plus.go.jp/">https://mirasapo-plus.go.jp/</a>

13	IAMAS	<a href="https://www.iamas.ac.jp/">https://www.iamas.ac.jp/</a>
14	東京商工会議所	<a href="https://www.tokyo-cci.or.jp/">https://www.tokyo-cci.or.jp/</a>
15	日本政策金融公庫	<a href="https://www.jfc.go.jp/">https://www.jfc.go.jp/</a>
16	マイナポータル	<a href="https://myna.go.jp/">https://myna.go.jp/</a>
17	Startup City ProjectJapan	<a href="https://j-startup-city.csti-startup-policy.go.jp/">https://j-startup-city.csti-startup-policy.go.jp/</a>
18	再生医療ポータル	<a href="https://saiseiiryo.jp/">https://saiseiiryo.jp/</a>
19	電話リレーサービス	<a href="https://www.nftrs.or.jp/">https://www.nftrs.or.jp/</a>
20	日本科学未来館	<a href="https://www.miraikan.jst.go.jp/">https://www.miraikan.jst.go.jp/</a>
21	日本財団	<a href="https://www.nippon-foundation.or.jp/">https://www.nippon-foundation.or.jp/</a>
22	札幌市青少年科学館	<a href="https://www.ssc.slp.or.jp/">https://www.ssc.slp.or.jp/</a>
23	法務省出入国在留管理庁 特定技能総合支援サイト	<a href="https://www.ssw.go.jp/">https://www.ssw.go.jp/</a>
24	アーツカウンシル東京	<a href="https://www.artscouncil-tokyo.jp/ja/">https://www.artscouncil-tokyo.jp/ja/</a>
25	くまモンランド	<a href="https://kumamon-land.jp/">https://kumamon-land.jp/</a>
26	国・地方共通相談チャットボット Govbot	<a href="https://www.govbot.go.jp/#/">https://www.govbot.go.jp/#/</a>
27	GOV.UK	<a href="https://www.gov.uk/">https://www.gov.uk/</a>
28	Business Finland	<a href="https://www.businessfinland.fi/en/for-finnish-customers/home">https://www.businessfinland.fi/en/for-finnish-customers/home</a>
29	The U.S. Small Business Administration	<a href="https://www.sba.gov/">https://www.sba.gov/</a>
30	British Business Bank	<a href="https://www.british-business-bank.co.uk/">https://www.british-business-bank.co.uk/</a>
31	Finnish Patent and Registration Office	<a href="https://www.prh.fi/en/index.html">https://www.prh.fi/en/index.html</a>
32	EPO	<a href="https://www.epo.org/">https://www.epo.org/</a>
33	EUIPO	<a href="https://www.euipo.europa.eu/">https://www.euipo.europa.eu/</a>
34	USPTO	<a href="http://www.uspto.gov/">http://www.uspto.gov/</a>

35	KIPO (調査時点。現：MOIP)	<a href="https://www.kipo.go.kr/">https://www.kipo.go.kr/</a>
36	CNIPA	<a href="https://www.cnipa.gov.cn/">https://www.cnipa.gov.cn/</a>
37	WIPO	<a href="https://www.wipo.int/">https://www.wipo.int/</a>
38	三菱UFJ キャピタル株式会社	<a href="https://www.mucap.co.jp/">https://www.mucap.co.jp/</a>
39	JAFCO	<a href="https://www.jafco.co.jp/">https://www.jafco.co.jp/</a>
40	Mailchimp	<a href="https://mailchimp.com/">https://mailchimp.com/</a>
41	北欧、暮らしの道具店	<a href="https://hokuohkurashi.com/">https://hokuohkurashi.com/</a>
42	CANNES LIONS	<a href="https://www.canneslions.com/">https://www.canneslions.com/</a>
43	ベネッセ アートサイト直島	<a href="https://benesse-artsite.jp/">https://benesse-artsite.jp/</a>
44	第一三共ヘルスケア	<a href="https://www.daiichisankyo-hc.co.jp/">https://www.daiichisankyo-hc.co.jp/</a>
45	NTT データ	<a href="https://www.nttdata.com/jp/ja/">https://www.nttdata.com/jp/ja/</a>
46	株式会社サイバーエージェント	<a href="https://www.cyberagent.co.jp/">https://www.cyberagent.co.jp/</a>
47	株式会社サクラクレパス	<a href="https://www.craypas.co.jp/">https://www.craypas.co.jp/</a>
48	キリングroup 企業情報サイト	<a href="https://www.kirinholdings.com/jp/">https://www.kirinholdings.com/jp/</a>
49	三菱UFJ ダイレクト	<a href="https://direct.bk.mufg.jp/index.html">https://direct.bk.mufg.jp/index.html</a>

### 第3節. 調査概要

企業（特に、中小企業）の活動を支援することを目的とした官公庁による支援施策（補助金交付等）及び民間企業によるサービス提供（有償・無償問わず）についての情報を発信することを目的とする官庁・民間企業のホームページを対象として絞り込んだ21社を調査した。

図表 2 ベストプラクティスとしての調査対象

1	特許庁	<a href="https://www.jpo.go.jp/">https://www.jpo.go.jp/</a>
2	独立行政法人工業所有権情報・研修館	<a href="https://www.inpit.go.jp/">https://www.inpit.go.jp/</a>
3	中小企業庁	<a href="https://www.chusho.meti.go.jp/">https://www.chusho.meti.go.jp/</a>
4	中小企業基盤整備機構	<a href="https://www.smrj.go.jp/">https://www.smrj.go.jp/</a>
5	経済産業省中国経済産業局	<a href="https://www.chugoku.meti.go.jp/ip/">https://www.chugoku.meti.go.jp/ip/</a>
6	日本政策投資銀行	<a href="https://www.dbj.jp/">https://www.dbj.jp/</a>
7	日本政策金融公庫	<a href="https://www.jfc.go.jp/">https://www.jfc.go.jp/</a>
8	GOV.UK	<a href="https://www.gov.uk/">https://www.gov.uk/</a>
9	Business Finland	<a href="https://www.businessfinland.fi/en/for-finnish-customers/home">https://www.businessfinland.fi/en/for-finnish-customers/home</a>
10	The U.S. Small Business Administration	<a href="https://www.sba.gov/">https://www.sba.gov/</a>
11	EPO	<a href="https://www.epo.org/">https://www.epo.org/</a>
12	デジタル庁	<a href="https://www.digital.go.jp/">https://www.digital.go.jp/</a>
13	マイナポータル 法人設立ワンストップサービス	<a href="https://app.e-oss.myna.go.jp/Application/ecOssTop/">https://app.e-oss.myna.go.jp/Application/ecOssTop/</a>
14	ミラサポ plus	<a href="https://mirasapo-plus.go.jp/">https://mirasapo-plus.go.jp/</a>
15	パテント・インテグレーション株式会社	<a href="https://patent-i.com/">https://patent-i.com/</a>
16	日本商工会議所	<a href="https://www.jcci.or.jp/">https://www.jcci.or.jp/</a>

17	日本経済団体連合会	<a href="https://www.keidanren.or.jp/">https://www.keidanren.or.jp/</a>
18	東京商工会議所	<a href="https://www.tokyo-cci.or.jp/">https://www.tokyo-cci.or.jp/</a>
19	公益財団法人東京都中小企業振興公社	<a href="https://www.tokyo-kosha.or.jp/">https://www.tokyo-kosha.or.jp/</a>
20	BOXIL	<a href="https://boxil.jp/">https://boxil.jp/</a>
21	Money Forward 法人	<a href="https://biz.moneyforward.com/">https://biz.moneyforward.com/</a>

#### 第4節. 実施方法

ウェブサイトデザインのトレンド・ベストプラクティスの整理にあたり、UXを主眼に置き、「美しさ」「わかりやすさ」「見やすさ」「使いやすさ」「探しやすさ」に分けて調査した。

「美しさ」「探しやすさ」については、特定非営利活動法人 人間中心設計推進機構認定 人間中心設計専門家による定性評価を実施した。「わかりやすさ」「見やすさ」「使いやすさ」については、Web Content Accessibility Guidelines (WCAG) 2.1 およびデジタル庁ガイドラインで定められた指標に従い、「基準を満たす」または「基準を満たさない」を判断した。

図表3 UXの構成要素と整理の基準

UXの構成要素	要素の分解	整理の基準
美しさ	視覚表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユーザーが心地よいと感じられる視覚表現ができているか。</li> <li>ウェブサイト全体のトーンが統一され、ブランドとして品格を感じられるか。</li> </ul>
わかりやすさ	レイアウト	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユーザーを迷わせないレイアウトになっているか。</li> </ul>
	情報量	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユーザーが理解できるように情報を取捨選択できているか。</li> </ul>
見やすさ	文字サイズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユーザーの利用端末に沿って、最適な文字サイズを守っているか。</li> </ul>
	コントラスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>コントラストを確保し、視認性が優れているか。</li> </ul>
使いやすさ	アクセシビリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユーザーの生理的な特性に依存しない、誰も取り残されない情報開示の見せ方ができているか。</li> </ul>
探しやすさ	情報の見せ方・フロー	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユーザーの行動に沿って情報を提示し、情報の取得までを断絶せずに誘導できているか。</li> <li>ユーザーの動線に合わせてウェブサイトが作られているか。</li> </ul>

## 第5節. 調査結果

### 1. 特許庁

図表 4 特許庁の調査結果

調査要素	調査項目	評価
視覚表現	デザインの一貫性	青を基調として官公庁に相応しい落ち着いた色彩設計で信頼性を視覚的に表現している。親近感を高めるためのコピーライティングや、色数を減らして視線が散らないような視覚要素を強化する余地がある。バナーと新着情報が一列に並び、情報の優先順位がユーザー任せで分かりにくい。
レイアウト	リキッドレイアウト	基準を満たす。
レイアウト	グリッド	基準を満たさない。
情報量	幅が 40 文字を超えない	基準を満たさない。
情報量	均等割りの禁止	基準を満たす。
情報量	行送り 1.5 倍	基準を満たす。
情報量	段落間隔 1.5 倍	基準を満たさない。
情報量	テキスト 200%拡大	基準を満たさない。
文字サイズ	3.49mm 以上	基準を満たさない。
コントラスト	コントラスト比 4.5:1 以上	基準を満たす。
アクセシビリティ	アクセシビリティ	基準を満たさない。
アクセシビリティ	alt 属性	基準を満たす。
情報の見せ方・フロー	視線の動き	情報は Z 字型の視線動線に沿い、ユーザーが自然に重要箇所を認知しやすい。概ね上から下、左から右の視線誘導であるが、目的が明確なユーザー向けのサイト内検索と目的が曖昧なユーザー向けの注目情報が横に並び、注目情報が右側に配置されているため視線パターンと矛盾する。イベント情報とピックアップのアイコンも横に並び、見落とししやすい。「制度から探す」「初めての方へ」は中央揃えであり一貫性が弱い。
情報の見せ方・フロー	ナビゲーション	ページ上部にナビゲーションメニューを配置し、カテゴリーも明瞭で一貫性が保たれている。
情報の見せ方・フロー	情報の階層構造	見出し・サブ見出し・本文の段階が明確で、情報が階層的に整理されている。ただし、見出しと本文の文字サイズ差が小さく、文字自体も小さいため、注目情報が判別

		しにくい。技術分野や手続きなど各情報ブロックがユーザー視点で情報設計がされており、ユーザーの理解を助ける。一方で、サムネイル画像が最も目立ち、画面が雑然とした印象を受ける。
情報の見せ方・フロー	視覚的ヒント	アイコンや色の強調、区切り線が効果的に用いられ、重要情報やリンクが視覚的に識別しやすい。一方で、サムネイルとして使用する画像の比率や画質が不均一で DIY 的な印象を与え、サイト品質を下げている恐れがある。
情報の見せ方・フロー	ボタン配置	情報の進行方向（左から右へ、過去→未来の感覚）に沿ったボタン配置で、「戻る・進む」の動線やフォームの操作が自然かつユーザー心理に合致しており、ユーザーのメンタルモデルに沿った設計。ただし、重要情報が左揃えである一方で、「初めての方へ」は中央揃え配置になっており、ボタンスタイルが不均一である。

## 2. 独立行政法人工業所有権情報・研修館

図表 5 独立行政法人工業所有権情報・研修館の調査結果

調査要素	調査項目	評価
視覚表現	デザインの一貫性	ビジュアルは緑と青を基調とし、落ち着いた配色で整っている。ただし、明度差を含め色数が多く統一感に欠ける印象。サムネイルは担当者ごとにデザインが異なり一貫性が不足。ボタンのホバー演出も統一されず、同一形状ボタンでページ遷移とページ内展開が混在している。
レイアウト	リキッドレイアウト	基準を満たす。
レイアウト	グリッド	基準を満たす。
情報量	幅が 40 文字を超えない	基準を満たさない。
情報量	均等割りの禁止	基準を満たす。
情報量	行送り 1.5 倍	基準を満たす。
情報量	段落間隔 1.5 倍	基準を満たす。
情報量	テキスト 200%拡大	基準を満たす。
文字サイズ	3.49mm 以上	基準を満たす。
コントラスト	コントラスト比 4.5:1 以上	基準を満たす。
アクセシビリティ	アクセシビリティ	<a href="https://www.inpit.go.jp/accessibility/index.html">https://www.inpit.go.jp/accessibility/index.html</a>
アクセシビリティ	alt 属性	基準を満たす。

情報の見せ方・フロー	視線の動き	情報はZ字型の視線動線に沿い、ユーザーが自然に重要箇所を認知しやすい。縦スクロール主体で、上から下、左から右の視線誘導を確保している。ただし「お知らせ」「新着情報」のリンクボタンが横に3個並び、優先度が不明瞭で視線パターンと合致しない。
情報の見せ方・フロー	ナビゲーション	ページ上部にナビゲーションメニューを配置しているが、ピックアップ情報内にも類似ボタンが散在し、機能が分散している。
情報の見せ方・フロー	情報の階層構造	見出しと本文の文字サイズ差は十分で情報階層は明確である。ただし補足情報のフォントも大きく、優先度が判別しづらい(例:RSS登録)。複雑な情報も利用シーンごとに分けて提示し、ユーザーが必要な情報を段階的に理解できる設計である。
情報の見せ方・フロー	視覚的ヒント	アイコンや色分け、ボックス枠で重要情報やリンクの強調が効果的。ボタンやリンクの視覚変化も分かりやすく、ユーザーの注意を適切に誘導している。
情報の見せ方・フロー	ボタン配置	ボタン配置と重要度表示がメンタルモデルと乖離している。青塗りボタンと青枠ボタンのどちらが主要行動か判別できない。

### 3. 中小企業庁

図表 6 中小企業庁の調査結果

調査要素	調査項目	評価
視覚表現	デザインの一貫性	公的中小企業支援の理念が明確で、コピーは信頼感あり、やや親しみやすいトーンで専門情報を伝達。ビジュアルは青基調の落ち着いたデザインで調和されている。カルーセルや関連リンクのサムネイルのトーン&マナーが揃い、一貫性が高い。角丸罫線などからデジタル庁デザインシステムの踏襲が伺える。
レイアウト	リキッドレイアウト	基準を満たす。
レイアウト	グリッド	基準を満たさない。
情報量	幅が40文字を超えない	基準を満たさない。
情報量	均等割りの禁止	基準を満たす。
情報量	行送り1.5倍	基準を満たす。
情報量	段落間隔1.5倍	基準を満たす。
情報量	テキスト200%拡大	基準を満たす。
文字サイズ	3.49mm以上	基準を満たす。

コントラスト	コントラスト比 4.5:1 以上	基準を満たす。
アクセシビリティ	アクセシビリティ	<a href="https://www.chusho.meti.go.jp/infor/accessibility.html">https://www.chusho.meti.go.jp/infor/accessibility.html</a>
アクセシビリティ	alt 属性	基準を満たす。
情報の見せ方・ フロー	視線の動き	情報の粒度と重要度を統一し、重要情報が左上に適切に配置され、Z字型の視線動線に沿い、ユーザーが自然に重要箇所を認知しやすい。
情報の見せ方・ フロー	ナビゲーション	ページ上部にナビゲーションメニューを配置している。文字サイズが大きく視認性は高いが、コンテンツよりやや目立つ。
情報の見せ方・ フロー	情報の階層構造	ユーザーがスムーズに情報構造の段階を理解できる情報設計がなされている。見出しと本文の文字サイズ差が十分で、情報の粒度も揃っているためユーザーは迷わず情報を取得できる。
情報の見せ方・ フロー	視覚的ヒント	見出しにアイコンを添え、おすすめ情報にサムネイルを配置することで視覚的ヒントを提供している。色調もサイトトーンと合致し、安心感を与える。
情報の見せ方・ フロー	ボタン配置	主要ボタンを中央揃え配置しているため目立つが、補助ボタンが右揃え配置で分散し、見落としやすい。

#### 4. 中小企業基盤整備機構

図表 7 中小企業基盤整備機構の調査結果

調査要素	調査項目	評価
視覚表現	デザインの一貫性	赤と黒を基調に保守的な印象で統一感はあるが、両色を同比率で用いるため視認性が低下。トップの上部に全幅で表示されるスライドバナーがブランドカラーを無視し統一感を損ねている。バナーがヘッダー直下に集中し、画面構成が乱雑な印象である。
レイアウト	リキッドレイアウト	基準を満たす。
レイアウト	グリッド	基準を満たす。
情報量	幅が 40 文字を超えない	基準を満たさない。
情報量	均等割りの禁止	基準を満たす。
情報量	行送り 1.5 倍	基準を満たす。
情報量	段落間隔 1.5 倍	基準を満たさない。
情報量	テキスト 200%拡大	基準を満たす。

文字サイズ	3.49mm 以上	基準を満たす。
コントラスト	コントラスト比 4.5:1 以上	基準を満たす。
アクセシビリティ	アクセシビリティ	<a href="https://www.smrj.go.jp/webaccessibility/index.html">https://www.smrj.go.jp/webaccessibility/index.html</a>
アクセシビリティ	alt 属性	基準を満たす。
情報の見せ方・フロー	視線の動き	上から下、左から右の視線誘導に沿うが、詳細ページへのリンクボタンが右揃えのため視認性が損なわれている。
情報の見せ方・フロー	ナビゲーション	ページ上部の階層ナビゲーションメニューはステイッキー表示され、スクロールしても常時閲覧できる。
情報の見せ方・フロー	情報の階層構造	見出しと本文の文字サイズ差が十分で、重要度を判断しやすい。ただし黒色ボタンが過度に目立ち、最重要情報と誤認される恐れがある。
情報の見せ方・フロー	視覚的ヒント	高品質なアイコン・画像を使用し視覚的ヒントは豊富である。一方、黒色アイコンと黒色ボタンが過度に目立ち、ユーザーが誤った情報に目が留まる恐れがある。
情報の見せ方・フロー	ボタン配置	ボタンが右揃え配置と中央揃え配置で混在し、重要度が不明瞭である。

## 5. 経済産業省中国経済産業局

図表 8 経済産業省中国経済産業局の調査結果

調査要素	調査項目	評価
視覚表現	デザインの一貫性	「もうけの花道」のコピーはわかりやすく適度な専門性を表現できている。桜吹雪や筆文字を多用し華やか。動画活用で親しみも感じられる。商業色が強く、官公庁としての統一感は欠如している。
レイアウト	リキッドレイアウト	基準を満たす。
レイアウト	グリッド	基準を満たさない。
情報量	幅が 40 文字を超えない	基準を満たさない。
情報量	均等割りの禁止	基準を満たす。
情報量	行送り 1.5 倍	基準を満たさない。
情報量	段落間隔 1.5 倍	基準を満たさない。
情報量	テキスト 200%拡大	基準を満たさない。
文字サイズ	3.49mm 以上	基準を満たさない。

コントラスト	コントラスト比 4.5:1 以上	基準を満たす。
アクセシビリティ	アクセシビリティ	基準を満たさない。
アクセシビリティ	alt 属性	基準を満たす。
情報の見せ方・ フロー	視線の動き	情報がページ全体に散在し、視線誘導が不安定でトップページ全体量を把握しづらい。
情報の見せ方・ フロー	ナビゲーション	ページ上部にナビゲーションメニューを配置し、ステイキキー表示される。ただしメニューは 2 項目のみで、項目間で異なる挙動が混在している。
情報の見せ方・ フロー	情報の階層構造	専門的情報を分かりやすく構造化しているが、文字量が多く本文フォントが小さいため、情報の重要度を判別しにくい。
情報の見せ方・ フロー	視覚的ヒント	アイコン・画像（イラスト／筆文字）を全体に配置し、ユーザーの注意を引く視覚的ヒントとして機能している。
情報の見せ方・ フロー	ボタン配置	ボタンスタイルが不統一で、クリック可能かどうかを判別しにくい。

## 6. 日本政策投資銀行

図表 9 日本政策投資銀行の調査結果

調査要素	調査項目	評価
視覚表現	デザインの一貫性	青基調・黄差し色でブランドカラーを踏襲し、ロゴ球体を意識したグラデーションが堅実な金融機関イメージを忠実に表現。ただし、一部に緑が入り一貫性が揺らいでいる。
レイアウト	リキッドレイアウト	基準を満たす。
レイアウト	グリッド	基準を満たさない。
情報量	幅が 40 文字を超えない	基準を満たさない。
情報量	均等割りの禁止	基準を満たす。
情報量	行送り 1.5 倍	基準を満たす。
情報量	段落間隔 1.5 倍	基準を満たさない。
情報量	テキスト 200% 拡大	基準を満たす。
文字サイズ	3.49mm 以上	基準を満たす。

コントラスト	コントラスト比 4.5:1 以上	基準を満たす。
アクセシビリティ	アクセシビリティ	<a href="https://www.dbj.jp/investigate/dataplatform/webaccessibility/">https://www.dbj.jp/investigate/dataplatform/webaccessibility/</a>
アクセシビリティ	alt 属性	基準を満たす。
情報の見せ方・フロー	視線の動き	「調査研究レポート」と「IR 情報」が横に並び視線を迷わせるが、それ以外は金融機関としての信頼感を損なわない落ち着いた構成。Z 字型の視線の流れを意識した情報配置がされている。
情報の見せ方・フロー	ナビゲーション	ページ上部のナビゲーションメニューはスティッキー表示され、スクロールしても常に表示される。
情報の見せ方・フロー	情報の階層構造	金融知識を階層的に整理し、複雑な情報をわかりやすく提示している。見出しと本文の文字サイズ差が十分で、情報階層が明確である。
情報の見せ方・フロー	視覚的ヒント	アイコンは少ないが高品質な画像を多用し、ブランドに気品さを想起させるような視覚的ヒントを提供している。企業向けとして落ち着きつつも、視認性の高い色使いが施されている。
情報の見せ方・フロー	ボタン配置	青塗・青枠・黄塗が混在し、ボタンスタイルが不統一で重要度が判別しづらい。

## 7. 日本政策金融公庫

図表 10 日本政策金融公庫の調査結果

調査要素	調査項目	評価
視覚表現	デザインの一貫性	親しみやすい文章表現と清潔感ある色使いがなされている一方で、色数が多くブランドカラーの緑が活かされず一貫性がない。大型バナーとサムネイルのデザインも統一されず雑然さが残る。マージン不足で可読性に改善の余地がある。
レイアウト	リキッドレイアウト	基準を満たす。
レイアウト	グリッド	基準を満たさない。
情報量	幅が 40 文字を超えない	基準を満たさない。
情報量	均等割りの禁止	基準を満たす。
情報量	行送り 1.5 倍	基準を満たす。
情報量	段落間隔 1.5 倍	基準を満たさない。
情報量	テキスト 200%拡大	基準を満たす。

文字サイズ	3.49mm 以上	基準を満たす。
コントラスト	コントラスト比 4.5:1 以上	基準を満たす。
アクセシビリティ	アクセシビリティ	<a href="https://www.jfc.go.jp/n/accessibility/index.html">https://www.jfc.go.jp/n/accessibility/index.html</a>
アクセシビリティ	alt 属性	基準を満たす。
情報の見せ方・フロー	視線の動き	ボタンが横に 4 個並び、重要度の差が不明確で見落としやすい。
情報の見せ方・フロー	ナビゲーション	ページ上部にナビゲーションメニューを配置し、ステイキー表示されているためスクロール中もすぐに戻れる。
情報の見せ方・フロー	情報の階層構造	全体の文字が大きい一方で見出しと本文の文字サイズ差が小さい。画面が煩雑で情報階層が不明瞭な印象を受ける。
情報の見せ方・フロー	視覚的ヒント	アイコン・画像が少なくテキスト主体のため視覚的ヒントが不足し、ユーザーの注意を引きにくい。
情報の見せ方・フロー	ボタン配置	ボタンスタイルが不統一で、ボックスリンク内に別ボタンを重複配置するなど認知負荷が高い。見た目ボタンが画像リンクの場合もあり、ユーザーのメンタルモデルに合致しない可能性がある。

## 8. GOV.UK

図表 11 GOV.UK の調査結果

調査要素	調査項目	評価
視覚表現	デザインの一貫性	ユーザー中心に設計され、英国らしい透明性・アクセスの容易性・わかりやすいコピーで構成される。ミニマルで先進的デザイン装飾を排除し、青色主体で一貫性を徹底している。
レイアウト	リキッドレイアウト	基準を満たす。
レイアウト	グリッド	基準を満たす。
情報量	幅が 40 文字を超えない	基準を満たす。
情報量	均等割りの禁止	基準を満たす。
情報量	行送り 1.5 倍	基準を満たさない。
情報量	段落間隔 1.5 倍	基準を満たさない。
情報量	テキスト 200%拡大	基準を満たす。
文字サイズ	3.49mm 以上	基準を満たす。

コントラスト	コントラスト比 4.5:1 以上	基準を満たす。
アクセシビリティ	アクセシビリティ	<a href="https://www.gov.uk/help/accessibility-statement">https://www.gov.uk/help/accessibility-statement</a>
アクセシビリティ	alt 属性	基準を満たさない。
情報の見せ方・フロー	視線の動き	英国政府のスタンダードを反映し、左上から右下へと自然に視線が流れる Z 字型の動線に沿った配置。メインコンテンツはシングルレイアウトで縦スクロール中心となり読みやすい。一方で 3 列の情報ブロックのレイアウトは視線が乱されやすい。
情報の見せ方・フロー	ナビゲーション	ページ上部右寄せに最小限のナビゲーションメニューを配置し、代わりに検索窓を大きく強調している。メインコンテンツ上下にもナビゲーションメニューを段階的に配置している。
情報の見せ方・フロー	情報の階層構造	見出しと本文の文字サイズ差が大きく、ユーザーは注目情報を直感的に把握できる。
情報の見せ方・フロー	視覚的ヒント	アイコンはあるが画像が少なく、控えめで、テキスト中心のため視覚的ヒントが乏しい。しかし、的確に色彩と余白を活用することで、情報の階層が表現されている。
情報の見せ方・フロー	ボタン配置	ボタンがほとんどなくテキストリンク主体となるが、主要導線は左から右方向へ、操作の感覚が自然である。

## 9. Business Finland

図表 12 Business Finland の調査結果

調査要素	調査項目	評価
視覚表現	デザインの一貫性	北欧らしい洗練されたミニマルな表現となっている。コピーはややカジュアルで親しみやすい。濃紺と黒のみを用い統一感を確保。画像に寒色フィルターをかけ写真の色数も制御している。
レイアウト	リキッドレイアウト	基準を満たす。
レイアウト	グリッド	基準を満たさない。
情報量	幅が 40 文字を超えない	基準を満たさない。
情報量	均等割りの禁止	基準を満たす。
情報量	行送り 1.5 倍	基準を満たす。
情報量	段落間隔 1.5 倍	基準を満たさない。
情報量	テキスト 200%拡大	基準を満たす。

文字サイズ	3.49mm 以上	基準を満たす。
コントラスト	コントラスト比 4.5:1 以上	基準を満たす。
アクセシビリティ	アクセシビリティ	<a href="https://www.businessfinland.fi/en/accessibility">https://www.businessfinland.fi/en/accessibility</a>
アクセシビリティ	alt 属性	基準を満たす。
情報の見せ方・フロー	視線の動き	上部および左側に機能的に情報を配置し、使いやすい。ニュースのみ横並びだが、それ以外は縦スクロールで F 字型の視線誘導が成立している。
情報の見せ方・フロー	ナビゲーション	ページ左側に二段構成のナビゲーションメニューを配置しており、慣例に則った使いやすさがある。
情報の見せ方・フロー	情報の階層構造	見出しや段落の階層が丁寧に設計されている。見出しと本文の文字サイズ差が十分で、横並びと縦並びを使い分けて情報階層を明確にしている。
情報の見せ方・フロー	視覚的ヒント	ナチュラルなカラーの画像を中心に視覚的ヒントを提供し、適切なトリミングで美しさを保っている。
情報の見せ方・フロー	ボタン配置	ボタンスタイルは統一されているが、配置の優先度が不明でメンタルモデルに合致しているかは判断しづらい。

## 10. The U.S. Small Business Administration

図表 13 The U.S. Small Business Administration の調査結果

調査要素	調査項目	評価
視覚表現	デザインの一貫性	親しみやすく堅実なブランド表現。青基調で明度差を使い情報を整理し、赤を使用しないことで知性的な印象となっている。テキスト粒度を揃え行間を広く取り可読性を確保している。
レイアウト	リキッドレイアウト	基準を満たす。
レイアウト	グリッド	基準を満たす。
情報量	幅が 40 文字を超えない	基準を満たさない。
情報量	均等割りの禁止	基準を満たす。
情報量	行送り 1.5 倍	基準を満たす。
情報量	段落間隔 1.5 倍	基準を満たさない。
情報量	テキスト 200%拡大	基準を満たす。
文字サイズ	3.49mm 以上	基準を満たす。
コントラスト	コントラスト比 4.5:1 以上	基準を満たす。

アクセシビリティ	アクセシビリティ	基準を満たさない。
アクセシビリティ	alt 属性	基準を満たす。
情報の見せ方・フロー	視線の動き	情報の粒度と重要度が揃い、整った Z 字型の視線誘導を実現している。
情報の見せ方・フロー	ナビゲーション	ページ上部にナビゲーションメニューを左揃えで配置している。
情報の見せ方・フロー	情報の階層構造	階層構造が論理的で、情報収集が効率的に可能である。見出しと本文の文字サイズ差が適切で、表記も統一されているため情報階層が明確である。
情報の見せ方・フロー	視覚的ヒント	テキスト主体ながらアイコン・画像を挿入し、視覚的ヒントとして機能する。画像とアイコンのトーン&マナーを統一し、洗練された印象と注意を巧みに喚起する。
情報の見せ方・フロー	ボタン配置	ボタンスタイルを一種類に統一し、それ以外は下線付きテキストリンクにすることでわかりやすく、メンタルモデルに添った階層が明確である。

## 11. EPO

図表 14 EPO の調査結果

調査要素	調査項目	評価
視覚表現	デザインの一貫性	国際機関として精緻で専門的なブランドイメージを構成している。落ち着いた青と赤を基調にして安心感を醸成。情報を左、検索・ナビを右に配置し人間特性に配慮。英文も簡潔でジャンプ率が適切な印象である。
レイアウト	リキッドレイアウト	基準を満たす。
レイアウト	グリッド	基準を満たす。
情報量	幅が 40 文字を超えない	基準を満たさない。
情報量	均等割りの禁止	基準を満たす。
情報量	行送り 1.5 倍	基準を満たす。
情報量	段落間隔 1.5 倍	基準を満たす。
情報量	テキスト 200%拡大	基準を満たす。
文字サイズ	3.49mm 以上	基準を満たす。
コントラスト	コントラスト比 4.5:1 以上	基準を満たす。
アクセシビリティ	アクセシビリティ	<a href="https://www.epo.org/en/accessibility">https://www.epo.org/en/accessibility</a>

アクセシビリティ	alt 属性	基準を満たす。
情報の見せ方・フロー	視線の動き	縦スクロールで情報を提示し、横スライダーは左から右へ移動するため自然な視線誘導に適する。リンクボタンも左揃えで見やすい。
情報の見せ方・フロー	ナビゲーション	ページ上部右寄せにナビゲーションメニューを配置しており、直感的に操作できる。
情報の見せ方・フロー	情報の階層構造	見出しと本文の文字サイズ差が十分で情報を取得しやすい。一方で、テキストリンクとボタンリンクが混在し、階層がわかりにくい。
情報の見せ方・フロー	視覚的ヒント	色数を絞りつつアイコン・画像を多用し、ユーザーの注意を引く視覚的ヒントとなっている。また、カラーを使い分けて重要な操作エリアを強調する。
情報の見せ方・フロー	ボタン配置	国内外ユーザーにもわかりやすい配置設計がなされている。

## 12. デジタル庁

図表 15 デジタル庁の調査結果

調査要素	調査項目	評価
視覚表現	デザインの一貫性	「誰一人取り残さない」理念を具現化し、先進的デジタル庁のイメージをモダンでミニマルな表現で表現。濃グレー＋青差し色で落ち着いた一貫性と、角丸カードで情報分類し、一般の方向けと行政・事業者向けにページを分けて情報提供している。
レイアウト	リキッドレイアウト	基準を満たす。
レイアウト	グリッド	基準を満たす。
情報量	幅が 40 文字を超えない	基準を満たさない。
情報量	均等割りの禁止	基準を満たす。
情報量	行送り 1.5 倍	基準を満たす。
情報量	段落間隔 1.5 倍	基準を満たさない。
情報量	テキスト 200%拡大	基準を満たす。
文字サイズ	3.49mm 以上	基準を満たす。
コントラスト	コントラスト比 4.5:1 以上	基準を満たす。
アクセシビリティ	アクセシビリティ	<a href="https://www.digital.go.jp/accessibility-statement">https://www.digital.go.jp/accessibility-statement</a>

アクセシビリティ	alt 属性	基準を満たす。
情報の見せ方・フロー	視線の動き	余白と角丸ボックスで情報グループを明示し、Z 字型の視線誘導が成立している。
情報の見せ方・フロー	ナビゲーション	ページ上部右寄せにナビゲーションメニューを配置し、ピクトグラムと「メニュー」の文字を併記して直感性を高めている。
情報の見せ方・フロー	情報の階層構造	見出しと本文の文字サイズ差が十分で余白も広く、トピックごとの階層整理が的確でわかりやすい。サービス一覧は3×3 グリッドで粒度は揃うが外部リンクとしてわかりづらい。
情報の見せ方・フロー	視覚的ヒント	イラストに加え、アイコンに動きを加えた視覚的ヒントを提供している。また、色彩の工夫で利用者の視線誘導に優れる。一方で、行政サービス一覧をテキストのみで説明しており視覚的誘導が不足している。
情報の見せ方・フロー	ボタン配置	枠線ボタン+色変化により行動を示し、内部遷移は「→」、外部遷移は別のアイコンで区別し、メンタルモデルを補強している。

### 1.3. マイナポータル 法人設立ワンストップサービス

図表 16 マイナポータル 法人設立ワンストップサービスの調査結果

調査要素	調査項目	評価
視覚表現	デザインの一貫性	業務系ウェブアプリ風で実用重視。水色と黄色で独自ブランドを構築するが、ブランド力表現は控えめ。黄色ボタンや赤文字がやや過剰で美観を損なうが余白が十分で視認性は高い。
レイアウト	リキッドレイアウト	基準を満たす。
レイアウト	グリッド	基準を満たさない。
情報量	幅が 40 文字を超えない	基準を満たさない。
情報量	均等割りの禁止	基準を満たす。
情報量	行送り 1.5 倍	基準を満たす。
情報量	段落間隔 1.5 倍	基準を満たさない。
情報量	テキスト 200%拡大	基準を満たす。
文字サイズ	3.49mm 以上	基準を満たす。
コントラスト	コントラスト比 4.5:1 以上	基準を満たす。

アクセシビリティ	アクセシビリティ	<a href="https://services.digital.go.jp/myportal/accessibility-statement/">https://services.digital.go.jp/myportal/accessibility-statement/</a>
アクセシビリティ	alt 属性	基準を満たす。
情報の見せ方・フロー	視線の動き	トップページの情報量を減らし、ユーザーは縦スクロールのみで必要情報にアクセスできる。
情報の見せ方・フロー	ナビゲーション	アプリ仕様としてナビゲーションメニューはページ上部に 2 項目のみ配置し、主要動線をページ中央フォームへ誘導する設計である。
情報の見せ方・フロー	情報の階層構造	見出しと本文の文字サイズ差が十分で、ユーザーは目的情報へ容易にアクセスできる。
情報の見せ方・フロー	視覚的ヒント	マイナンバー関連のアイコン・イラストを使用し、ユーザーの注意を引く視覚的ヒントとして機能するとともに、ユーザー操作を補助する。
情報の見せ方・フロー	ボタン配置	角丸ボタンを採用し遷移を促しているが、余白（パディング）が小さく可クリック領域が狭い印象を受ける。

#### 1 4. ミラサポ plus

図表 17 ミラサポ plus の調査結果

調査要素	調査項目	評価
視覚表現	デザインの一貫性	中小企業応援を親しみやすくするための色彩やコピーは明快でわかりやすい。一方で独自カラーパレットにより官公庁らしい一貫性が欠如した印象。角丸と四角のボタンが混在し行政サイトとして印象づけられていない。
レイアウト	リキッドレイアウト	基準を満たす。
レイアウト	グリッド	基準を満たす。
情報量	幅が 40 文字を超えない	基準を満たさない。
情報量	均等割りの禁止	基準を満たす。
情報量	行送り 1.5 倍	基準を満たす。
情報量	段落間隔 1.5 倍	基準を満たさない。
情報量	テキスト 200%拡大	基準を満たす。
文字サイズ	3.49mm 以上	基準を満たす。
コントラスト	コントラスト比 4.5:1 以上	基準を満たす。
アクセシビリティ	アクセシビリティ	基準を満たさない。

アクセシビリティ	alt 属性	基準を満たす。
情報の見せ方・フロー	視線の動き	ユーザーの視線が自然に主要情報へ向かうよう構造化されている。上部にカテゴリ別ボタンを配置し「人気の補助金」を大きく見せて視線を誘導している。一方、「お知らせ」と「災害支援」が横に並び性質の異なる情報が同列で混在している。
情報の見せ方・フロー	ナビゲーション	ページ上部にナビゲーションメニューをスティッキー表示で配置し、スクロール中も任意の場所に戻りやすい。
情報の見せ方・フロー	情報の階層構造	見出しと本文の文字サイズ差と余白が適切で階層構造は概ね明確である。ただし、ユーザー別情報がページ中部以降に集約され、他要素より優先度が低く感じられる。
情報の見せ方・フロー	視覚的ヒント	アイコンや画像、イラストを組み合わせ、ユーザーの注意を引く視覚的ヒントを提供している。カラーの違いを活用しユーザーの注意を分散なく誘導する。
情報の見せ方・フロー	ボタン配置	コンテンツ枠内に複数ボタンが重複し、視認性が低い印象。マーカー装飾も不統一で、ボタン配置に違和感がある。

## 15. パテント・インテグレーション株式会社

図表 18 パテント・インテグレーション株式会社の調査結果

調査要素	調査項目	評価
視覚表現	デザインの一貫性	専門情報サイトとして機能は十分だが、デザインの洗練度はやや低い印象。白基調で簡素だが、キーカラー不在で配色にばらつきが見られ、ブランドの一貫性は認められない。
レイアウト	リキッドレイアウト	基準を満たさない。
レイアウト	グリッド	基準を満たさない。
情報量	幅が 40 文字を超えない	基準を満たす。
情報量	均等割りの禁止	基準を満たす。
情報量	行送り 1.5 倍	基準を満たす。
情報量	段落間隔 1.5 倍	基準を満たさない。
情報量	テキスト 200%拡大	基準を満たす。
文字サイズ	3.49mm 以上	基準を満たす。
コントラスト	コントラスト比 4.5:1 以上	基準を満たす。

アクセシビリティ	アクセシビリティ	基準を満たさない。
アクセシビリティ	alt 属性	基準を満たさない。
情報の見せ方・フロー	視線の動き	上から下、左から右の Z 字型視線誘導が可能であるが、やや情報の詰め込み感あり。
情報の見せ方・フロー	ナビゲーション	ページ上部にナビゲーションメニューを配置し、モバイルでは右上にハンバーガーアイコンを表示する。やや煩雑な印象で、ログインのみ色分けし、多言語リンクを同列に配置しているため一貫性に欠けた印象である。
情報の見せ方・フロー	情報の階層構造	やや情報過多だが、基本的な階層構造ができています。見出しと本文の文字サイズ差が十分で、ユーザーは迷わず情報を追える。
情報の見せ方・フロー	視覚的ヒント	最小限のアイコン使用で控えめ印象。製品画像や動画で強い視覚的ヒントを提供しているが、「パテント・インテグレーションとは？」の説明はテキストのみで視覚情報が不足している印象を受ける。
情報の見せ方・フロー	ボタン配置	中央揃え配置で「ユーザー登録」ボタンのみ提示しているが、他要素のデザインが広告バナーに近く、ボタンとして認識しづらい。

## 16. 日本商工会議所

図表 19 日本商工会議所の調査結果

調査要素	調査項目	評価
視覚表現	デザインの一貫性	赤基調に人物ピクトグラムを用いて、地域商工会議所の信頼性と親しみやすさを感じさせるブランドを醸成。ピクトグラムの明度を揃え落ち着かせ、赤に視線集中させることで一貫性が高くなっている。
レイアウト	リキッドレイアウト	基準を満たす。
レイアウト	グリッド	基準を満たさない。
情報量	幅が 40 文字を超えない	基準を満たさない。
情報量	均等割りの禁止	基準を満たす。
情報量	行送り 1.5 倍	基準を満たす。
情報量	段落間隔 1.5 倍	基準を満たさない。
情報量	テキスト 200%拡大	基準を満たす。
文字サイズ	3.49mm 以上	基準を満たす。

コントラスト	コントラスト比 4.5:1 以上	基準を満たす。
アクセシビリティ	アクセシビリティ	基準を満たさない。
アクセシビリティ	alt 属性	基準を満たす。
情報の見せ方・フロー	視線の動き	アイコンを用いたセクションは粒度が揃い、Z 字型視線誘導が自然で違和感がない。
情報の見せ方・フロー	ナビゲーション	ページ上部のナビゲーションメニューはスティッキー表示され、言語切り替えボタンをトグル形式で配置し、使いやすい。
情報の見せ方・フロー	情報の階層構造	利用者目線の階層化が適切で親しみやすい。見出しと本文の文字サイズ差と余白が十分。
情報の見せ方・フロー	視覚的ヒント	アイコンやカラーで細かく情報を区分けして把握しやすい。個性的なイラストでサイトの特徴を表現し、視覚的ヒントとなっている。一方で、ニュースには画像がなく注意の引き付けが弱い。
情報の見せ方・フロー	ボタン配置	丸角ボタン+→アニメーションで遷移を示し、ボタンデザインを徹底している。配置も右揃えで進行方向のメンタルモデルに合致している。

## 17. 日本経済団体連合会

図表 20 日本経済団体連合会の調査結果

調査要素	調査項目	評価
視覚表現	デザインの一貫性	濃紺基調に、赤の差し色で落ち着いた印象となっており、経済団体としての権威あるブランド性を確保。プロフェッショナルな言葉遣いと、リンクホバー時に濃紺枠線エフェクトが走る動的変化がブランドの一貫性を強化している。
レイアウト	リキッドレイアウト	基準を満たす。
レイアウト	グリッド	基準を満たさない。
情報量	幅が 40 文字を超えない	基準を満たす。
情報量	均等割りの禁止	基準を満たす。
情報量	行送り 1.5 倍	基準を満たす。
情報量	段落間隔 1.5 倍	基準を満たさない。
情報量	テキスト 200%拡大	基準を満たさない。
文字サイズ	3.49mm 以上	基準を満たす。

コントラスト	コントラスト比 4.5:1 以上	基準を満たす。
アクセシビリティ	アクセシビリティ	基準を満たさない。
アクセシビリティ	alt 属性	基準を満たす。
情報の見せ方・ フロー	視線の動き	トップ画像と次の画像が重なり、同一視される恐れがあり視線が迷う。さらに新着情報が 4×3 のグリッドレイアウトで表示され、優先順位が読み取りにくい。
情報の見せ方・ フロー	ナビゲーション	ページ上部にナビゲーションメニューを配置しており、明確で一貫性がある。
情報の見せ方・ フロー	情報の階層構造	見出しと本文の文字サイズ差は十分だが、ニュース一覧で時系列が判別しづらい。また、会員関連情報がナビゲーションメニューになく、情報の整理に改善の余地がある。
情報の見せ方・ フロー	視覚的ヒント	視覚的ヒントは控えめだが、重要情報は視覚的に識別できる。しかし、一部コンテンツにサムネイルを用意しているが、ニュース・お知らせはテキストのみで視覚的ヒントが不足している。
情報の見せ方・ フロー	ボタン配置	モーション違いのボタンが混在し、認知負荷が高い。矢印伸長ボタンはマウスのホバー時に変化がなく、判別しにくい。さらに中央揃え配置で進行方向のメンタルモデルと合致しない恐れがある。

## 18. 東京商工会議所

図表 21 東京商工会議所の調査結果

調査要素	調査項目	評価
視覚表現	デザインの一貫性	地域性を活かした親しみやすい表現。色彩は青と赤を中心に落ち着きつつ、爽やかな印象を受ける。一方で、ブランドアイデンティティと異なるデザインのバナーがトップを占めることで、統一感が崩壊。新着情報を 4×3 グリッドで配置し、カテゴリー色分けが多彩で雑多である。
レイアウト	リキッドレイアウト	基準を満たす。
レイアウト	グリッド	基準を満たす。
情報量	幅が 40 文字を超えない	基準を満たす。
情報量	均等割りの禁止	基準を満たす。
情報量	行送り 1.5 倍	基準を満たす。
情報量	段落間隔 1.5 倍	基準を満たす。

情報量	テキスト 200%拡大	基準を満たさない。
文字サイズ	3.49mm 以上	基準を満たす。
コントラスト	コントラスト比 4.5:1 以上	基準を満たす。
アクセシビリティ	アクセシビリティ	基準を満たさない。
アクセシビリティ	alt 属性	基準を満たす。
情報の見せ方・フロー	視線の動き	事業サービスが 3×3、新着情報が 4×3 のグリッドレイアウトで情報過多の傾向。視線が拡散しやすく情報取得に時間がかかる。
情報の見せ方・フロー	ナビゲーション	ページ上部にナビゲーションメニューがスティッキー表示で配置され、スクロールしても常に表示される。
情報の見せ方・フロー	情報の階層構造	見出しと本文の文字サイズ差は十分である。しかし、文字量が多く、グリッド配置が複雑なため、情報の区別が難しい。さらに組織視点の構成でユーザーニーズと乖離している印象を受ける。
情報の見せ方・フロー	視覚的ヒント	アイコン・画像を活用し、ユーザーの注意を引く視覚的ヒントを提供している。
情報の見せ方・フロー	ボタン配置	アニメーションで独自性を出しているが、動作が統一されずユーザーのメンタルモデルと合致しない恐れがある。

## 19. 公益財団法人東京都中小企業振興公社

図表 22 公益財団法人東京都中小企業振興公社の調査結果

調査要素	調査項目	評価
視覚表現	デザインの一貫性	緑基調に、赤の差し色で落ち着いた印象となっており、公的機関の堅実性が示されている。しかし、ボタンはシャドウで立体感を演出するが、統一されていない。トップに多様なイベントバナーを配置し一貫性が弱い。
レイアウト	リキッドレイアウト	基準を満たす。
レイアウト	グリッド	基準を満たす。
情報量	幅が 40 文字を超えない	基準を満たさない。
情報量	均等割りの禁止	基準を満たす。
情報量	行送り 1.5 倍	基準を満たす。
情報量	段落間隔 1.5 倍	基準を満たさない。
情報量	テキスト 200%拡大	基準を満たす。
文字サイズ	3.49mm 以上	基準を満たす。

コントラスト	コントラスト比 4.5:1 以上	基準を満たす。
アクセシビリティ	アクセシビリティ	<a href="https://www.tokyo-kosha.or.jp/guide/checklist.html">https://www.tokyo-kosha.or.jp/guide/checklist.html</a>
アクセシビリティ	alt 属性	基準を満たす。
情報の見せ方・フロー	視線の動き	情報を適切にグルーピングし粒度を揃えているため、Z字型の視線誘導が機能している。すべて左揃えの配置も寄与する。しかし一覧への誘導リンクのみ中央揃えで一貫性を欠く。
情報の見せ方・フロー	ナビゲーション	ページ上部にナビゲーションメニューを配置している。
情報の見せ方・フロー	情報の階層構造	見出しと本文の文字サイズ差が十分確保されている。また、検索機能を冒頭に配置し、情報を段階的に提示しているため階層が明確である。一方で、内容量が多いため、少し散漫な印象を受ける。
情報の見せ方・フロー	視覚的ヒント	視覚的ヒントはやや限定的に感じる。アイコンや、画像、イラストを組み合わせ視覚的ヒントを提供している。一方で、一部バナーのイラストがサイトトーンと不一致で統一感を欠いた印象を受ける。
情報の見せ方・フロー	ボタン配置	グループ別に角丸ボタンを差別化し、違和感は少ない。しかし、一覧遷移ボタンの配置場所がばらつき（上部・下部・中央揃え・右揃え）があり、メンタルモデルと合致しない恐れがある。

## 20. BOXIL

図表 23 BOXIL の調査結果

調査要素	調査項目	評価
視覚表現	デザインの一貫性	企業向けサービスを洗練されたビジュアル・コピーで表現。濃緑基調・黄差し色で余白を多用し、カジュアルながら専門性も感じられる。検索機能を前面に、他社ロゴを小さく扱い、統一感を維持している。
レイアウト	リキッドレイアウト	基準を満たす。
レイアウト	グリッド	基準を満たす。
情報量	幅が 40 文字を超えない	基準を満たさない。
情報量	均等割りの禁止	基準を満たす。
情報量	行送り 1.5 倍	基準を満たす。

情報量	段落間隔 1.5 倍	基準を満たさない。
情報量	テキスト 200%拡大	基準を満たす。
文字サイズ	3.49mm 以上	基準を満たす。
コントラスト	コントラスト比 4.5:1 以上	基準を満たす。
アクセシビリティ	アクセシビリティ	基準を満たさない。
アクセシビリティ	alt 属性	基準を満たす。
情報の見せ方・フロー	視線の動き	検索重視のため機能ボタンを横に 5 個、カテゴリーを 4x4 のグリッドレイアウトで配置されているため、視線が上下左右にぶれやすい。目的が明確なユーザーは問題ないが、初見ユーザーは見落とししやすい。
情報の見せ方・フロー	ナビゲーション	ページ上部にナビゲーションメニューがスティッキー表示で配置され、スクロールしても常に閲覧できる。
情報の見せ方・フロー	情報の階層構造	検索を中心に考えた設計で、見出しと本文の文字サイズ差が十分である。さらに余白も広いいため、階層が明確。段組数は変則的だが、可読性を損なわない。
情報の見せ方・フロー	視覚的ヒント	モダンなカラーアクセントとアイコン、画像を活用しつつロゴを小さく配置しており、視覚的ヒントの調和を保っている。
情報の見せ方・フロー	ボタン配置	ボタンスタイルを統一し、左右均等あるいは中央揃え配置しているため探しやすい。

## 21. Money Forward 法人

図表 24 Money Forward 法人の調査結果

調査要素	調査項目	評価
視覚表現	デザインの一貫性	スタートアップや中小企業に寄り添う親しみやすいデザインでユーザーが直観的に操作できるように配慮されている。青・緑・黄を基調に、無料体験へのコンバージョンを促進。角丸トリミングで柔らかさ・親しみやすさを演出している。
レイアウト	リキッドレイアウト	基準を満たす。
レイアウト	グリッド	基準を満たす。
情報量	幅が 40 文字を超えない	基準を満たさない。
情報量	均等割りの禁止	基準を満たす。
情報量	行送り 1.5 倍	基準を満たす。

情報量	段落間隔 1.5 倍	基準を満たさない。
情報量	テキスト 200%拡大	基準を満たす。
文字サイズ	3.49mm 以上	基準を満たす。
コントラスト	コントラスト比 4.5:1 以上	基準を満たす。
アクセシビリティ	アクセシビリティ	基準を満たさない。
アクセシビリティ	alt 属性	基準を満たす。
情報の見せ方・フロー	視線の動き	中央揃えで情報を配置し、縦スクロールで閲覧させる構成。粒度を揃えた並列要素はフォントサイズを大きくし、グループ化しているため視線の迷いは少ない。
情報の見せ方・フロー	ナビゲーション	ページ上部にナビゲーションメニューを配置しているが、コンバージョンボタン「無料で試してみる」が大きく強調され、メニューの視認性が相対的に低い。
情報の見せ方・フロー	情報の階層構造	親しみやすく論理的な情報構造で理解を促進させる。CTA「無料で試してみる」を軸に見出しと本文の文字サイズ差を設計し、顧客価値→事例→価格の順で階層を構築している。
情報の見せ方・フロー	視覚的ヒント	アイコンや画像、イラストを多用し、3色に色数を制限することでブランド一貫性を保つ。
情報の見せ方・フロー	ボタン配置	角丸ボタンで推奨行動を色分けし、それ以外はテキストリンクで階層を分けている。しかし、黄色ボタンと青塗ボタンが同列に置かれ色の優先度が曖昧で、どちらが推奨行動か判別しにくい。

## 第6節. ウェブサイトデザインのトレンド・ベストプラクティスの選出

### 1. 選出方法

ウェブサイトデザインのトレンドやベストプラクティスを選定するにあたっては、特許庁ホームページの特性および訪問者の属性を十分に考慮した。単一の事例をそのままベストプラクティスとして採用するのではなく、複数の候補となるウェブサイトから、特許庁ホームページに取り込むべきデザイン要素を抽出し、統合して反映した。なお、ベストプラクティスの選定におけるベースは、特許庁が官公庁向けに定めるデザインガイドラインに準拠したものとした。

### 2. 選出内容

トレンド・ベストプラクティスの選出にあたり、「わかりやすさ」「見やすさ」「使いやすさ」については、WCAG2.1 およびデジタル庁ガイドラインで定められた基準を満たすことを前提とする。

図表 25 WCAG2.1 およびデジタル庁ガイドラインを基に定めた適合基準

要素	基準値	適合基準
レイアウト	リキッドレイアウト	基準を満たすように実装する。
レイアウト	グリッドシステム	1 2カラムを軸としたグリッドシステムを採用する。
情報量	幅が 40 文字を超えない	官公庁の資料では公文書として誤解の無いように見出しやタイトルが長くなる傾向がある。またユーザー属性も公文書を読み解く読解力がある人が多数のため、40 文字以下とする基準は試作の開発条件から外す。長い文字数を考慮し、文章の前後の余白を大きく確保する。
情報量	均等割の禁止	基準を満たすように左揃えとする。
情報量	行送り 1.5 倍	line-height 1.5 (p:14px とした場合 21px)
情報量	段落間隔 1.5 倍	Margin & Padding の余白が行送りの 1.5 倍 (p:14px で 31.5px 以上)
情報量	テキスト 200%拡大	基準を満たすように実装する。
文字サイズ	縦幅 3.49mm 以上	p:14px
コントラスト	コントラスト比 4.5:1 以上	基準を満たすカラーを使用する。(デジタル庁デザインシステム 6 版 (v2.10.2) におけるカラーパレットを使用する。)
アクセシビリティ	アクセシビリティ	WCAG2.2 達成基準 AA を満たす。
アクセシビリティ	alt 属性の付与	alt 属性を付与する。

## (1) デザインの一貫性

デジタル庁のデザインシステムに則り、プライマリーカラーは「デジタル庁デザインシステム 6 版 (v2.10.2)」の濃紺 (Blue-900) とし、同系色を用いて官公庁としての高品質なウェブサイト仕上げ。また、特許庁がこれまで形成してきた信頼性を、落ち着いた配色や十分な余白の活用によって視覚的に表現する。バナーについては、カードのテキストリンクとする。さらに、文字の周りに十分な余白を設け、文章のまとまりを明確に示す。スライド型のコンテンツ表示については、トップページにふさわしい高品質なビジュアル表現を求め、デザインのトーン&マナーが揃ったビジュアル表現を掲載する。ビジュアル表現としては、高品質な写真、またはイラストの活用を推奨する。

図表 26 EPO HP のビジュアル表現

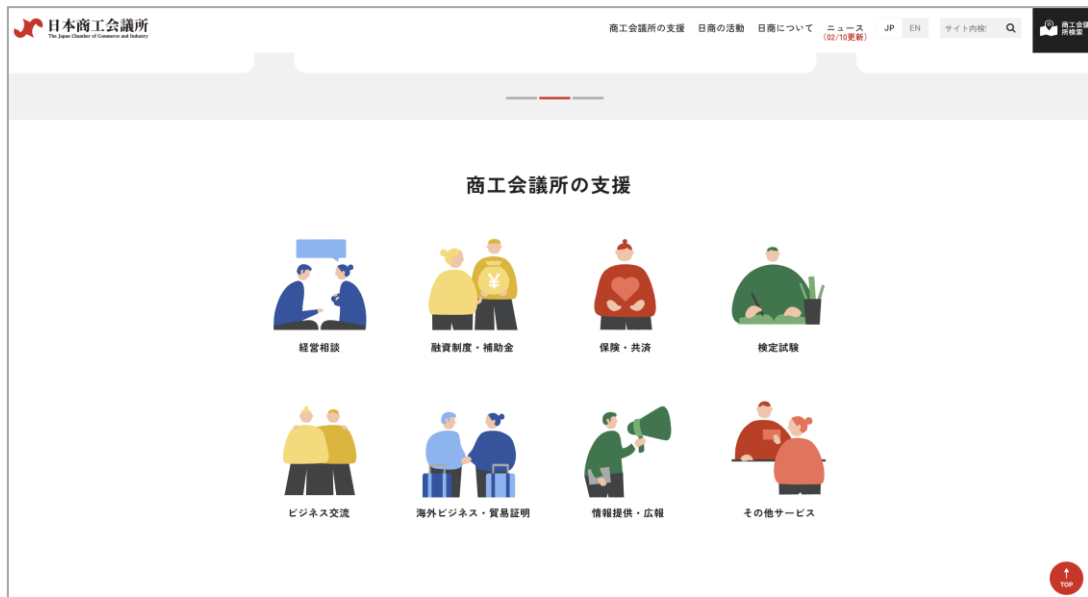


出典：EPO HP (<https://www.epo.org/en>) 調査日 2026 年 2 月 12 日

## (2) 視線の動き

視線の動きについては、上から下、左から右へと自然に誘導できるよう、情報は左揃えで配置し、性質の異なる情報を左右に併記せず縦に整列させる。新着情報など複数の記事が並ぶ場合も、グリッドで配置せず縦に整列させる。また、横に並列する必要がある場合は、ピクトグラムやアイコンを用いて余白を設け、グループが判別できるようにする。

図表 27 日本商工会議所の視線誘導



出典：日本商工会議所 (<https://www.jcci.or.jp/>) 調査日 2026 年 2 月 12 日

(3) ナビゲーション

グローバルナビゲーションはページ上部に表示し、スティッキー表示として縦スクロールに追従させる。ナビゲーションはカラム全体を使用する。検索ボタンはウェブサイトのメインページ内には設置せず、グローバルナビゲーション内に配置する。検索機能は検索の入力は別画面で行うか、クリックによって検索メニューが表示される仕様とし、アイコンには「検索」の文字を併記する。なお、グローバルナビゲーションのサブメニューの開き方はデザインシステムに準拠する。

図表 28 デジタル庁のナビゲーション表現



出典：デジタル庁 (<https://www.digital.go.jp/>) 調査日 2026 年 2 月 12 日

#### (4) 情報の階層構造

まず、ウェブサイト上部には目的別のショートカットリンク集を配置し、最短経路で目的の情報に到達できるようにする。続いて、ウェブサイト中段以降にニュース、イベント、動画などの広報コンテンツを配置し、利用者の興味・関心を醸成してサイト内回遊を促す。また、広報コンテンツ等はワンクリックで到達できる導線とし、視覚的ヒントを積極的に用いる。加えて、サイトマップや投書箱等はフッターに集約して掲載する。新着情報・お知らせの表示件数は日付の新しい順に5件とし、それ以上は「一覧を見る」ボタンからニュース一覧ページへ誘導する。最後に、特許庁が発信する情報については、現行の種別・属性を利用者の要望を踏まえて見直し、種別・属性に用いる色数を削減する。

図表 29 日本政策投資銀行のビジュアル表現



出典：日本政策投資銀行 (<https://www.dbj.jp/>) 調査日 2026年2月12日

#### (5) 視覚的ヒント

まず、デジタル庁のデザインを象徴する角丸カード型のデザインを特許庁ホームページにも適用し、角の形状はカードのサイズに応じて角丸半径を変化させる。次に、ボタンリンクには矢印を付与し、通常時とマウスホバー時で矢印が伸縮するなどのエフェクトを加えることで、可クリック状態であることを明示する。

また、ボタンの配置は左揃えを原則とし、デザインおよびカラーはデザインシステムに準拠する。配置ルールとしては、基本は左揃えとする。具体的には、基本型として左側にボタンを配置する。さらに、カード内のボタンが複数かつ文章の場合は、全幅ボタンを縦に並べる。

## 第7節. 特許庁、INPIT及び関係団体の担当者へのアンケート調査

### 1. 実施概要

以下の内容にて実施した。

図表 30 実施概要

調査期間	2025年8月13日～2025年8月20日
調査方法	メール送付、メール回収
対象者	特許庁及びINPIT職員 ※外部機関については特許庁との協議を経て除外した。
回収数	22 担当者より 124 のご意見を回収
調査項目	● 自身の業務に照らして、現行の特許庁 HP ( <a href="https://www.jpo.go.jp/">https://www.jpo.go.jp/</a> ) のトップページおよび第二階層以下に関する課題と感ずる点

調査方法は、下図の Excel を担当者にメールで送付し、メールにて回答いただいた。作成にあたっては回答しやすいように回答例を付した。

図表 31 特許庁、INPIT 及び関係団体の担当者への現状把握におけるアンケート調査票（依頼文）

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
1	下記をふまえ、ご記入いただけますと幸いです。ご多用のところ恐縮ですが、何卒よろしくお願ひ申し上げます。															
2																
3	■本アンケートの目的															
4	・令和7年度知的財産行政情報の収集促進支援調査事業(特許庁の戦略的な広報実施に向けた調査)の一環で実施しております。															
5	・既存の特許庁ウェブサイト( <a href="https://www.jpo.go.jp/">https://www.jpo.go.jp/</a> )をリニューアルするにあたり、本アンケートで皆様のご利用状況と課題等をお伺いします。															
6	・また、本アンケート結果をふまえ、後日、皆様には詳しいご意見を伺いたく、グループインタビューをさせていただきたいと考えております。【特許庁及びINPITご担当者様】															
7	※収集した情報について外部公開する報告書等に掲載する場合には、回答者が特定されない形に加工いたします。また、機微情報については対外非公開とします。															
8																
9	■ご回答方法															
10	・「①ご所属等」と「②回答欄」の薄オレンジ着色セルにご記入ください。															
11	・「①ご所属等」については、ご所属の組織・部署、氏名と特許庁ウェブサイトの利活用目的についてご記入ください。															
12	・「②回答欄」には利用シーン別のお困りごとと新しいページに対するニーズをご記入ください。お困りごと等はトップページとその他のページで分けてご記入をお願いします。															
13	・「②回答欄」への記入内容は、適宜「【参考例】②回答欄」をご参考ください。															
14	・「②回答欄」が不足する場合は、適宜、行を追加してのご回答をお願いいたします。															
15	※「②回答欄」において「トップページ」欄が「トップページ以外」欄に記載に迷う場合は「トップページ」の方にご記載ください。															
16	※トップページではない個別に参照すべきURLがあれば「トップページ以外」の欄にURLとともにご回答ください。															
17																
18	■×切															
19	2025年8月20日(水)															
20																
21	■返送先、問い合わせ先															
22	本アンケートの依頼は特許庁広報室より発出してありますが、回答は、本事業を委託している三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社内の下記宛てにエクセルファイルをご返送ください。															
23	特許庁の戦略的な広報実施に向けた調査事務局															
24	jp_pr@murc.jp															

図表 32 特許庁、INPIT 及び関係団体の担当者への現状把握におけるアンケート調査票（記名欄）

	A	B	C	D	E	F
1	質問	ご回答例	回答欄			
2	所属	特許庁△△課				
3	氏名	〇〇 〇〇				
4	ご連絡先 (本事業に関連する問い合わせやグループインタビューの日程調整等の際にご連絡させていただきます。)	※メールアドレス ip_pr@murc.jp				
5	特許庁ウェブサイトの主な利用目的	・弁理士・弁護士、支援機関、知財を活用している中小企業、知財を活用している大企業のうち特に□□に向けて○ ○の情報を発信している。 ・中小企業からの問い合わせの際に参照する。				
6	※収集した情報について外部公開する報告書等に掲載する場合には、回答者が特定されない形に加工いたします。また、機微情報については対外非公開とします。					

図表 33 特許庁、INPIT 及び関係団体の担当者への現状把握におけるアンケート調査票（回答欄）

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1		課題を感じるシーン	左記の頻度	トップページ( <a href="https://www.jpo.go.jp/index.html">https://www.jpo.go.jp/index.html</a> )	Webサイトへのニーズ	当該ページのURL	発生している課題(困りごと)	Webサイトへのニーズ			
2				発生している課題(困りごと)	Webサイトへのニーズ	当該ページのURL	発生している課題(困りごと)	Webサイトへのニーズ	※調査内容を増やしてご回答ください		
3	回答1										
4	回答2										
5	回答3										

図表 34 特許庁、INPIT 及び関係団体の担当者への現状把握におけるアンケート調査票（回答例）

	A	B	C	D	E	F	G	H
1		課題を感じるシーン	左記の頻度	トップページ( <a href="https://www.jpo.go.jp/index.html">https://www.jpo.go.jp/index.html</a> )	Webサイトへのニーズ	当該ページのURL	発生している課題(困りごと)	Webサイトへのニーズ
2				発生している課題(困りごと)	Webサイトへのニーズ	当該ページのURL	発生している課題(困りごと)	Webサイトへのニーズ
3	例1	〇〇情報はサイトのどこにあるのかといった一般的な問い合わせも受ける	1日数回	例えば、「制度から探す」で「特許」を選んだ場合、次のメニューがテキストの順列になって出てくる一方で、右下の「特許に関するページ一覧を見る」を押すとページが切り替わるが、メニュー数が少なくなって迷走する。	トップページに表示するメニューを絞るか、次のページのメニューを整理する事で導線が混乱しないようにしてほしい。	-	-	-
4	例2	特許法等の改正について、関係決定され交付されたので、周知をする	約1回程度	「特許法等の一部を改正する法律案」までのアクセスのステップが多い	「特許法等の一部を改正する法律案」へすぐにアクセスできるようにしてほしい。	<a href="https://www.jpo.go.jp/syst">https://www.jpo.go.jp/syst</a>	海層が深いので、トップページからアクセスしづらい	最新情報へのリンクだけでもトップページに表示してほしい。
5	例3	特許出願を検討されている方からの問い合わせ時にホームページを閲覧してもらいたい必要な情報の所在を案内している	1日数回	特許審判で適切な検索やページ遷移が再現できない(リテラシーというより検索のしにくさ)ことが多く、ページ内検索機能の強化や全体のレイアウトの見直しについて要望を受けたことがある	現時点のトップページは下までスクロールするとコンテンツメニューが表示される。この場所を工夫することで早く目的の情報に到達できるとよい	-	-	-
6	例4	特許の〇〇について、企業様からの問い合わせを受け付け、サイトの掲載情報をご案内している。	1日10回程度	上部が「サイト内検索」「注目情報」でスペースを占有しているため、垂直スクロールしないと必要な情報をご案内できない。	企業担当者が自ら探しやすいように、「探す」のメニューも上部に持ってきてほしい。	-	-	-
7	例5	自機関の事業やサービスを説明する際に、随分となる情報を特許がホームページに求め、必要に応じて参照先として紹介している	週1回	参照するべき特許庁ホームページ内のコンテンツを速やかに見つけることができないことが多い。ページ内検索も過去情報が上位に表示されることもある	ホームページのトップページから必要な情報へ速やかに到達できる機能の強化を希望します(レイアウトの工夫とページ内検索を組み合わせたなど)	-	-	-
8	例6	特定のコンテンツに関連する情報を確認したい場合、顧客検索を行っている	月1回	思うような関連情報を見つけれず想定以上の時間がかかってしまうことが多い	トップページにおいてホームページの効率的な使い方を案内してくれる動画があると、まずそれを見てから検索検索することで効率が高まるのではないかと	-	-	-
9	例7	前日付のシステム障害などの重要かつ緊急度の高い情報を確認する	週1回	毎日更新されているためか、過去の重要情報がすぐには見られず、見たい情報が届いていない	重要情報、緊急情報、期限あり情報など、閲覧者が見る順番を選択できるような配置を考えてもらいたい	-	-	-

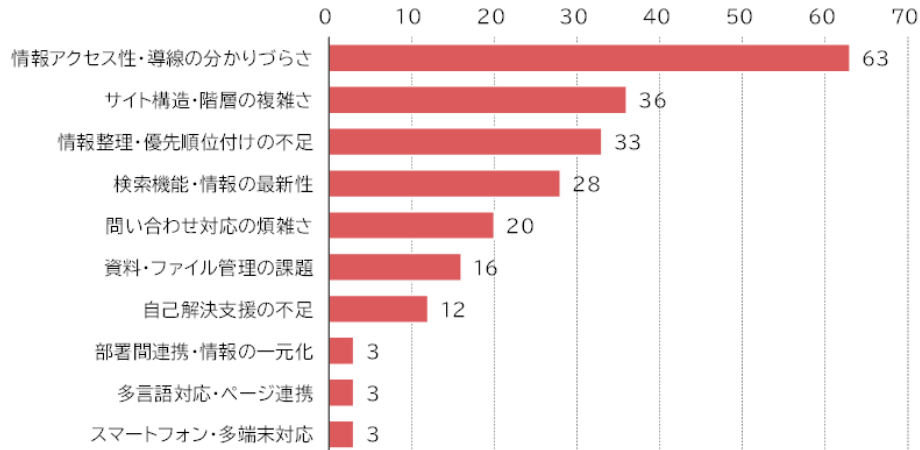
## 2. 実施結果

アンケート調査結果については、以下の通り取りまとめた。

図表 35 特許庁、INPIT 及び関係団体の担当者へのアンケート調査結果



## アンケート結果分類別の回答数

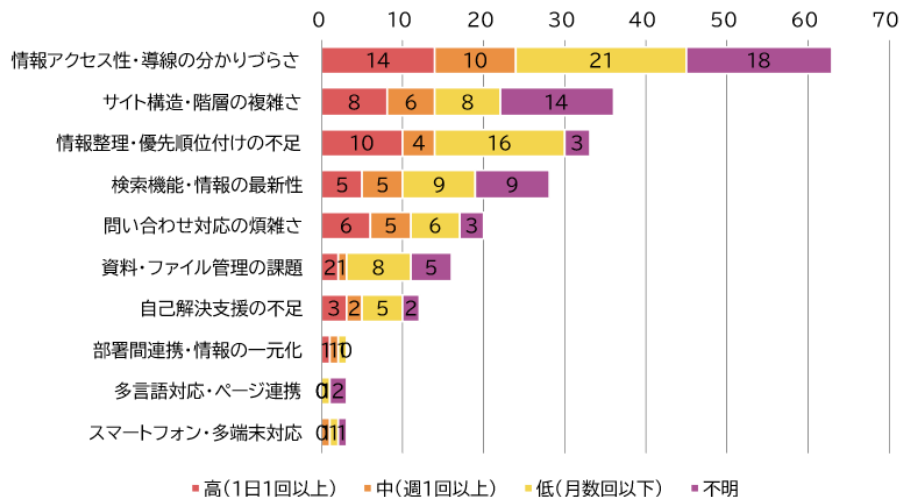


Mitsubishi UFJ Research and Consulting



2

## アンケート結果分類別の回答数×対応頻度



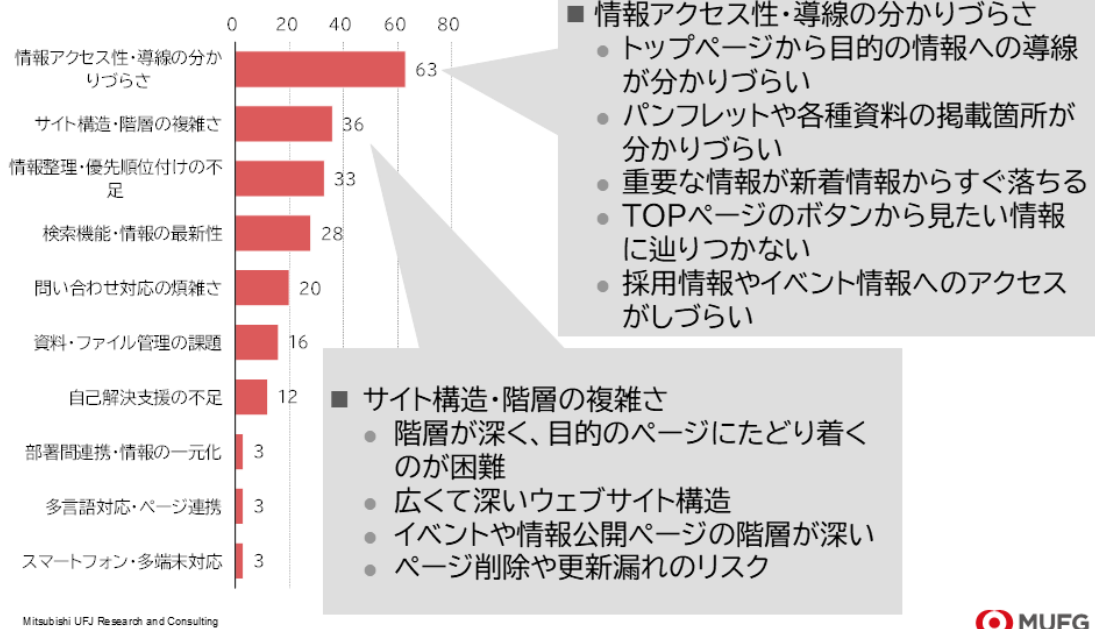
■ 高(1日1回以上) ■ 中(週1回以上) ■ 低(月数回以下) ■ 不明

Mitsubishi UFJ Research and Consulting



3

## 分類の概要①

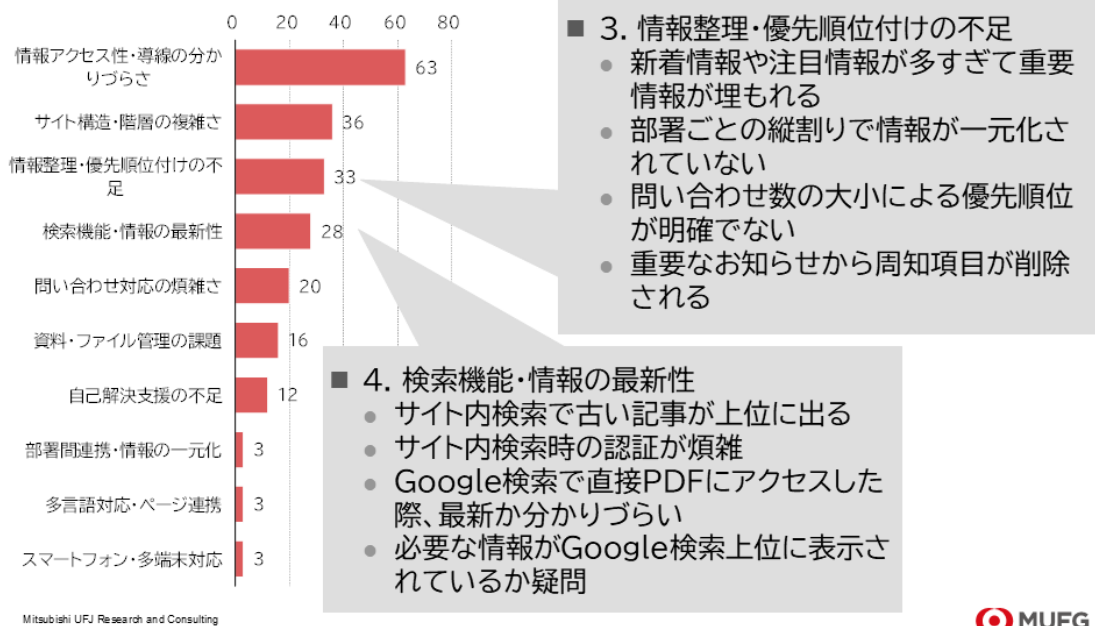


4

Mitsubishi UFJ Research and Consulting



## 分類の概要②

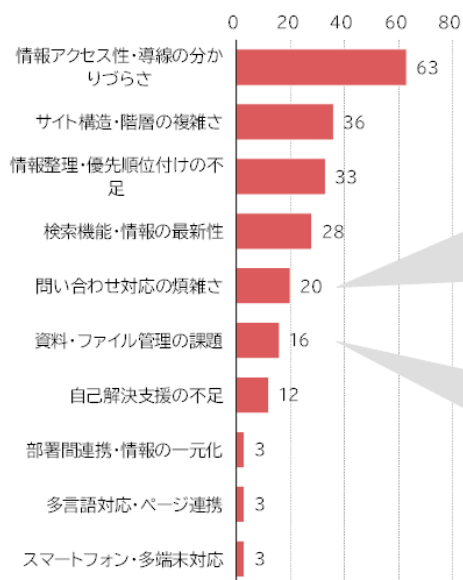


5

Mitsubishi UFJ Research and Consulting



### 分類の概要③



#### ■ 問い合わせ対応の煩雑さ

- 別部署が担当する内容の問い合わせが多い
- 複数部署への転送が発生
- 問い合わせ対応時にHPのどこに情報があるか案内しづらい
- 電話対応時に同じ内容の問い合わせが繰り返される

#### ■ 資料・ファイル管理の課題

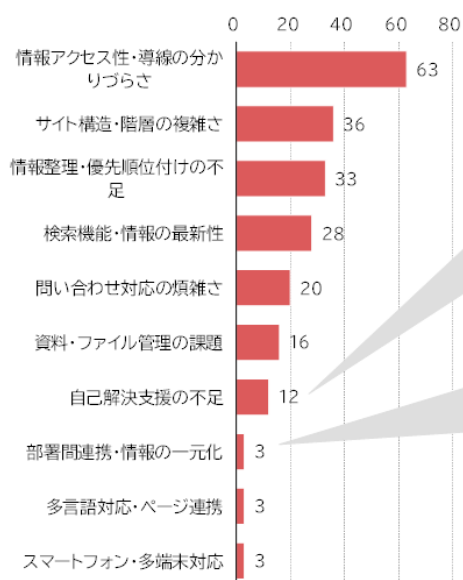
- PDFや添付ファイルの管理・更新が煩雑
- HP更新依頼や修正依頼が多い
- 添付ファイルのダウンロードが煩雑

Mitsubishi UFJ Research and Consulting



6

### 分類の概要④



#### ■ 自己解決支援の不足

- 「よくある質問」と類似する電話問い合わせが多い
- HPを見て解決できるようにしてほしいという声
- FAQや案内ページが分かりづらい

#### ■ 部署間連携・情報の一元化

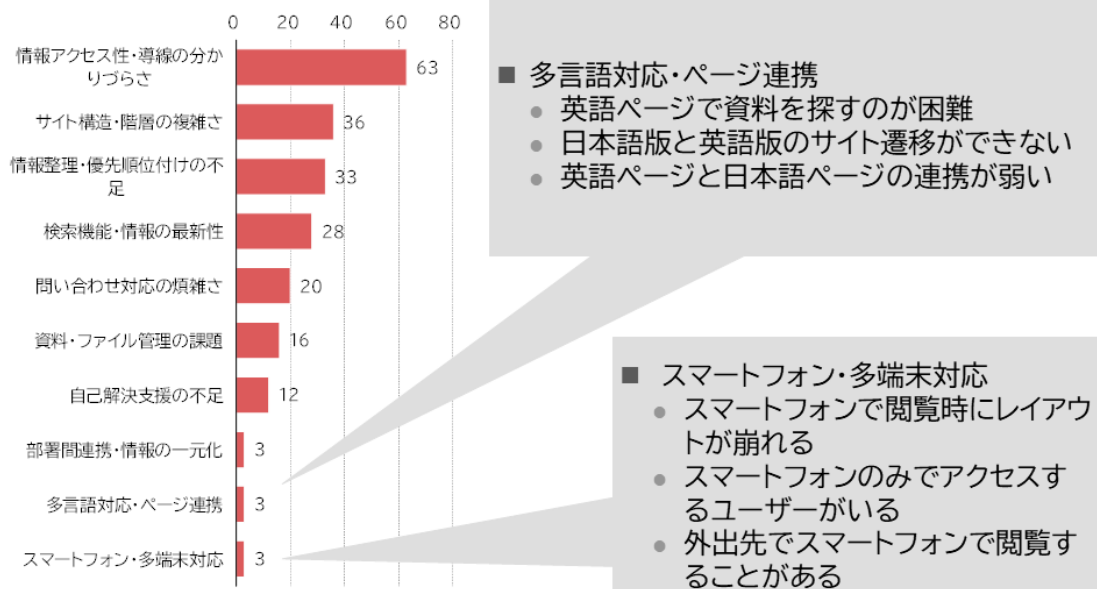
- 部署ごとの縦割りで情報がまとまっていない
- 別部署が担当の問い合わせが来てしまう
- 複数課にまたがる内容の記事の案内が難しい

Mitsubishi UFJ Research and Consulting



7

## 分類の概要⑤



8

Mitsubishi UFJ Research and Consulting



## グループインタビュー

9 Mitsubishi UFJ Research and Consulting



## グループインタビューの進め方

### (ア) アンケート結果を踏まえ、追加のご意見、ご要望

- まずアンケートで回答できなかった、あるいは当日思いついたご意見についてお伺いします。
- **本日は主にトップページについてご意見をお伺いします。**

### (イ) 現行Webサイトについてのご意見伺い

- アンケート結果を整理した複数のトピックについて、順にお伺いします。
  - 論点①: 電話等の問合せの際の案内
  - 論点②: 「制度から探す/目的から探す/利用者別に探す」のタブや「はじめての方へ」のボタン
  - 論点③: よくある問合せ
  - 論点④: 新着情報
  - 論点⑤: 英語版、スマホ版

### ■ オンラインで参加される皆様へ

- チャット欄でコメントを寄せていただくか、挙手をお願いいたします。

Mitsubishi UFJ Research and Consulting



10

## グループインタビュー 論点①

### ■ 電話等でのお問合せの際の案内

- 電話等でお問合せを受けた際に、ご案内が難しいという回答が複数見られました。
  - 1. 実際どのようにご案内されているのでしょうか？
  - 2. ご案内が詰まってしまうポイントを教えていただけますでしょうか？
  - 3. 現状のウェブサイト上で、こういった部分の説明が伝わりにくく、サイト訪問者による自己解決が難しいのでしょうか？

課題を感じるシーン	頻度	第2階層以下で発生している課題(困りごと)	第2階層以下へのニーズ
HPを見て問合せの電話がかかってくることが多いが、HPを見て解決できるようにしても良いのではないかなと思う。(移動中にちょっと質問したいとか、逆に電話ができない環境もあり得るし時間外でも解決できることもあるのではないかな)	毎週(1~9回)	正しい問い合わせ先が分からず、とりあえず電話をしてきたと思われるケースがある <a href="https://www.jpo.go.jp/faq/index.html">https://www.jpo.go.jp/faq/index.html</a>	お問い合わせ一覧(簡潔に) → よくあるお問い合わせ → チャットで質問する(AIが答える) → それでも解決できない場合 → 電話対応という流れにできれば良いと思われる

Mitsubishi UFJ Research and Consulting



11

## グループインタビュー 論点①

### ■ 電話等でのお問合せの際の案内

- 電話等でお問合せを受けた際に、ご案内が難しいという回答が複数見られました。
  - 1. 実際どのようにご案内されているのでしょうか？
  - 2. ご案内が詰まってしまうポイントを教えていただけますでしょうか？
  - 3. 現状のウェブサイト上で、こういった部分の説明が伝わりにくく、サイト訪問者による自己解決が難しいのでしょうか？

課題を感じるシーン	頻度	トップページで発生している課題(困りごと)	トップページへのニーズ
書類の書き方等の問い合わせに対しては、口頭で説明するよりもHPをご案内して目で確認していただく方が間違いが生じないが、全体的にトップページからのつながりが悪い。 ※上記の事情からサイト内検索を案内するが、口頭の伝達ミスや、Google検索上のセキュリティチェック(ロボットでないことの確認)が生じることがある。	毎日(10回以上)	各記事がトップページから体系的に繋がっていない。階層が全体的に深く、関連性の深いような記事が全く別のカテゴリにあり、自力では見つけづらいと感じる。例えば、出願の手続を体系的にまとめたPDF冊子→ホーム> 制度・手続> 法令・施策> 法令・基準> 基準・便覧・ガイドライン> 出願の手続出願後に質問の多い手続について→ホーム> 制度・手続> 手続一般> 出願> 出願窓口> 出願に関する情報> 出願後に質問の多い手続	パンくずリストの構造見直しそもそも、階層の作り方として「制度・手続」や「手続一般」などの分け方が使いにくい要因ではないかと考える。ユーザーや庁職員の利便性や、関連記事へのアクセス向上・担当のわかりやすさからも、記事の分類の方法は「各手続ごと」としたほうが良いのではないかと考える。例えば、同じく多種多様な手続を所管する市役所のサイト等の構造を参考にするなど。 <a href="https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/kurashi-tetsuzuki/index.html">https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/kurashi-tetsuzuki/index.html</a>

12

## グループインタビュー 論点①

### ■ 電話等でのお問合せの際の案内

- 電話等でお問合せを受けた際に、ご案内が難しいという回答が複数見られました。
  - 1. 実際どのようにご案内されているのでしょうか？
  - 2. ご案内が詰まってしまうポイントを教えていただけますでしょうか？
  - 3. 現状のウェブサイト上で、こういった部分の説明が伝わりにくく、サイト訪問者による自己解決が難しいのでしょうか？

課題を感じるシーン	頻度	トップページで発生している課題(困りごと)	トップページへのニーズ
階層が複雑化しているため、HP上で知りたい内容に簡単にアクセスできないようになっている。	毎日(1~9回)	電話での問い合わせ時に参照いただきたいページを案内しても、対象のページにたどり着くまでに時間がかかることが多々ある。	AIチャットボットの導入等、キーワードから知りたい情報のページにアクセスがしやすいような仕組みを導入いただきたい。

13

## グループインタビュー 論点①

### ■ 電話等でのお問合せの際の案内

- 電話等でお問合せを受けた際に、ご案内が難しいという回答が複数見られました。
  - 1. 実際どのようにご案内されているのでしょうか？
  - 2. ご案内が詰まってしまうポイントを教えていただけますでしょうか？
  - 3. 現状のウェブサイト上で、こういった部分の説明が伝わりにくく、サイト訪問者による自己解決が難しいのでしょうか？

課題を感じるシーン	頻度	トップページで発生している課題(困りごと)	トップページへのニーズ
商標に関する法令や基準を案内する際	毎日(1~9回)	JPPの入口が分かりにくい。電話で『特許庁ロゴ』の下に『重要なお知らせ』があります。その下の『サイト内検索』の右側、『注目情報』の一つ目のボックスをクリック』という感じで、順に、ゆっくりと説明しても右往左往されることが多い。	・利用者のニーズ(「特許や商標」というフィールド、又は「出願したい・調べたい」というアクション)に一目で対応できる表示が、ホーム画面の1ページ目(PCの画面をスクロールしなくても見える位置)にあると使い勝手がよい。 ※市役所のホームページでよく見るデザイン・例えば、現在、ホームの1ページ目下半分に「サイト内検索・ポップアップ画面・注目情報」が表示されるが、脈絡がなく、見出しも小さくて分かりにくい。これをカットし、2ページ目にある「制度から探す」「目的から探す」のアイコンを1ページ目に並べると、「検索したい」アイコンから簡単に入れる。直感で操作可能となり、利用者のストレスが軽減されると思われる。

14

## グループインタビュー 論点①

### ■ 電話等でのお問合せの際の案内

- 電話等でお問合せを受けた際に、ご案内が難しいという回答が複数見られました。
  - 1. 実際どのようにご案内されているのでしょうか？
  - 2. ご案内が詰まってしまうポイントを教えていただけますでしょうか？
  - 3. 現状のウェブサイト上で、こういった部分の説明が伝わりにくく、サイト訪問者による自己解決が難しいのでしょうか？

課題を感じるシーン	頻度	トップページで発生している課題(困りごと)	トップページへのニーズ
外部からの問合せに対する回答としてHPの記事を参照する場合	毎週(1~9回)	トップページがスクロールしてしか概観できない上に情報量も多く、電話対応しながら適切なページへの入口を探すのに苦労することがある。	相手にも説明しにくいことから、もう少し情報量をコンパクトにまとめて欲しい。

15

## グループインタビュー 論点②

- 「制度から探す/目的から探す/利用者別に探す」のタブや「はじめての方へ」のボタン
  - 1. お問合せ対応等で、現在のトップページ上でのリンク配置や構成(タブ切替え・マーク・色や形)は活用しにくいのでしょうか？
  - 2. 活用しにくいという場合は、使いにくい箇所について教えていただけますでしょうか？
  - 3. ウェブページの改訂で、どのようなカテゴリーや項目をウェブサイト上段に配置することを望みますか？

課題を感じるシーン	頻度	トップページで発生している課題(困りごと)	トップページへのニーズ
「意匠」の中にある掲載ページの案内の一言目が説明しづらい。	毎月(1~9回)	「ページ上部から少し下の『制度から探す』にある『青い箱の意匠という文字』をクリックしていただき」の説明がしづらい。	「制度から探す」の内容をトップページ最上部に置き、画面をスクロールしてもいつも張り付くようにしてはどうか。(例: みずほ銀行トップページ < <a href="https://www.mizuhobank.co.jp/index.html">https://www.mizuhobank.co.jp/index.html</a> >)

## グループインタビュー 論点②

- 「制度から探す/目的から探す/利用者別に探す」のタブや「はじめての方へ」のボタン
  - 1. お問合せ対応等で、現在のトップページ上でのリンク配置や構成(タブ切替え・マーク・色や形)は活用しにくいのでしょうか？
  - 2. 活用しにくいという場合は、使いにくい箇所について教えていただけますでしょうか？
  - 3. ウェブページの改訂で、どのようなカテゴリーや項目をウェブサイト上段に配置することを望みますか？

課題を感じるシーン	頻度	第2階層以下で発生している課題(困りごと)	第2階層以下へのニーズ
問い合わせへの対応	毎日(10回以上)	情報は豊富だが整理されていないためにほしい情報が埋もれている。特に手続の様式は階層も深く、案内するのに苦労する。 <a href="https://www.jpo.go.jp/system/design/hague/index.html">https://www.jpo.go.jp/system/design/hague/index.html</a>	現在、文字ばかりのページとなっているが、画像やアイコンを用いて視覚的に分かりやすいレイアウト構成としたい。

## グループインタビュー 論点②

- 「制度から探す/目的から探す/利用者別に探す」のタブや「はじめての方へ」のボタン
  - 1. お問合せ対応等で、現在のトップページ上でのリンク配置や構成(タブ切替え・マーク・色や形)は活用しにくいのでしょうか？
  - 2. 活用しにくいという場合は、使いにくい箇所について教えていただけますでしょうか？
  - 3. ウェブページの改訂で、どのようなカテゴリーや項目をウェブサイト上段に配置することを望みますか？

課題を感じるシーン	頻度	トップページで発生している課題(困りごと)	トップページへのニーズ
-	常時	制度から探す/特許、制度から探す/実用新案、その下のメニューが同じで同じページに飛んでいますが、せっかく別になっているのであれば、特許は特許に必要な情報のみ、実用新案は実用新案に必要な情報のみが表示されたほうが混同が少ないのではと思いました。	-

## グループインタビュー 論点③

- 「よくある質問」
  - 「よくある質問」をもっと活用した方が良いのではという回答が複数見られました。
    - 1. 「よくある質問」をトップページ(ページ中段から下段)に置くのはどうでしょうか？
      - (参考)「よくある質問」
      - <https://www.jpo.go.jp/faq/yokuaru/index.html>

課題を感じるシーン	頻度	第2階層以下で発生している課題(困りごと)	第2階層以下へのニーズ
HPに載せている「よくある質問」と類似する質問について、電話での問合せが多い	毎日(1~9回)	本来であれば左記HPを読むと解決する質問だが、当該HPが見つかりにくいために電話で問合せが多い。  <a href="https://www.jpo.go.jp/system/patent/shutugan/tetuzuki/isdn_yoshiki_qa.html">https://www.jpo.go.jp/system/patent/shutugan/tetuzuki/isdn_yoshiki_qa.html</a>	お問合せ先一覧( <a href="https://www.jpo.go.jp/faq/list.html">https://www.jpo.go.jp/faq/list.html</a> )の相談内容付近に、よくある質問の左記URLを記載すれば、電話で問い合わせる前に読んでもらいやすい。

## グループインタビュー 論点③

### ■ 「よくある質問」

- 「よくある質問」をもっと活用した方が良いのではという回答が複数見られました。
  - 1. 「よくある質問」をトップページ(ページ中段から下段)に置くのはどうでしょうか？
    - (参考)「よくある質問」
    - <https://www.jpo.go.jp/faq/yokuaru/index.html>

課題を感じるシーン	頻度	トップページで発生している課題(困りごと)	トップページへのニーズ
書類の書き方等の問い合わせに対しては、口頭で説明するよりもHPをご案内して目で確認していただく方が間違いが生じないが、全体的にトップページからのつながりが悪い。※上記の事情からサイト内検索を案内するが、口頭での伝達ミスや、Google検索上のセキュリティチェック(ロボットでないことの確認)が生じることがある。	毎日(10回以上)	各記事がトップページから体系的に繋がっていない。階層が全体的に深く、関連性の深いような記事が全く別のカテゴリにあり、自力では見つけづらいと感じる。例えば、出願の手続を体系的にまとめたPDF冊子→ホーム> 制度・手続> 法令・施策> 法令・基準> 基準・便覧・ガイドライン> 出願の手続出願後に質問の多い手続について→ホーム> 制度・手続> 手続一般> 出願> 出願窓口> 出願に関する情報> 出願後に質問の多い手続	あるいは、各記事にアクセスしやすい別の方法(チャットボット形式にすることや、「よくある質問」のページの再整理((問い合わせ対応ではあまり参照しないため、ユーザーがどのように使用しているかは分かりません))、あるいは各記事で関連性の深い記事へのリンクを置くなど)。リンク例: 下記ページ下部の「関連FAQ」のようなイメージ <a href="https://www.docomo.ne.jp/faq/detail?faqId=243162">https://www.docomo.ne.jp/faq/detail?faqId=243162</a>

20

## グループインタビュー 論点③

### ■ 「よくある質問」

- 「よくある質問」をもっと活用した方が良いのではという回答が複数見られました。
  - 1. 「よくある質問」をトップページ(ページ中段から下段)に置くのはどうでしょうか？
    - (参考)「よくある質問」
    - <https://www.jpo.go.jp/faq/yokuaru/index.html>

課題を感じるシーン	頻度	トップページで発生している課題(困りごと)	トップページへのニーズ
同じような内容の問い合わせがくる。	毎日(1~9回)	問い合わせ対応では似たような質問を受けることも多く、かつ既にHPのQ&A等で回答を掲載していることもある。  <a href="https://www.jpo.go.jp/faq/yokuaru/index.html">https://www.jpo.go.jp/faq/yokuaru/index.html</a>	「よくある質問」のリンクはトップページのより目立つ場所に配置できるとよいかも示れない。

21

Mitsubishi UFJ Research and Consulting

MUFG

## グループインタビュー 論点③

### ■ 「よくある質問」

- 「よくある質問」をもっと活用した方が良いのではという回答が複数見られました。
  - 1. 「よくある質問」をトップページ(ページ中段から下段)に置くのはどうでしょうか？
    - (参考)「よくある質問」
    - <https://www.jpo.go.jp/faq/yokuaru/index.html>

課題を感じるシーン	頻度	トップページで発生している課題(困りごと)	トップページへのニーズ
—	頻度不明	特許庁HPを確認してもらえば分かる問合せも多いですが、手続に関する情報を探しにくい構造になっていると思われます。例えば、Q&Aでいうと、トップページの「お問合せ Q&A」以外にも各課室で作成したQ&Aがあるため、Q&A自体が探しにくい構造となっており、登録についてのQ&Aは以下のとおりお問合せQ&Aとは異なるページにあります。 <a href="https://www.jpo.go.jp/system/process/toroku/jitumu_qa.html">https://www.jpo.go.jp/system/process/toroku/jitumu_qa.html</a> ユーザーからすると、お問合せQ&A以外にQ&Aがあると思わない可能性もあるので、一覧性を向上させるなどしていただけると幸いです。	例えば、よくある質問から該当の質問を探しやすくする例として、国税庁のQ&Aは一覧性が高く見やすいと感じます。 <a href="https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/taxanswer/code/index.htm">https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/taxanswer/code/index.htm</a>

## グループインタビュー 論点④

### ■ 新着情報

- 新着情報が多いという回答が複数見られました。
  - 1. ウェブサイト改訂に伴い、新着情報を最大5つ程度に絞るといのはいかがでしょうか？

課題を感じるシーン	頻度	トップページで発生している課題(困りごと)	トップページへのニーズ
新着情報の情報量が多く読みにくい	毎日(1~9回)	現在、新着情報の掲載数が非常に多いことも、得たい情報にスムーズにアクセスできない要因となっている。	新着情報として掲載する期間を狭める、またはジャンルごと(お知らせ、商標、法令etc.)に表示する情報を集約・ソートできる機能があると使い勝手がよさそう。

## グループインタビュー 論点⑤

### ■ 英語版、スマホ版

- 英語版表示あるいはスマホ版表示についての課題指摘が複数ありました。
  - 1. そうした課題を感じるのはいったいどのようなケースでしょうか？
  - 2. 回答していなかった方で、英語版またはスマホ版についてご意見がある方はお知らせください。

課題を感じるシーン	頻度	トップページで発生している課題(困りごと)	トップページへのニーズ
英語のページで資料を探す、調べる	常時	日本語ページと英語のページの構成が違うので求める情報にたどりつけないことがある。	同じような構成にしていきたい。
外出先などでスマートフォンで特許庁ウェブサイトを見ることある	毎年(1~9回)	※第2階層以下スマートフォンで閲覧するとフォーマットが崩れて見にくくなってしまう。	・スマートフォン用のウェブサイトを設ける。

その他連絡事項

## その他連絡事項

---

### ■ 今年度の業務においてはトップページの試作ページの制作を予定

- ~12月
  - トップページの試作ページ案に関するご意見を伺う
  - 2階層以下のリニューアルに向けた検討会
- 2月~3月
  - 本業務の業務成果の報告会

本日はご参加ありがとうございました。

## 第2章 ユーザーのニーズ調査

ユーザーが、知的財産に関する制度や支援施策等に関する情報についてどういった情報を、どのような状況にあるときに知りたいと思い、そのときにどうするか等のユーザーニーズについて、調査対象としたユーザーの属性ごとに調査しとりまとめを行った。

### 第1節. 調査対象の選定

本調査では以下の①～⑨のユーザーそれぞれに対してアンケート調査を実施し、ニーズを調査した

・ 企業

① 知財を活用している大企業

② 知財を活用している中小企業

③ 知財を活用できていない中小企業

・ 知財関係者

④ 弁理士・弁護士

⑤ 金融機関

⑥ 支援機関（（一社）日本知的財産協会、商工会議所、（独）日本貿易振興機構、など）

⑦ 教育関係者（大学、高校・高専、小中学校）

⑧ 海外の知財関係者

・ その他

⑨ 知財の知識や知財制度になじみのない一般の方

#### 1. 企業および知財関係者（ユーザー①～⑧）の調査対象の選定

調査への協力依頼の結果 15 名の方を調査依頼対象先として選定した。

#### 2. 知財の知識や知財制度になじみのない一般の方（ユーザー⑨）の調査対象の選定

適切な対象者を選定するため、市場調査会社の保有する不特定多数のネットモニターを活用し、スクリーニング調査によって 300 名の対象者を抽出した。

### 第2節. 調査方法の検討及び実施

#### 1. 企業および知財関係者（ユーザー①～⑧）の調査方法

調査対象先（企業および知財関係者）に調査票（Excel ファイル）を送付し、回答を入力のうえメールで返送いただく方式とした。

#### 2. 知財の知識や知財制度になじみのない一般の方（ユーザー⑨）の調査方法

対象となるネットモニターにアンケートを配信し、回答を受領する

#### 3. 調査の概要

既存ホームページに対する調査、試作ページに対する調査、改善後の試作ページに対する調査の計 3 回の調査を実施した。各調査の概要は以下のとおり。

① 調査1回目

調査主旨：既存ホームページに対する調査

調査時期：2025年8月22日～8月29日

- 回答者：1. 企業および知財関係者（ユーザー①～⑧） 15名  
2. 知財の知識や知財制度になじみのない一般の方（ユーザー⑨） 300名

② 調査2回目

調査主旨：試作ページに対する調査

調査時期：2025年10月15日～10月22日

- 回答者：1. 企業および知財関係者（ユーザー①～⑧） 15名  
2. 知財の知識や知財制度になじみのない一般の方（ユーザー⑨） 100名

③ 調査3回目

調査主旨：改善後の試作ページに対する調査

調査時期：2026年1月22日～1月30日

- 回答者：1. 企業および知財関係者（ユーザー①～⑧） 15名  
2. 知財の知識や知財制度になじみのない一般の方（ユーザー⑨） 95名

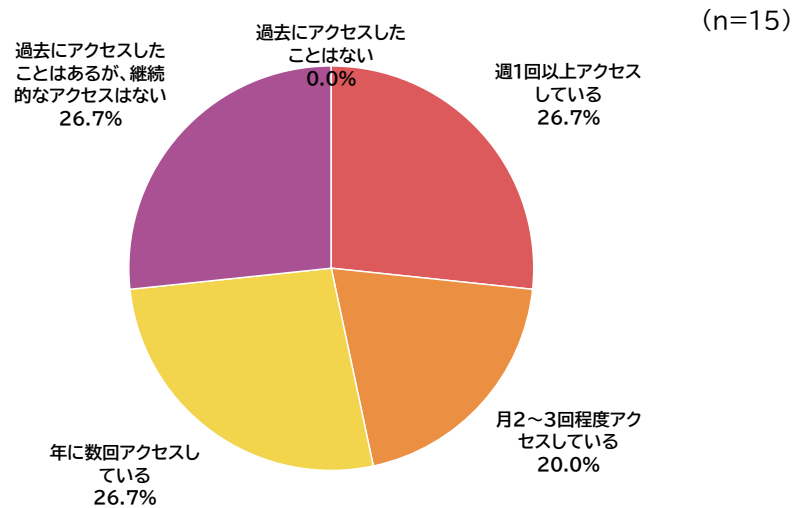
### 第3節. 調査結果

#### 1. 調査1回目

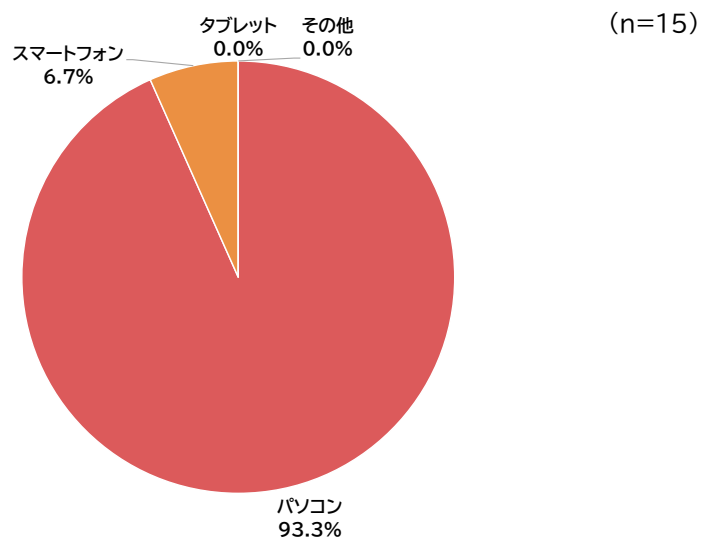
##### ① 企業および知財関係者（ユーザー①～⑧）

###### (1) 現行ホームページの利用状況

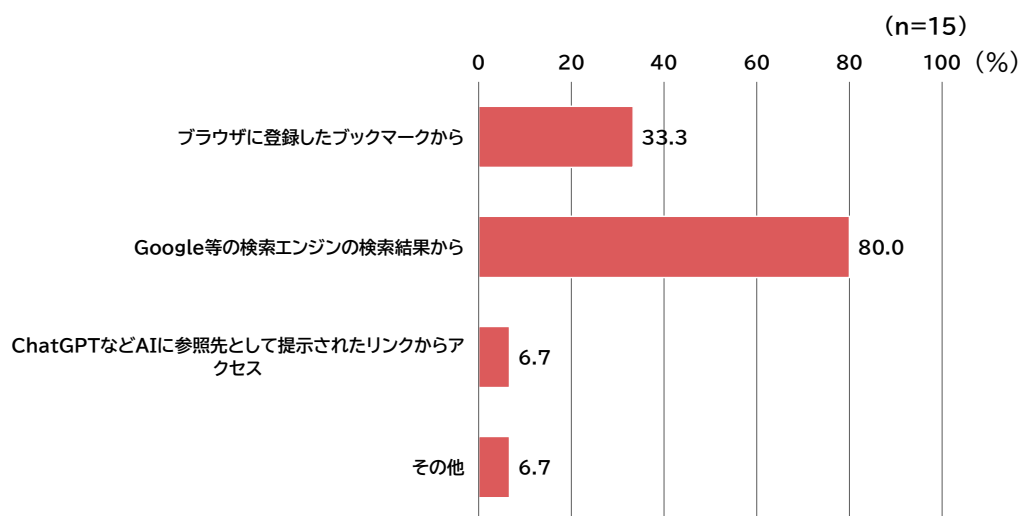
■特許庁ウェブサイトにとどのくらいの頻度でアクセスしていますか？（J-PlatPatは外部サイトのため除く）



■特許庁ウェブサイトを閲覧時に、最も利用しているデバイスは何ですか？

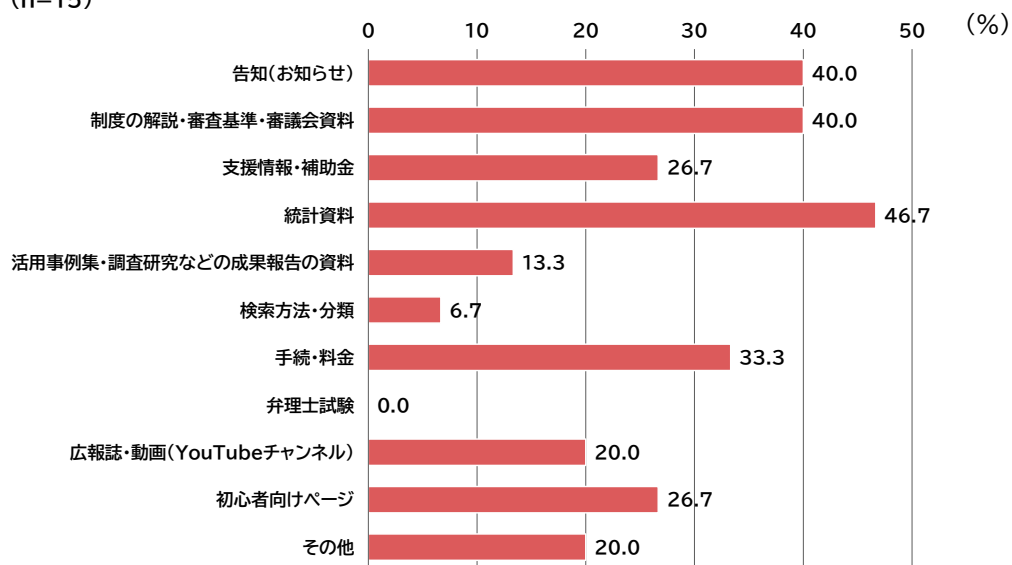


■特許庁ウェブサイトには、どのようにアクセスしますか？



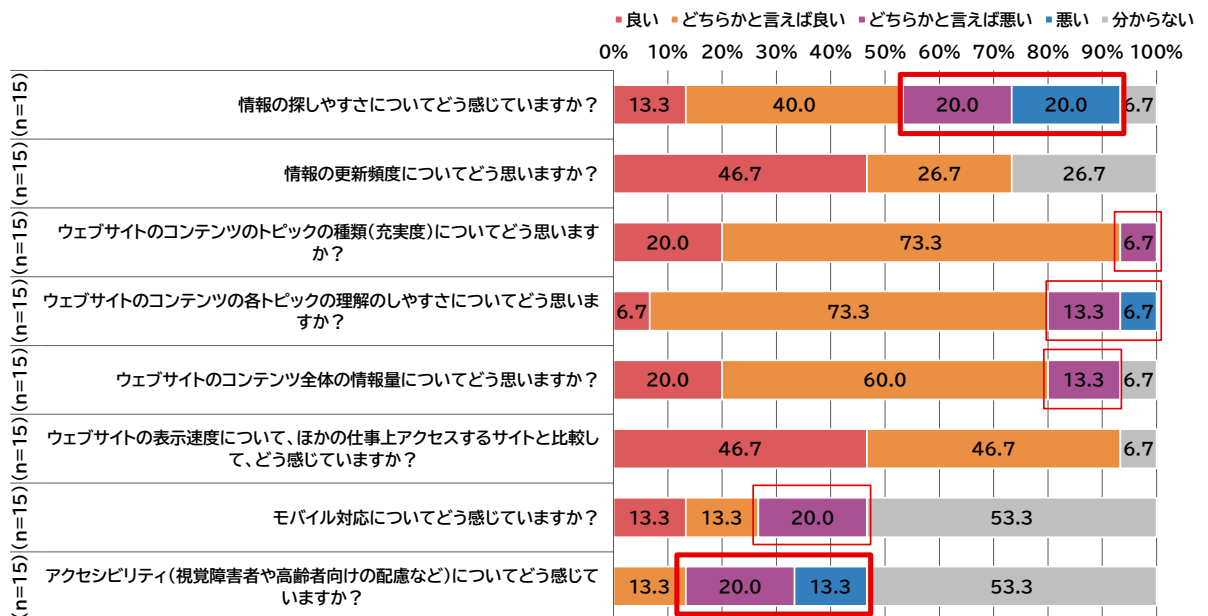
■よく利用するコンテンツはどれですか

(n=15)



(2) 現行ウェブサイトの具体的な課題

■課題項目別の評価



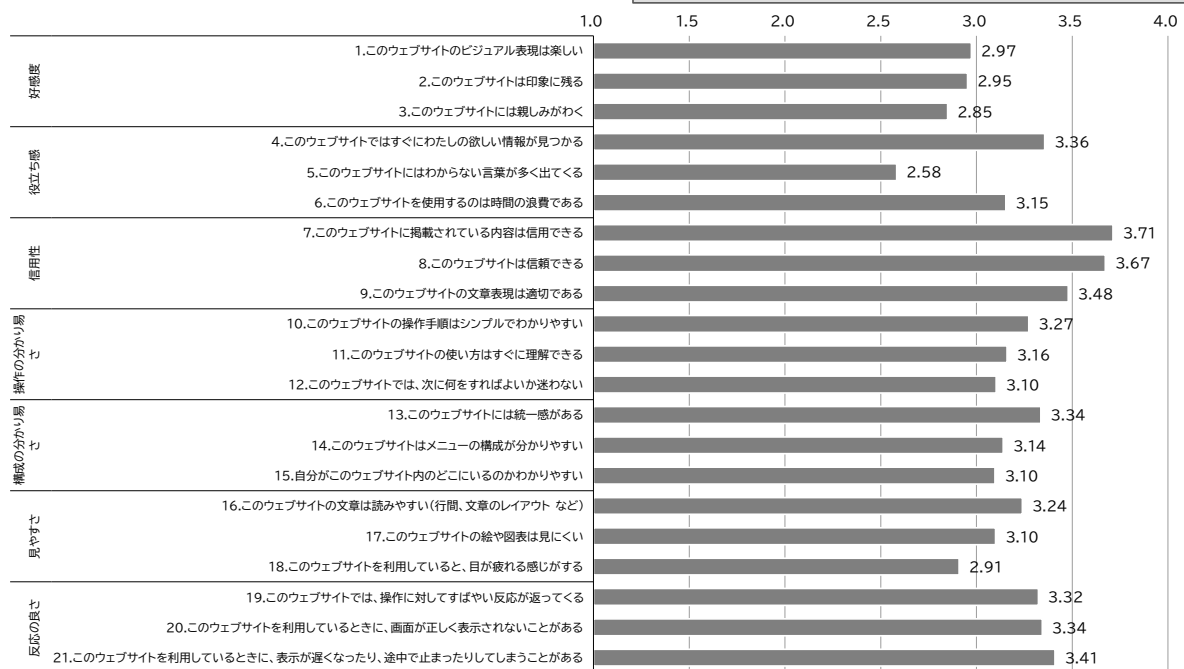
- ② 知財の知識や知財制度になじみのない一般の方（ユーザー⑨）  
 一般モニターによる評価の特徴として、以下の傾向が見られた。
- ・好感度（ビジュアル表現、印象、親しみ）に関する評価が低い
  - ・文字の多さによって見にくいという意見が多い
  - ・他の官公庁のホームページに対する評価は限定的である

各設問の結果は以下の通り。

(1) 現行ウェブサイトのユーザビリティ評価

■評価項目別 評価点 (5段階評価の平均点)

選択肢の点数化) 大変そう思う=5、そう思う=4、  
 どちらでもない=3、そう思わない=2、全くそう思わない=1  
 ※ 項目5, 6, 17, 18, 20, 21はマイナス評価のため、反対の点数を設定

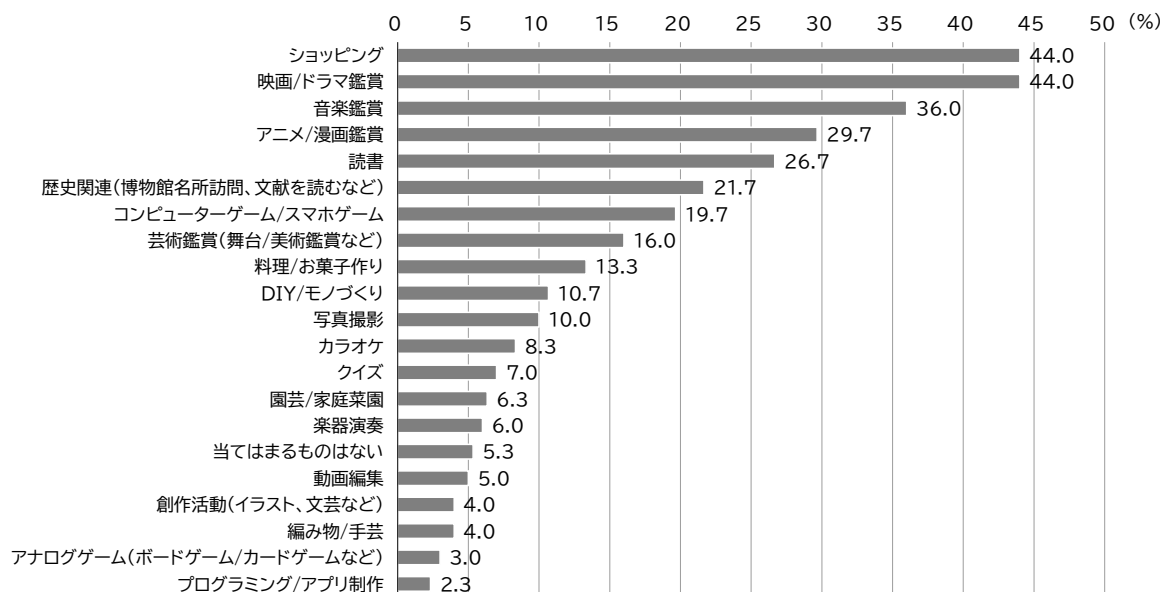


順位	評価項目	評価点
1位	7.このウェブサイトに掲載されている内容は信用できる	3.71
2位	8.このウェブサイトは信頼できる	3.67
3位	9.このウェブサイトの文章表現は適切である	3.48
4位	21.このウェブサイトを利用しているときに、表示が遅くなったり、途中で止まったりしてしまうことがある	3.41
5位	4.このウェブサイトではすぐにわたしの欲しい情報が見つかる	3.36
6位	20.このウェブサイトを利用しているときに、画面が正しく表示されないことがある	3.34
7位	13.このウェブサイトには統一感がある	3.34
8位	19.このウェブサイトでは、操作に対してすばやい反応が返ってくる	3.32
9位	10.このウェブサイトの操作手順はシンプルでわかりやすい	3.27
10位	16.このウェブサイトの文章は読みやすい(行間、文章のレイアウトなど)	3.24
11位	11.このウェブサイトの使い方はすぐに理解できる	3.16
12位	6.このウェブサイトを使用するのは時間の浪費である	3.15
13位	14.このウェブサイトはメニューの構成がわかりやすい	3.14
14位	12.このウェブサイトでは、次に何をすればよいか迷わない	3.10
15位	17.このウェブサイトの絵や図表は見にくい	3.10
16位	15.自分がこのウェブサイト内のどこにいるのかわかりやすい	3.10
17位	1.このウェブサイトのビジュアル表現は楽しい	2.97
18位	2.このウェブサイトは印象に残る	2.95
19位	18.このウェブサイトを利用していると、目が疲れる感じがする	2.91
20位	3.このウェブサイトには親しみがわく	2.85
21位	5.このウェブサイトにはわからない言葉が多く出てくる	2.58

3点以下

(2) 回答者について

■ あなたの趣味や関心事にもっとも当てはまるものを最大5つまで教えてください。



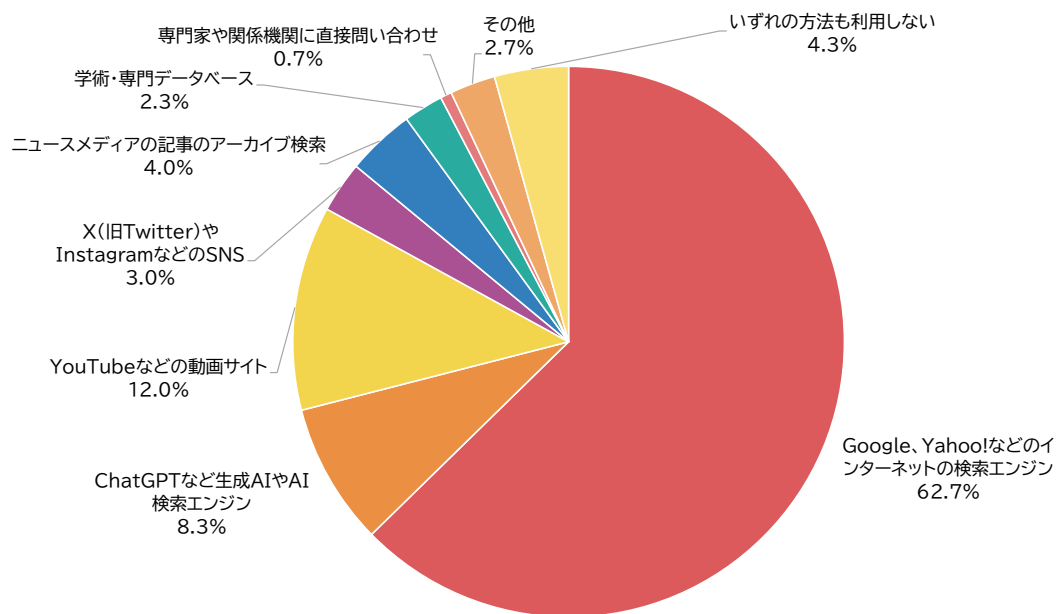
■ 現在保有している資格

	n	%
全体	300	100.0
弁護士	1	0.3
弁理士	0	0.0
知的財産管理技能検定(3級・2級・1級)	1	0.3
知的財産翻訳検定(3級・2級・1級)	2	0.7
AIPE認定知的財産アナリスト	0	0.0
ビジネス著作権検定(初級・上級)	2	0.7
中小企業診断士	2	0.7
税理士	1	0.3
公認会計士	1	0.3
社会保険労務士	2	0.7
キャリアコンサルタント	3	1.0
行政書士	1	0.3
司法書士	0	0.0
日商簿記(3級・2級・1級)	39	13.0
ビジネス実務法務検定(3級・2級・1級)	6	2.0
経営士	0	0.0
マーケティング・ビジネス実務検定(C級・B級・A級)	1	0.3
当てはまるものはない	248	82.7

■ 現在の仕事・職種

	n	%
全体	300	100.0
研究職・発明者	4	1.3
エンジニア/プログラマー	18	6.0
デザイナー/クリエイター	6	2.0
営業職	33	11.0
経理・総務・人事	24	8.0
マーケティング・企画	8	2.7
販売・サービス(店舗勤務)	27	9.0
医師/看護師/薬剤師	14	4.7
保育士/介護職	7	2.3
教師/講師	11	3.7
製造・工場勤務	23	7.7
ドライバー/配送業	10	3.3
農業・漁業・林業	4	1.3
芸能・エンタメ関係	2	0.7
学生	10	3.3
無職	55	18.3
その他	44	14.7

■ 仕事や勉強の際に最もよく使用する情報検索・収集方法について教えてください。



2. 調査2回目  
別章・節に記載

3. 調査3回目  
別章・節に記載

### 第3章 課題の抽出・整理

現状の特許庁の情報発信と、ユーザーの知財情報に対するニーズとを比較し、ユーザーの各属性における特許庁の情報発信の課題を抽出・整理を行った。

トップページに関する課題解決手段と第二階層目以降に関する課題解決手段とを分けてとりまとめを行った。

#### 第1節. ターゲットユーザーの定義

「ユーザー属性ごとの利用体験の最適化」を目指し、ターゲットユーザーとして、以下の2種類を定義した。

(A) 取得したい情報の所在を正確に把握しており、必要最小限の労力で情報を取得したいユーザー

(B) 取得したい情報の所在を正確に把握しておらず、情報取得までウェブサイト上で誘導が必要となるユーザー

#### 第2節. トップページに関する課題

##### 1. 課題抽出

ユーザー属性ごとに、特許庁の情報発信に関する課題を抽出した。その結果、情報の整理や優先順位付けが不十分だとの意見が多かった。また、サイト内検索機能の操作性についても改善を求める声が多い。特許庁職員からは、「よくある質問」など自己解決を促すコンテンツが分かりにくく、そのため対応が必要な問い合わせが増えているとの指摘が複数あった。さらに、トップページから目的の情報へ至る導線が不明確であることも課題として挙げられた。

図表 36 ユーザーの各属性におけるトップページに関する課題

属性	解決すべき課題
①知財を活用している大企業	・網羅的な情報を扱っているため、欲しい情報にすぐにアクセスできない。
②知財を活用している中小企業	・トップページに多数のリンク・バナー・お知らせが同時に配置されており、情報の優先順位が不明確。 ・求める情報（例：出願手続き、審査状況、制度案内など）にスムーズにアクセスしづらい構造。 ・グローバルメニューとサイドメニュー、バナーリンクが并存し、どの導線が公式の主要ルートなのか判断しづらい。
③知財を活用できていない中小企業	・トップページの情報が整理されていない。 ・新着情報が探しにくい。 ・情報が分散し、直観的に操作がしにくい。
④弁理士・弁護士	・特許庁に INPIT などの外部サイトが含まれており、外部遷移することで、全体の構造がわかりにくい。
⑤金融機関	・特許の活用事例が集約されたページがどこにあるかわからない。
⑥支援機関	・専門用語が多く、サイト内検索でも情報に必ずたどり着くとは言

	い難い。
⑦教育関係者（大学、高校・高専、小中学校）	・採用に関する情報が見つけにくい。 ・ホーム画面から必要な情報へ簡単にアクセスできない。
⑧海外の知財関係者	・代理人が日本語と英語サイトの比較をする際に、階層構造が異なることが起因して英語の情報が見つけられない。

## 2. 課題整理

トップページでは、情報の整理と導線の明確化が大きな課題として挙げられた。リンクやバナーが多数並び、情報の優先順位がわかりにくいため、利用者が必要な情報に迅速にアクセスできていない。さらに、重要な情報が新着情報欄で短期間で埋もれてしまうほか、採用情報やイベント情報などへのアクセス性も低い。主な課題は以下の通りである。

- ① トップページにリンク・バナー・お知らせが過多で、情報の優先順位が不明確。
- ② 目的の情報への導線がわかりにくく、利用者が迷いやすい構造。
- ③ 新着・重要情報が短期間で埋もれ、継続的な周知が困難。
- ④ サイト内検索の操作性が不十分で、必要な情報にたどり着きにくい。
- ⑤ 採用情報・イベント情報など特定情報へのアクセスがしづらい。
- ⑥ 「よくある質問」などの自己解決コンテンツがわかりにくく、問い合わせ件数の増加につながっている。

## 第3節. 第二階層目以降に関する課題

### 1. 課題抽出

第二階層以降においては、情報量が多く目的の情報へ円滑にアクセスできない点が多数指摘されている。その要因として、サイトの階層構造が複雑化していること、ならびにPDFや添付ファイルによる情報更新が行われることで、利用者がHTML上で最新情報を把握しにくい状況が生じていることが挙げられた。また、階層が深くなることでパンくずリストが複雑化し、トップページから順を追ってページ遷移した場合に、パンくずリスト上で異なるルートが表示されるため、利用者が混乱するとの意見も寄せられた。さらに、モバイル端末への対応に関する課題や、日英両言語における情報構造の相違により比較が困難となっている点など、複数の課題が指摘された。

図表 37 ユーザーの各属性における第二階層目以降に関する課題

属性	解決すべき課題
① 知財を活用している大企業	・モバイルで見た際に、文字のクリアさ、太さ、見やすさが良くない。
②知財を活用している中小企業	・PDFリンクが多く、Web上で直接閲覧しづらい情報が目立つ。
③知財を活用できていない中小企業	・スマートフォンに適したUIになっていない。
④弁理士・弁護士	・求める情報がどこにあるのかがわかりにくい。 ・Google検索で特許庁のPDFにアクセスすると、その元となるペ

	<p>ージがたどれない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トップページから順にリンクをたどっても、パンくずリストのツリー上ではまったく別の場所に遷移する。</li> </ul>
⑤金融機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「中小企業が営業戦略としての知財活用」や「ODM 展開」のように、金融機関や支援機関が伴走しやすいコンテンツが少ない。</li> </ul>
⑥支援機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サイト内検索に頼るが、目的の情報に到達するかは本人に依存してしまう。</li> </ul>
⑦教育関係者（大学、高校・高専、小中学校）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校では教えてくれない教育コンテンツを拡充してほしい。</li> <li>・トップページから中に入った途端、膨大な情報量に圧倒される。</li> <li>・知財のよりどころであり、教育から社会実装までを支えてほしい。</li> </ul>
⑧海外の知財関係者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンテンツが文字中心となっており可読性に欠け、直観的に情報を理解しづらい。</li> </ul>
⑨知財の知識や知財制度になじみのない一般の方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文字が多く見るからに難しい印象で疲れてしまい全部見ようという気にならない。</li> <li>・文字が多く、パッと見た時に欲しい情報が分かりづらい</li> <li>・一度に表示される情報が多すぎる。</li> <li>・文字の情報が多く、読み込まないといけない。</li> <li>・専門用語が多いため、初めて利用する人にはわかりにくい。</li> <li>・もっとフローや図を多くしてわかりやすくしてほしい。</li> </ul>

## 2. 課題整理

第二階層以下のページでは、情報量の過多や階層構造の複雑化によって、利用者が目的情報へ円滑にアクセスできない点が顕著である。PDF や添付ファイルによる更新が主流となっているため、最新情報の把握やウェブ上での閲覧が困難であり、パンくずリスト等のナビゲーションも混乱を招く要因となっている。加えて、モバイル対応や多言語対応における構造的な相違が、利用者の利便性を損なっている。さらに部署間連携など、運用面での課題も顕著である。また、知財になじみのない一般の方に向けても、ウェブサイトとしての見やすさや分かり易さを改善が課題として想定される。主な課題は以下の通りである。

- ① サイト構造が広範かつ階層が深く、目的情報への到達が困難である。
- ② 情報整理・優先順位付けが不十分であり、重要情報が埋もれやすい。
- ③ サイトの階層構造が複雑化し、パンくずリストが分かりづらくなっている。
- ④ PDF や添付ファイルによる情報更新で、管理や更新が煩雑になっている。
- ⑤ 特許庁内で複数課にまたがる転送が発生し、問い合わせ対応が煩雑化している。
- ⑥ 自己解決支援（FAQ 等）の充実が不足している。
- ⑦ 部署ごとの情報が縦割りで一元管理されていない。
- ⑧ スマートフォン等多端末対応が不十分であり、レイアウトの崩れ等が発生している。
- ⑨ 日英両言語における階層構造の違いにより、情報の比較・連携が困難である。

## 第4章 課題解決手段の整理

抽出した課題に基づき、ユーザーの属性ごとに課題解決手段を検討し、より包括的に解決できる手段として提案した。

トップページに関する課題解決手段と第二階層目以降に関する課題解決手段とを分けて取りまとめた。

### 第1節. トップページに関する課題解決

#### 1. ユーザーごとの解決手段の整理

(A) ユーザーに対しては、目的情報への最短経路を確保するため、主要リンクや検索窓の配置を最適化する。(B) ユーザーに対しては、「はじめての方」や「情報検索にお困りの方」ボタンを設置する。加えて、「制度から探す」「ユーザー別ガイド」を中段に配置し、分かりやすいアイコンや背景色による視線誘導など、迷わず情報取得できるサポートを行う。これにより (B) ユーザーが求める情報を直感的に選択できる構造へと改訂する。

また、重要情報や注目コンテンツ（メインビジュアル）はスクロール不要な範囲に集約し、目立つ配色やアイコンで強調する。さらに、採用情報や特許庁および関連団体が提供するサービスへのアクセスは、独立したセクションやバナーで明示する。

#### 2. 課題解決

トップページのデザインについて、各セクションの役割とデザインの意図について整理した。

図表 38 トップページデザイン案

The design features a clean, professional layout with a blue and white color scheme. The header includes the JPO logo and navigation links. The main banner is a large, colorful illustration with text for the 2025 Osaka-Kansai Special Site. Below the banner is a 'Important Notice' section with two items. The 'Search by System' section is organized into four main categories: Intellectual Property, Patent, Trademark, and International Registration, each with a grid of sub-links.

①

②

③

④

⑤

## 新着情報



最近の動き 2025年8月4日  
中国国家知識産権局（CNIPA）と審査官協議を実施しました



商標 2025年8月1日  
商標審査着手状況（審査未着手案件）を更新しました



採用 2025年8月1日  
特許庁任期付職員（特許審査官（審査官経験無し））の公募を開始しました



最近の動き 2025年7月23日  
WIPO加盟国総会への参加に伴い20以上の知財庁等とバイ会談等を行いました



最近の動き 2025年7月10日  
2025年WIPO加盟国総会が開会しました

[一覧を見る](#)

6

## イベント情報



オンライン 2025年8月28日（木曜日）  
第46回知的財産別別セミナー（外部サイトへリンク） [🔗](#)



オンライン及び大阪府大阪市 2025年9月4日（木曜日）  
つなげる特許庁inKANSAI「万博と知財～二度の大版万博を比較して知財の役割の変遷を考える～」（外部サイトへリンク） [🔗](#)



オンライン 2025年8月28日（木曜日）  
知財研セミナー「AI関連出願の審査、ソフトウェア特許の明細書作成と保護」（外部サイトへリンク） [🔗](#)

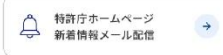
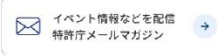


オンライン 2025年8月19日（火曜日）  
知財研セミナー「米国代理人からの日本企業の米国出願を成功に導く重要ポイントと配慮点の助言～USPTOにおけるRCE費用値上げ後の「費用対効果」を中心に～（日本各社が強く課題の深掘りを目指す）」 [🔗](#)

[一覧を見る](#)

7

## 広報・SNS




8

## ユーザー別ガイド

	<b>はじめての方</b> 特許出願のいろは 実用新案出願のいろは 意匠出願のいろは 商標出願のいろは	<a href="#">知的財産制度説明会</a> <a href="#">知財の教材・参考書</a> <a href="#">広報紙とつきよ</a> <a href="#">とつきよようキッズページ</a>
	<b>情報検索にお困りの方</b> よくある質問【特許】 よくある質問【実用新案】 よくある質問【意匠】 よくある質問【商標】	<a href="#">よくある質問【審判】</a> <a href="#">よくある質問【申請人登録関連手続】</a> <a href="#">よくある質問【様式】</a> <a href="#">お問い合わせ先一覧</a>
	<b>中小企業・スタートアップ・個人の方</b>	<a href="#">→</a>
	<b>大学・研究機関の方</b>	<a href="#">→</a>
	<b>企業の方</b>	<a href="#">→</a>
	<b>海外の知財関係者の方</b>	<a href="#">→</a>

9

## 行政サービス・ピックアップ

 特許・実用新案・意匠・商標を検索 J-PlatPat	 手続料金計算システム	 特許出願非公開制度	 特定登録調査機関制度
 特許行政年次報告書	 特許出願技術動向調査	 電子出願ソフトサポートサイト	 令和元年意匠法改正

10

## 採用情報

### 募集職種

- [総合職・事務職（特許審査官／意匠審査官／商標審査官／事務職員）](#)
- [その他（任用付職員／障がい者選考委員／臨時的任用職員／非常勤職員）](#)

[一覧を見る](#)

### 特許庁 紹介動画

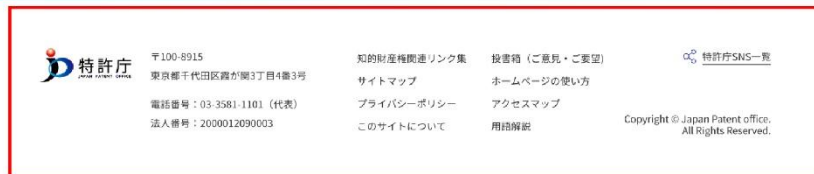


この文章はダミーです（外部サイトへリンク）

11



12



13

図表 39 ① ヘッダー

役割	ヘッダーはウェブサイトの最上部に配置され、サイト名やロゴ、ナビゲーションメニューなどを表示することで、ユーザーが各ページへスムーズに移動できるようサポートする役割を担う。
デザインの意図	ファーストビュー（スクロール前の画面領域）に主要カテゴリーへのリンクや検索窓を配置することで、(A) ユーザーが目的の情報に最短で到達できるようにする。また、既存ウェブサイトのナビゲーションメニューを踏襲することで、第二階層以降の整合性も担保する。

図表 40 ② 重要なお知らせ


役割	制度改正など、緊急性や重要性の高い情報を確実に伝えるためのセクションとする。また、一時的にアクセスが集中する要因となる情報が発信された場合にも活用できる。時系列で情報が流れてしまうことなく、特許庁が重要と判断した情報を無期限に固定表示することが可能である。これにより、ユーザーが見落とすことなく迅速に必要な対応を取ることができ、情報の伝達漏れや混乱を防ぐ効果がある。さらに、ユーザーの利便性や安心感の向上にもつながる。
デザインの意図	重要なお知らせは、ユーザーがページを訪れた際に必ず確認してほしい情報であるため、アラートを想起させる赤色を使用し、視認性を高めている。ファーストビューに配置することで、(A) (B) ユーザーが目的の情報に最短で到達できるよう配慮している。

図表 41 ③ 注目コンテンツ（メインビジュアル）


役割	特許庁が最も PR したいコンテンツを視覚的に表示し、4つのバナーを掲載することで、ユーザーが関心のある情報に迅速にアクセスできるようにする。
デザインの意図	アクセシビリティへ配慮するため、カルーセルによるヒーロー画像表示をやめ、固定表示とする。メインビジュアルは注目コンテンツとしてグローバルナビの直

	下に配置し、スクロール不要な範囲に配置する。
--	------------------------

図表 42 ④ お困りの方

役割	ユーザーがトップページを閲覧する際に、情報取得を支援する機能。情報を見つけられないときに、クリックすることで、よくある質問へ誘導し、ユーザーの自己解決を促す。
デザインの意図	ウェブサイトの右下にフロート表示し、スクロールしても常に画面に追従する仕様とする。クリックすると、よくある質問やお問い合わせ一覧へのショートカットリンクが表示される。 

図表 43 ⑤ 制度から探す

役割	ユーザーの訪問目的に応じるため、厳選した情報を掲載する。このセクションは (B) ユーザーのうち、出願者や出願業務に携わる方を主なターゲットとする。ユーザーがトップページを閲覧する際、情報取得を支援する機能を提供する。また、情報が見つからない場合には、クリックひとつでよくある質問へ誘導し、ユーザーによる自己解決を促す。
デザインの意図	利用者属性別の機能として、(B) ユーザーが自身の状況に応じて適切な情報へアクセスするために、ウェブサイト中段に配置する。加えて、色分けやアイコン表示を工夫し、直感的な認識が可能となるデザインとする。「制度から探す」の「特許」と「実用新案」について、現行サイトでは多数のリンクが同一ページへ遷移していることから、両項目を統合し、「特許・実用新案」とする。 
	試作ページを用いたヒアリング調査を通じて、①各カテゴリーの項目②特許・実用新案の統合、に関して意見を収集し、カテゴリーの見直しを行う。

図表 44 ⑥ 新着情報

役割	特許庁が発信する情報のうち、イベント情報を除くすべての情報を掲載する。
デザインの意図	<p>新着情報とイベント情報を分けて掲載することで、短期間で情報が埋もれないように配慮する。さらに、新着情報には写真スペースを設けて関心を喚起し、新着情報へのアクセス増加を図る。また、新着情報に付与する属性（タグ）について項目の見直しを行う。従来使用していた「お知らせ」はグローバルナビゲーションでも同じ名称が使われているため、ユーザーの混乱を避けるために属性から削除する。代わりに、「最近の動き」と「報道発表」を新たな属性として追加する。</p>

図表 45 ⑦ イベント情報


役割	特許庁が発信する情報のうち、イベント情報を絞って掲載する。
デザインの意図	新着情報とイベント情報を分けて掲載することで、短期間で情報が埋もれないようにする。イベントは写真を大きく見せることで関心を喚起し、集客の増加を図る。

図表 46 ⑧ 広報・SNS

役割	特許庁広報室が運営する各種 SNS の URL やコンテンツを掲載する。また、メールマガジンや新着情報メールの受信設定など、登録に関するお知らせを掲示する。
デザインの意図	特許庁が多様なユーザーに多面的にアプローチするために整備した広報コンテンツを掲載できるよう、専用のセクションを設ける。メールマガジンや新着情報メールの受信設定を強調し、ユーザーが広報コンテンツを閲覧する機会の増加を図る。

図表 47 ⑨ ユーザー別ガイド

役割	さまざまな目的を持った異なる属性のユーザー別に、有益な情報を取捨選択し、提示する。特に (B) ユーザーが自身の状況に応じて適切な案内を受けられるようにする。
----	---

<p>デザインの意図</p>	<p>利用者属性別の機能をウェブサイトの中段以降に設け、これらのメニューは色分けやアイコン表示を工夫し、直感的に認識できるデザインとする。加えて、「情報検索にお困りの方」セクションをトップページ中段に設け、よくある質問を周知することで、問い合わせ件数の削減を図る。</p> 
----------------	---

図表 48 ⑩ 行政サービス・ピックアップ

<p>役割</p>	<p>特許庁および関係省庁が提供するサービスを集約したセクションとして、多く利用される行政サービスを掲載する。</p>
<p>デザインの意図</p>	<p>これまで異なるエリアに分散していた特許庁および関係省庁のサービスを集約し、ユーザーが目的のサービスに迷わずアクセスできるよう配慮する。加えて、行政サービスが目にとまりやすいよう工夫し、モバイル対応も考慮してカード型デザインを採用する。</p> 

図表 49 ⑪ 採用情報

<p>役割</p>	<p>就職市場における競争優位性を確保し、有能な人材の特許庁への入庁を促進するため、業務内容や採用情報を発信する独立したセクションを設ける。</p>
<p>デザインの意図</p>	<p>主に学生や中途採用を希望する求職者に向けて情報発信を行うため、トップページに動画コンテンツを掲載し、特許庁の業務への興味を喚起する。</p>

図表 50 ⑫ 関連リンク


<p>役割</p>	<p>特許に関連するウェブサイトや関係省庁のウェブサイトのバナーを一つに集約し、これによりバナーからのコンテンツ誘導の増加を図る。特許庁のバナーは「行政サービス・ピックアップ」に移設し、当該セクションでは関係省庁を中心としたバナーのみを掲載する。</p>
<p>デザインの意図</p>	<p>既存のウェブサイトでは、特許庁の行政サービスと関係省庁のウェブサイトのバナーが混在していたが、今回のリニューアルにおいて、新設した「行政サービス・ピックアップ」に特許庁の行政サービスを移設し、関連リンクを関係省庁に限定することで、バナー数を削減し、視認性を向上させる。さらに、特許庁バナーの下部にタイトルを記載することで、アクセシビリティに配慮する。</p>

図表 51 ⑬ フッター

役割	サイト全体に共通する情報や補助的なナビゲーションを提供する役割を担う。また、ユーザーが必要とする基本的な情報へ迅速にアクセスできるようにし、ウェブサイト全体の信頼性や利便性の向上に寄与する。
デザインの意図	必要な情報やリンクを簡潔かつ分かりやすく配置し、視認性・操作性・アクセシビリティに配慮したデザインで、サイトの信頼性と利便性を高める。

また、特許庁職員が情報取得の支援を行う際、相手がどのページを見ているかを把握し、目的の情報に誘導するために、背景色およびアイコンを活用する。

図表 52 色の違い

ユーザー別ガイド	
採用情報	
イベント情報	
制度から探す	
 重要なお知らせ	申請手続デジタル化の詳細について

## 第2節. 第二階層目以降に関する課題解決

第二階層以下のページに対しては、下記項目に優先順位を付けて、課題解決を図る。

- ① 情報量過多・階層構造の複雑化・PDF管理の煩雑さといった課題を踏まえ、情報の再編・統合を推進する。まず、関連情報をカテゴリーごとに統合し、階層数を必要最小限に抑えることで、**(A)** ユーザーは目的情報への到達時間を短縮できる。
- ② パンくずリストはシンプルかつ一貫性のある設計とし、ユーザーが現在位置と経路を明確に把握できるようにする。PDFや添付ファイルは、可能な限りHTMLページ化し、更新履歴やバージョン管理を明確化することで、最新情報へのアクセス性を向上させる。
- ③ モバイル対応はページ単位で最適化し、レイアウト崩れや文字サイズの問題を解消する。
- ④ 多言語対応については、日本語・英語双方の構造を共通化し、情報比較・連携を容易にする設計とする。
- ⑤ よくある質問を整理し、自己解決支援（FAQ等）の充実を図る。
- ⑥ 適切な部署に問い合わせがされるように、問い合わせ先一覧の整備と各ページに問い合わせ先を記入するエリアの設置を検討する。

## 第2部. 特許庁ホームページのトップページのリニューアルに関する調査

### 第1章 課題及び課題解決手段に関する検証

#### 第1節. 検証プロセス

##### 1. デザインモックの作成

デザインモックを活用して、レイアウトやアクセシビリティのチェックを行いつつ、デジタル庁を含む専門家と共有できるように可視化を行った。

##### 2. サブドメイン上に試作ページに構築

特許庁ホームページのドメイン (jpo.go.jp) 配下に、サブドメイン (shin-shisakupage) を割り当て、試作ページの構築を行った。

##### 3. ヒアリング

試作ページを用いて、実際に使用するユーザーに利用してもらいユーザビリティや運用を意識した使い方を検証した。ヒアリング対象者は「特許庁および INPIT 職員」および「利用が見込まれるユーザー」とした。

#### 第2節. 検証環境構築

- ・ 検証するにあたり、テストページ用の環境を構築して、日本語ページの開発を行った。
- ・ 今後の評価を踏まえ、ベーシック認証によるセキュリティ設定を行った。
- ・ デジタル庁のデザインシステムを活用し、日本政府のデジタル方針に準拠したページの構築を行った。

## 第2章 試作ページを用いたヒアリング

### 第1節. 特許庁、INPIT 及び関係団体の担当者へのアンケート調査

#### 1. 実施概要

以下の内容にて実施した。

図表 53 実施概要

調査期間	2025年10月14日～2025年10月27日
調査方法	メール送付、メール回収
対象者	特許庁及びINPIT職員 ※外部機関については特許庁との協議を経て除外した。
回収数	19部署・担当者よりご意見を回収
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 特許庁HPのトップページの試作ページに関する以下の評価             <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 訪問者が自力で目的の情報に到達できると思うか</li> <li>➤ 掲載する情報のカテゴリーや項目は訪問者にとって適切だと思うか</li> <li>➤ ウェブページはわかりやすく構成されていて、見やすいと思うか</li> </ul> </li> </ul>

調査方法は、下図の Excel を担当者へメールで送付し、メールにて回答いただいた。設問は「①基本設問」と「②追加設問」に分け、回答しやすいよう、①では調査項目別に評価を5段階で問う形とし、②については任意回答とした上で、回答例を付した。

加えて、別紙として試作ページ作成の考え方に関する参考資料を作成して添付した。

図表 54 特許庁、INPIT 及び関係団体の担当者への試作ページに対するアンケート調査票（依頼文）

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X
1	下記をふまえ、ご記入いただけますと幸いです。ご多用のところ恐縮ですが、何卒よろしくお願い申し上げます。																						
2																							
3	■本アンケートの目的																						
4	・令和7年度知的財産行政情報の収集促進支援調査事業(特許庁の戦略的な広報実施に向けた調査)の一環で実施しております。																						
5	・特許庁ウェブサイト(https://www.jpo.go.jp/)のリニューアル後のトップページの「試作ページ」についてご意見をいただきたくご協力をお願いします。																						
6	・今回の試作ページはPC版となっておりますので、PCより閲覧の上、ご確認をお願いいたします。																						
7	※収集した情報について外部公開する報告書等に掲載する場合には、回答者が特定されない形に加工いたします。また、機微情報については対外非公開とします。																						
8	△トップページの「試作ページ」について△																						
9	・デジタル庁では「誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化を。」の実現を目指し、あらゆる人がデジタル化の恩恵を享受できる社会にすべく「デジタル庁デザインシステム」を公表しています(https://www.digital.go.jp/policies/servicedesign/designsystem)。																						
10	・本「試作ページ」は、デジタル庁デザインシステムを参照したものとさせていただきます。																						
11	・そのため、現行のホームページでは、画像が一定時間で切り替わるカラーセル表示、全体として青を基調としたデザイン等になっていますが、視野狭窄ユーザー、読み上げ機能を活用するユーザー等にもアクセスしやすいページリニューアルしたいと考えています。																						
12																							
13	■ご回答方法																						
14	・「①基本設問」の薄オレンジ色セルにご記入ください。																						
15	・「①基本設問」については、ご所属の組織・部署、氏名をご記入いただいた上で設問①～③にご回答ください。																						
16	・上記「①基本設問」以外にもご意見がある場合、「②追加設問」シートに試作版トップページの該当箇所とご意見をご記入ください。																						
17	・「②追加設問」への記入内容は、適宜【参考例】②追加設問)をご確認ください。																						
18	・「②追加設問」が不足する場合は、適宜、行を追加してのご回答をお願いいたします。																						
19	※ご回答にあたっては、適宜、「(別紙)試作ページ作成の考え方」もご参照ください。																						
20																							
21	■評価対象ページ																						
22	※今回はPC版となっておりますので、PCよりご覧ください。																						
23	<a href="https://shin-shikakuage.jpo.go.jp/">https://shin-shikakuage.jpo.go.jp/</a>																						
24	※別途お知らせするIDとパスワードの入力が必要です。																						
25																							
26	■ご切																						
27	2025年10月22日(水)																						
28																							
29	■返送先、問い合わせ先																						
30	本アンケートの依頼は特許庁広報室より発出しておりますが、回答は、本事業を委託している三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社内下記宛にてエクセルファイルをご返送ください。																						
31	特許庁の戦略的な広報実施に向けた調査事務局																						
32	ip_br@murc.jp																						

図表 55 特許庁、INPIT 及び関係団体の担当者への試作ページに対するアンケート調査票 (①基本設  
問)

	A	B	C	D	E	F
1	質問	ご回答例	回答欄			
5	①訪問者が自力で目的の情報に到達できると思 いますか。	とてもそう思う	【選択してください】			
6	上記①について、「そう思わない」か 「全く思わない」を選択した場合は、理由をお 聞かせください。					
7	②掲載する情報のカテゴリーや項目は訪問者に とって適切だと思いますか。	そう思う	【選択してください】			
8	上記②について、「そう思わない」か 「全く思わない」を選択した場合は、理由をお 聞かせください。					
9	③ウェブページはわかりやすく構成されてい て、見やすいと思いますか。	そう思わない	【選択してください】			
10	上記③について、「そう思わない」か 「全く思わない」を選択した場合は、理由をお 聞かせください。	視認性が良くなったが、文字が多いの でアイコンなどを工夫してほしい。				
11	※収集した情報について外部公開する報告書等に掲載する場合には、回答者が特定されない形に加工いたします。また、機微情報については対外非公開とします。					
12						

図表 56 特許庁、INPIT 及び関係団体の担当者への試作ページに対するアンケート調査票 (②追加設  
問)

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	対象ページ：https://shin-shisakupage.jpo.go.jp/ ※アクセスにはIDとパスワードが必要です。							
2		対象箇所	課題に感じる点	改善案(あれば)	※適宜行を増やしてご回答ください			
3	回答 1							
4	回答 2							
5	回答 3							
6	回答 4							

図表 57 特許庁、INPIT 及び関係団体の担当者への試作ページに対するアンケート調査票 (②追加設  
問の回答例)

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	対象ページ：https://shin-shisakupage.jpo.go.jp/ ※アクセスにはIDとパスワードが必要です。							
2		対象箇所	課題に感じる点	改善案(あれば)	※通直行を増やしてご回答ください			
3	回答 1	「制度から探す」 > 「●●」	表示されている項目がユーザーのよく閲覧される制度と異なる。	「初めてだったらここを読む」を「〇〇制度概要」に変えて掲載してほしい。 https://www.jpo.go.jp/system/laws/XX.html				
4	回答 2	「ユーザー別ガイド」 > 「●●」	ユーザーから多く寄せられる問い合わせに対応する情報が載っていない。	●●の情報を追加する。 https://www.jpo.go.jp/system/laws/XX.html				
5	回答 3	「広報・SNS」	広報コンテンツが足りない。	●●の情報を追加する。 https://www.jpo.go.jp/system/laws/XX.html				
6	回答 4	「重要なお知らせ」	ウェブサイト訪問者が見落としやすい。					

図表 58 特許庁、INPIT 及び関係団体の担当者への試作ページに対するアンケート調査票（別紙）

## （別紙）試作ページ作成の考え方

### <トップページの“試作ページ”について>

- ・ デジタル庁では「誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化を。」の実現を目指し、あらゆる人がデジタル化の恩恵を享受できる社会にすべく「デジタル庁デザインシステム」を公表しています（<https://www.digital.go.jp/policies/servicedesign/designsystem>）。
- ・ 本“試作ページ”は、デジタル庁デザインシステムを参照したものとなっています。
- ・ そのため、現行のホームページでは、画像が一定時間で切り替わるカラーセル表示、全体として青を基調としたデザイン等になっていますが、視野狭窄ユーザー、読み上げ機能を活用するユーザー等にもアクセスしやすいページへリニューアルしたいと考えています。

### ■全体方針

「ユーザー属性ごとの利用体験の最適化」を目指し、ターゲットユーザーを

(A)取得したい情報の所在を正確に把握しており、必要最小限の労力で情報を取得したいユーザー

(B)取得したい情報の所在を正確に把握しておらず、情報取得までウェブサイト上で誘導が必要となるユーザー

に区分し、(A)ユーザーに対しては、目的情報への最短経路を確保するため、主要リンクや検索窓の配置を最適化します。(B)ユーザーに対しては、「はじめての方」や「情報検索にお困りの方」ボタンを設置します。加えて、「制度から探す」「ユーザー別ガイド」を中段に配置し、分かりやすいアイコンや背景色による視線誘導など、迷わず情報取得できるサポートを行います。これにより (B)ユーザーが求める情報を直感的に選択できる構造へと改訂します。

また、重要情報や注目コンテンツ（メインビジュアル）はスクロール不要な範囲に集約し、目立つ配色やアイコンで強調します。さらに、採用情報や特許庁および関連団体が提供するサービスへのアクセスは、独立したセクションやバナーで明示します。

次ページ以降では、試作ページ（新しいトップページの PC 版）のデザインについて、各セクションの役割とデザインの意図についてご説明します。

図表 1 試作ページのセクション番号

The screenshot shows the JPO website interface with the following sections highlighted by red boxes and numbered 1 through 5:

- 1**: The top navigation bar containing the JPO logo, home page link, and various utility links like 'お問い合わせ' and 'お問い合わせ'.
- 2**: A pink banner for '重要なお知らせ' (Important Notice) regarding digitalization of applications.
- 3**: A large blue and yellow banner for '2025年大阪・関西万博 特設サイト' (Special Site for Osaka Kansai Expo 2025) and '知的財産活動調査' (Intellectual Property Activity Survey).
- 4**: A blue banner for '初任者向け 知的財産権制度 説明会' (Introduction Meeting for New Employees on Intellectual Property Rights System).
- 5**: The main content area titled '制度から探す' (Search by System), which contains several categorized lists of links and documents.

## 新着情報



審決の動き 2025年8月4日  
中国特許局知願特許 (CNIPA) と審判官協議を実施しました



審判 2025年8月1日  
特許審判手続状況 (審決未着手案件) を更新しました



採用 2025年8月1日  
特許庁付添付職員 (特許審査官 (審査官経験無し)) の公募を開始しました



審決の動き 2025年7月23日  
WIPO国際特許委員会への参加に伴い20以上の特許庁等とバイ会談等を行いました



審決の動き 2025年7月10日  
2025年WIPO加盟国総会が開催されました

一覧を見る

⑥

## イベント情報



オンライン 2025年8月28日 (木曜日)  
第46回知的財産判例セミナー (外部サイトへリンク) [▶](#)



オンライン及び大阪府大阪市 2025年8月4日 (木曜日)  
つながる特許庁 in KANSAI 「万博と知財～二度の大板万博と比較して知財の役割の変遷を考える～」 (外部サイトへリンク) [▶](#)



オンライン 2025年8月28日 (木曜日)  
知財研セミナー「AI関連出願の審査、ソフトウェア特許の権利行使成と保護」 (外部サイトへリンク) [▶](#)

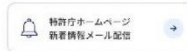
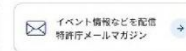


オンライン 2025年8月19日 (火曜日)  
知財研セミナー「米国代理人からの日本企業への米国出願を成功に導く重要なポイントと配慮点の助言～USPTOにおけるRCE費用値上げ後の「費用対効果」を中心に～」 (日本各社が抱く課題の深掘りを目指し) [▶](#)

一覧を見る

⑦

## 広報・SNS



⑧

### ユーザー別ガイド



**はじめての方**

<a href="#">特許出願のいろは</a> <a href="#">実用新案出願のいろは</a> <a href="#">意匠出願のいろは</a> <a href="#">商標出願のいろは</a>	<a href="#">特許制度説明会</a> <a href="#">特許の教科・参考書</a> <a href="#">広報誌とつきよ</a> <a href="#">とっぴようキッズページ</a>
--	--



**情報検索にお困りの方**

<a href="#">よくある質問【特許】</a> <a href="#">よくある質問【実用新案】</a> <a href="#">よくある質問【商標】</a> <a href="#">よくある質問【意匠】</a>	<a href="#">よくある質問【特許】</a> <a href="#">よくある質問【申請人登録関連手続】</a> <a href="#">よくある質問【特許】</a> <a href="#">お問い合わせ先一覧</a>
--	--



中小企業・スタートアップ・個人の方



大学・研究機関の方



企業の方



海外の知財関係者の方

9

### 行政サービス・ピックアップ

 <p>特許・実用新案・意匠・商標を検索 J-ParPat</p>	 <p>手続料金計算システム</p>	 <p>特許出願料公開照会</p>	 <p>特許特許調査機関検索</p>
 <p>特許行政手次帳目書</p>	 <p>特許出願料動向調査</p>	 <p>電子出願ソフトウェアサポートサイト</p>	 <p>令和元年版改正改正</p>

10

### 採用情報

**募集職種**

- 総合職・事務職（特許審査官／意匠審査官／商標審査官／事務職員）
- その他（任用付職員／特許審査官／特許業務主任／特許業務主任）

[一覧を見る](#)

**特許庁 紹介動画**



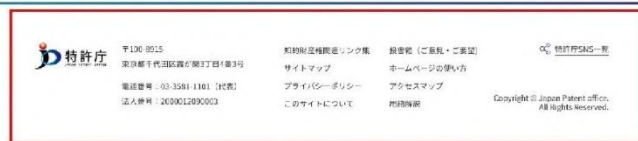
この動画も、ぜひご覧ください（外部サイトへリンク）

この文庫はダミーです（外部サイトへリンク）

11



12



13

### ① ヘッダー

役割	ヘッダーはウェブサイトの最上部に配置され、サイト名やロゴ、ナビゲーションメニューなどを表示することで、ユーザーが各ページへスムーズに移動できるようサポートする役割を担います。
デザインの意図	ファーストビュー（スクロール前の画面領域）に主要カテゴリーへのリンクや検索窓を配置することで、(A)ユーザーが目的の情報に最短で到達できるようにします。また、既存ウェブサイトのナビゲーションメニューを踏襲することで、第二階層以降の整合性も担保します。

### ② 重要なお知らせ

役割	制度改正など、緊急性や重要性の高い情報を確実に伝えるためのセクションとします。また、一時的にアクセスが集中する要因となる情報が発信された場合にも活用できます。時系列で情報が流れてしまうことなく、特許庁が重要と判断した情報を無期限に固定表示することが可能です。これにより、ユーザーが見落とすことなく迅速に必要な対応を取ることができ、情報の伝達漏れや混乱を防ぐ効果があります。さらに、ユーザーの利便性や安心感の向上にもつながります。
デザインの意図	重要なお知らせは、ユーザーがページを訪れた際に必ず確認してほしい情報であるため、アラートを想起させる赤色を使用し、視認性を高めています。ファーストビューに配置することで、(A) (B)ユーザーが目的の情報に最短で到達できるよう配慮します。

### ③ 注目コンテンツ(メインビジュアル)

役割	特許庁が最もPRしたいコンテンツを視覚的に表示し、4つのバナーを掲載することで、
----	--

	ユーザーが関心のある情報に迅速にアクセスできるようにします。
デザインの意図	アクセシビリティへ配慮するため、カルーセルによるヒーロー画像表示をやめ、固定表示とします。メインビジュアルは注目コンテンツとしてグローバルナビの直下に配置し、スクロール不要な範囲に配置します。

#### ④ お困りの方

役割	ユーザーがトップページを閲覧する際に、情報取得を支援する機能。情報を見つからないときに、クリックすることで、よくある質問へ誘導し、ユーザーの自己解決を促します。
デザインの意図	ウェブサイトの右下にフロート表示し、スクロールしても常に画面に追従する仕様とします。クリックすると、よくある質問やお問い合わせ一覧へのショートカットリンクが表示されます。



#### ⑤ 制度から探す

役割	ユーザーの訪問目的に応じるため、厳選した情報を掲載します。このセクションは(B)ユーザーのうち、出願者や出願業務に携わる方を主なターゲットとします。ユーザーがトップページを閲覧する際、情報取得を支援する機能を提供する。また、情報が見つからない場合には、クリックひとつでよくある質問へ誘導し、ユーザーによる自己解決を促します。
デザインの意図	利用者属性別の機能として、(B)ユーザーが自身の状況に応じて適切な情報へアクセスするために、ウェブサイト中段に配置します。加えて、色分けやアイコン表示を工夫し、直感的な認識が可能となるデザインとします。「制度から探す」の「特許」と「実用新案」について、現行サイトでは多数のリンクが同一ページへ遷移していることから、両項目を統合し、「特許・実用新案」とします。



試作ページを用いたヒアリング調査を通じて、①各カテゴリーの項目②特許・実用新案の統合、に関して意見を収集し、カテゴリーの見直しを行います。

⑥ 新着情報

役割	特許庁が発信する情報のうち、イベント情報を除くすべての情報を掲載します。
デザインの意図	<p>新着情報とイベント情報を分けて掲載することで、短期間で情報が埋もれないように配慮します。さらに、新着情報には写真スペースを設けて関心を喚起し、新着情報へのアクセス増加を図ります。また、新着情報に付与する属性(タグ)について項目の見直しを行います。従来使用していた「お知らせ」はグローバルナビゲーションでも同じ名称が使われているため、ユーザーの混乱を避けるために属性から削除します。代わりに、「最近の動き」と「報道発表」を新たな属性として追加します。</p>

⑦ イベント情報


役割	特許庁が発信する情報のうち、イベント情報を絞って掲載します。
デザインの意図	新着情報とイベント情報を分けて掲載することで、短期間で情報が埋もれないようにします。イベントは写真を大きく見せることで関心を喚起し、集客の増加を図ります。

⑧ 広報・SNS


役割	特許庁広報室が運営する各種 SNS の URL やコンテンツを掲載します。また、メールマガジンや新着情報メールの受信設定など、登録に関するお知らせを掲示します。
デザインの意図	特許庁が多様なユーザーに多面的にアプローチするために整備した広報コンテンツを掲載できるよう、専用のセクションを設けます。メールマガジンや新着情報メールの受信設定を強調し、ユーザーが広報コンテンツを閲覧する機会の増加を図ります。

⑨ ユーザー別ガイド

役割	さまざまな目的を持った異なる属性のユーザー別に、有益な情報を取捨選択し、提示する。特に(B)ユーザーが自身の状況に応じて適切な案内を受けられるようにします。
デザインの意図	利用者属性別の機能をウェブサイトの中段以降に設け、これらのメニューは色分けやアイコン表示を工夫し、直感的に認識できるデザインとします。加えて、「情報検索にお

	<p>困りの方」セクションをトップページ中段に設け、よくある質問を周知することで、問い合わせ件数の削減を図ります。</p> 
--	--

#### ⑩ 行政サービス・ピックアップ

役割	特許庁および関係省庁が提供するサービスを集約したセクションとして、多く利用される行政サービスを掲載します。
デザインの意図	<p>これまで異なるエリアに分散していた特許庁および関係省庁のサービスを集約し、ユーザーが目的のサービスに迷わずアクセスできるよう配慮します。加えて、行政サービスが目にとまりやすいよう工夫し、モバイル対応も考慮してカード型デザインを採用します。</p> 

#### ⑪ 採用情報

役割	就職市場における競争優位性を確保し、有能な人材の特許庁への入庁を促進するため、業務内容や採用情報を発信する独立したセクションを設けます。
デザインの意図	主に学生や中途採用を希望する求職者に向けて情報発信を行うため、トップページに動画コンテンツを掲載し、特許庁の業務への興味を喚起します。

#### ⑫ 関連リンク


役割	特許に関連するウェブサイトや関係省庁のウェブサイトのバナーを一つに集約し、これによりバナーからのコンテンツ誘導の増加を図る。特許庁のバナーは「行政サービス・ピックアップ」に移設し、当該セクションでは関係省庁を中心としたバナーのみを掲載します。
デザインの意図	既存のウェブサイトでは、特許庁の行政サービスと関係省庁のウェブサイトのバナーが混在していましたが、今回のリニューアルにおいて、新設した「行政サービス・ピックアップ」に特許庁の行政サービスを移設し、関連リンクを関係省庁に限定することで、バナー数を削減し、視認性を向上させます。さらに、特許庁バナーの下部にタイトルを記載することで、アクセシビリティに配慮します。

### ⑬ フッタ

役割	サイト全体に共通する情報や補助的なナビゲーションを提供する役割を担います。また、ユーザーが必要とする基本的な情報へ迅速にアクセスできるようにし、ウェブサイト全体の信頼性や利便性の向上に寄与します。
デザインの意図	必要な情報やリンクを簡潔かつ分かりやすく配置し、視認性・操作性・アクセシビリティに配慮したデザインで、サイトの信頼性と利便性を高めます。

### ⑭ その他

特許庁職員が情報取得の支援を行う際、相手がどのページを見ているかを把握し、目的の情報に誘導するために、背景色およびアイコンを活用します。

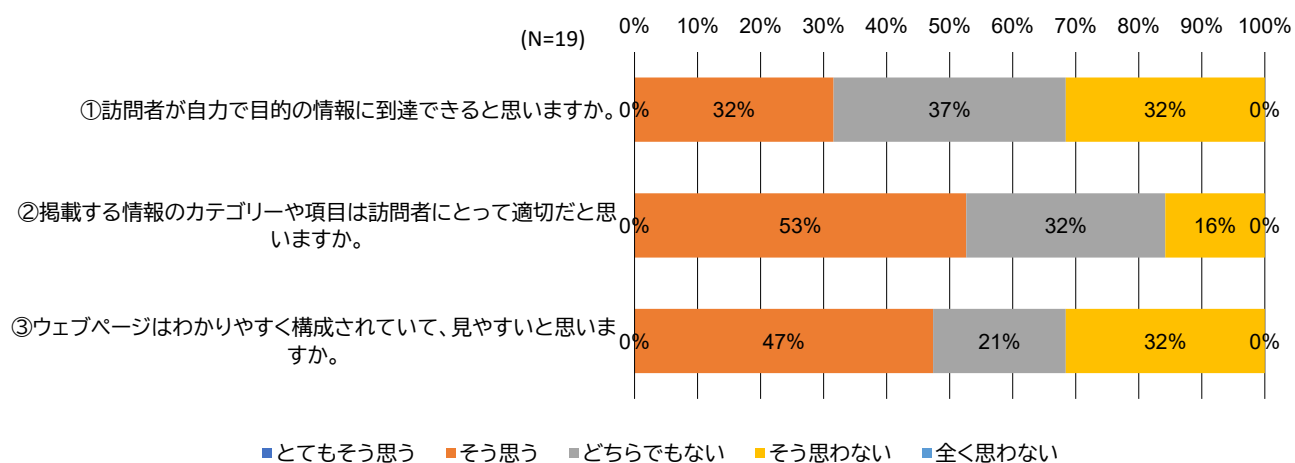
ユーザー別ガイド
採用情報
イベント情報
制度から探す
 重要なお知らせ <a href="#">申請手続デジタル化の詳細について</a>

## 2. 実施結果

### (ア) 基本設問に関する回答

それぞれの設問において「とてもそう思う」と「全く思わない」はありませんでした。①訪問者が自力で目的の情報に到達できるかについては意見が分かれ、②③については半数近くが「そう思う」と回答いただきました。

図表 59 基本設問の回答比率

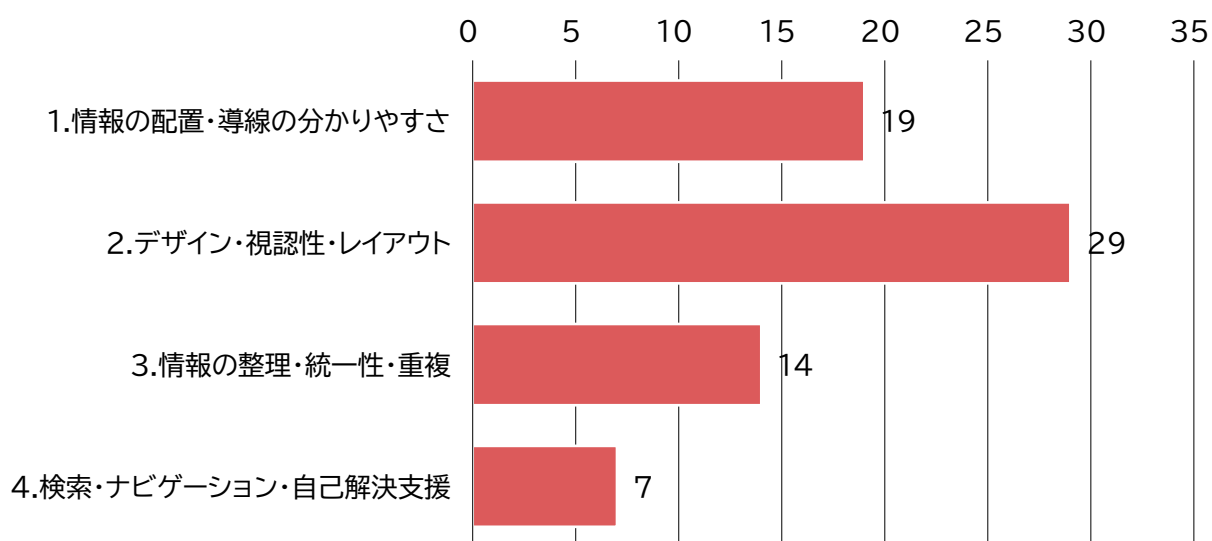


(イ) 追加設問に関する回答

- 大きくは4つの項目に分類され、それぞれの意見概要は以下の通り。

<p>1.情報の配置・導線の分かりやすさ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 重要・リピート率の高い情報や利用頻度の高いリンク（J-PlatPat 等）が下部にありアクセスしづらい</li> <li>・ スクロールが長く、下の情報が一見して分からない</li> <li>・ ヘッダーや検索窓、ボタンが小さく目立たない</li> <li>・ 最上部への戻りが大変</li> <li>・ 未スクロールエリアの情報が少ない</li> </ul>
<p>2.デザイン・視認性・レイアウト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 縦に長いレイアウトで今どこにいるか分かりにくい</li> <li>・ 「制度から探す」や注目コンテンツ、PR コンテンツが大きすぎる</li> <li>・ テキスト情報が多く、視認性が悪い</li> <li>・ ボタンやビジュアルが大きすぎる／小さすぎる</li> <li>・ スクロール回数が多い、上下に間延びしている</li> </ul>
<p>3.情報の整理・統一性・重複</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 項目の並びや表現に統一感がない、重複が多い</li> <li>・ 特許・実用新案・意匠・商標など分野ごとの項目立てや表現の不統一</li> <li>・ 「知的財産制度の概要」など上位概念の重複掲載</li> <li>・ 「行政サービス・ピックアップ」など項目の意味や配置が分かりづらい</li> </ul>
<p>4.検索・ナビゲーション・自己解決支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検索窓や検索ボタンが小さく分かりづらい</li> <li>・ 「よくある質問」やFAQが不十分（登録関連が抜けている等）</li> <li>・ 下層ページがリンクテキストの羅列で分かりにくい</li> <li>・ 「情報検索にお困りの方へ」など案内文が分かりづらい</li> </ul>

図表 60 追加設問の分類別回答数（複数回答）



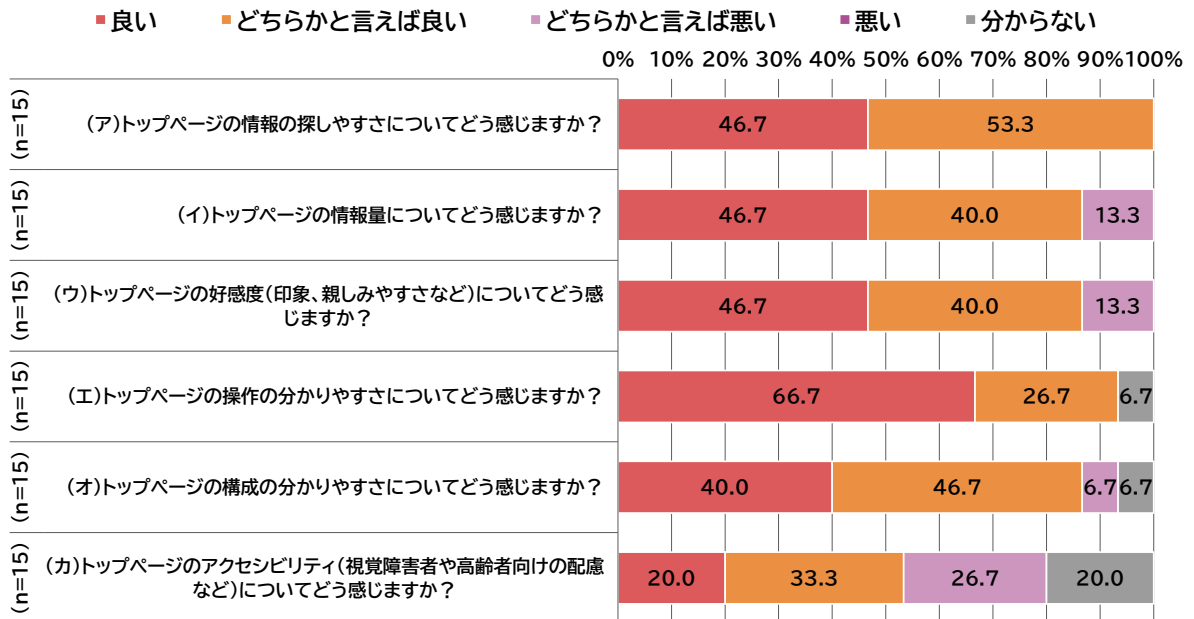
## 第2節. ユーザーニーズ調査（2回目）

### 1. 調査結果

#### ① 企業および知財関係者（ユーザー①～⑧）

##### (1) 試作ページ（トップページ）の評価と具体的な課題

###### ■課題項目別の評価

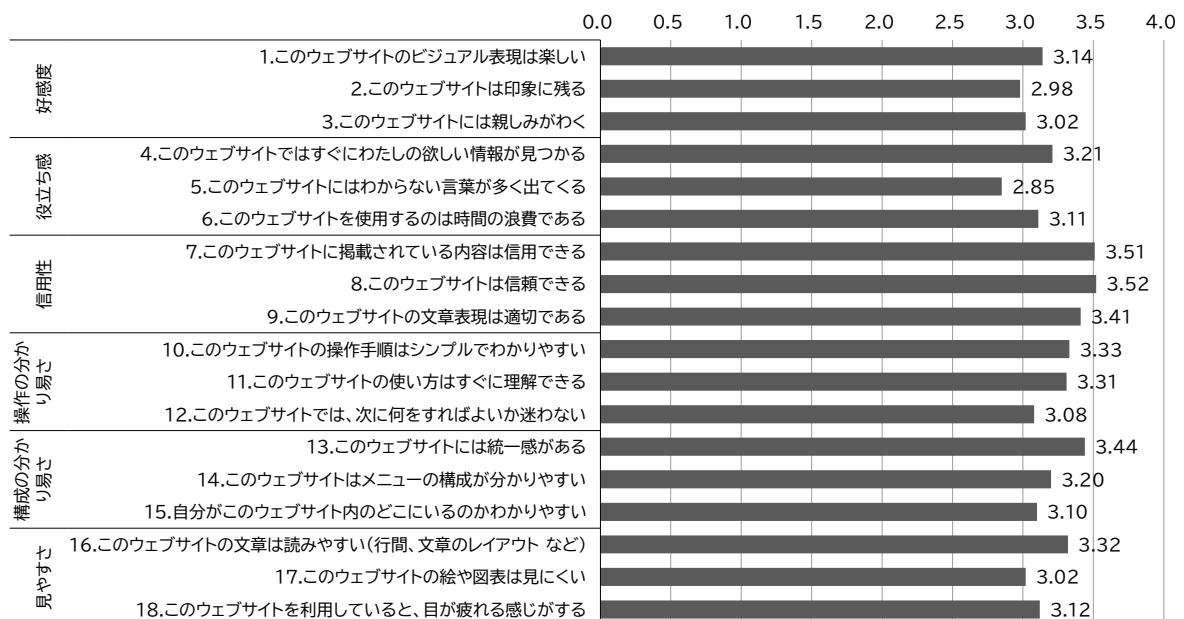


#### ② 知財の知識や知財制度になじみのない一般の方（ユーザー⑨）

##### (1) 試作ページ（トップページ）のユーザビリティ評価

###### ■評価項目別 評価点（5段階評価の平均点）

選択肢の点数化）大変そう思う=5、そう思う=4、  
 どちらでもない=3、そう思わない=2、全くそう思わない=1  
 ※ 項目5, 6, 17, 18はマイナス評価のため、反対の点数を設定



順位	評価項目	評価点
1位	8.このウェブサイトは信頼できる	3.52
2位	7.このウェブサイトに掲載されている内容は信用できる	3.51
3位	13.このウェブサイトには統一感がある	3.44
4位	9.このウェブサイトの文章表現は適切である	3.41
5位	10.このウェブサイトの操作手順はシンプルでわかりやすい	3.33
6位	16.このウェブサイトの文章は読みやすい(行間、文章のレイアウト など)	3.32
7位	11.このウェブサイトの使い方はすぐに理解できる	3.31
8位	4.このウェブサイトではすぐにわたしの欲しい情報が見つかる	3.21
9位	14.このウェブサイトはメニューの構成が分かりやすい	3.20
10位	1.このウェブサイトのビジュアル表現は楽しい	3.14
11位	18.このウェブサイトを利用していると、目が疲れる感じがする	3.12
12位	6.このウェブサイトを使用するのは時間の浪費である	3.11
13位	15.自分がこのウェブサイト内のどこにいるのかわかりやすい	3.10
14位	12.このウェブサイトでは、次に何をすればよいか迷わない	3.08
15位	3.このウェブサイトには親しみがわく	3.02
16位	17.このウェブサイトの絵や図表は見にくい	3.02
17位	2.このウェブサイトは印象に残る	2.98
18位	5.このウェブサイトにはわからない言葉が多く出てくる	2.85



3点以下


### 第3章 試作ページの改良

#### 第1節. 特許庁向け調査結果に基づく改良点

ヒアリングによって寄せられた修正依頼について、「重要度」と「緊急度」で点数を付けて優先順位を付け、優先順位が高いものについて修正を施した。試作ページを用いた特許庁向け調査の結果、寄せられた主な指摘事項および改良点は以下の通りである。

図表 61 特許庁向け調査結果に基づく主な改良点



ご指摘内容	改良点
縦スクロールが長い。	トップページ全体の縦の余白を詰めて、トップページ全体の縦幅を縮めた。
トップページの各カテゴリーの順番が適切に配置されていない。	順番を適切に変更した。
<p>「情報検索にお困りの方へ」の日本語がわかりづらい。</p> <p>「よくある質問」に【登録】が含まれていない。</p>	<p>「情報検索にお困りの方へ」を「よくある質問」に改め、各項目は「特許」「実用新案」「意匠」「商標」とし、「登録」を追加した。</p> <p>【修正後イメージ】</p> 
「目的から探す」がなくなるなど、訪問者目線での到達難易度は容易になったといえない。	<p>「目的から探す」のうち、「出願したい方」、「検索したい方」、「相談したい方」、「知財を学びたい方」、「弁理士になりたい方」を新たに追加した。</p> <p>【修正後イメージ】</p> 
キービジュアル注目コンテンツが大きすぎて重要なお知らせを訪問者が見つけ出しにくい。	キービジュアル（注目コンテンツ）の画像を縮小し、未スクロール領域の情報量を増やすとともに、重要なお知らせが注目されるようにした。


ご指摘内容	改良点
<p>ヘッダーが小さく目立ちにくい。</p>	<p>縦の余白を広げた。</p> 
<p>検索ボタンがアイコン化され、ボタンを押下しないと入力欄が出てこない。</p>	<p>デスクトップは検索窓を常時表示させ、モバイルはアイコン展開するようにした。</p> 
<p>トップページ上部のグローバルナビに「採用情報」を追加いただきたい。 紹介動画は作成から時間が経過しているため、各官職の採用パンフレットを掲載してはどうか。</p>	<p>グローバルナビに「採用情報」を追加した。</p> <p>【修正後イメージ】</p> 

## 第2節. 外部利用者向け調査結果に基づく改良

試作ページを用いた外部利用者向けアンケートの結果、寄せられた主な指摘事項および改良点は以下の通りである。

図表 62 外部利用者向けアンケート結果に基づく主な改良点

ご指摘内容	改良点
<p>制度から探すの篤実意匠のそれぞれに「知的財産権制度の概要」があるので迷う。 (原文まま)</p>	<p>「知的財産制度と特許・実用新案の概要」、「知的財産制度と意匠の概要」、「知的財産制度と商標の概要」に変更した。</p> <p>【修正後イメージ】</p> 
<p>SNSは一覧に飛ばすのではなく SNS ごとにボタンを制作してほしい。</p>	<p>「特許庁SNS一覧」「特許庁公式X」「JPO Channel (YouTube)」「JPOちゅーぶ (YouTube)」のリンクを設けた。</p> <p>【修正後イメージ】</p> 

ご指摘内容	改良点
<p>行政サービス・ピックアップ「令和元年意匠法改正」だけ異質に見える。意匠のページではなく、この項目の1つとして表示する理由が良くわかりませんでした。</p>	<p>「行政サービス・ピックアップ」の「令和元年意匠法改正」を「ePCT」に変更した。</p> <p>【修正後イメージ】</p> 

### 第3節. その他の改良（デジタル庁の指摘に基づく改良）

#### 1. デジタル庁との協議

##### （1）第一回協議

デジタル社会形成の司令塔として、未来志向のDX（デジタル・トランスフォーメーション）を大胆に推進し、デジタル時代の官民のインフラを一気呵成に作り上げるデジタル庁と特許庁のホームページのあり方について協議の場を設けた。検証のために作成したデザインモックを用いて、デジタル庁のアクセシビリティ等を所管する部署の職員と議論した。主にアクセシビリティの観点から改善点や懸念点などをご指摘いただき、当社として修正することで合意した。

図表 63 第一回協議開催概要

開催年月日	2025年9月12日（金）11:00～12:00
場所・方法	オンライン開催（Teams 会議）
対象者	特許庁広報室及びデジタル庁（当社は録画による視聴）

##### （2）第二回協議

サブドメイン上に構築したHTML 試作ページに基づき、デジタル庁アクセシビリティ所管部署と再度協議を行った。本協議では、前回指摘事項への対応確認に加え、動的要素におけるアクセシビリティ確保について検討し、修正事項の洗い出しを完了した。

図表 64 第二回協議開催概要

開催年月日	2025年11月14日（金）11:00～12:00
場所・方法	オンライン開催（Teams 会議）
対象者	特許庁広報室、デジタル庁、及び当社

#### 2. デジタル庁の指摘に基づく改良

二度のデジタル庁との協議の結果、寄せられた主な指摘事項および改良点は以下の通りである。

図表 65 デジタル庁との協議結果に基づく主な改良点

ご指摘内容	改良点
カルーセル機能を用いないバナー表示を検討する。	固定配置に変更する。
重要なお知らせの誘目性を高める	ナビゲーションメニュー下に配置する。
テキストリンクがリンクだとわかるように意匠を変更する。	下線を引くなどテキストの色や装飾によりリンクであることを明示する。
不用意に視線を左右に誘導させないように、左右両端配置を共存させない。	すべての文章およびアイコンを左揃えに統一する。または、カードコンポーネントとして枠線を設ける。
メインビジュアルに配置されたバナーがクリック可能であることがわかりにくく、またバナーのデザインによっては背景や重要なお知らせエリアとのコントラストが十分でない場合がある。	枠線を配置する。
グローバルナビゲーション開閉のアイコンが開閉時に変化がない。	オープン時には矢印を上向きにする。
「はじめての方」リンクがリンクであることがわかりにくい。	「はじめての方」リンクの文頭にアイコンを配置する（「Language」セクターや検索と同様にする）。
メガメニュー表示時画面外クリックで閉じてしまう。	メニュー外をクリックしてもメニューが閉じないようにする（閉じるボタンのみで閉じる）。
階層が整理されていない。	原則 MECE になるよう階層構造を見直し、第二・第三階層を増設する・整理する。 「お問い合わせ」はユーティリティエリアに移動する。
「一覧を見る」というラベルが具体的でない。	「新着情報一覧を見る」などに改修する。
ボタンの枠線のコントラストが達していない。	コントラスト要件に達せられるよう枠線の色をもっと濃い色に変更する。
代替テキストが設定されていない箇所がある。	適切な alt を設定する。
カード内の別窓アイコンの位置が正しくない。	別窓アイコンはリンクテキストに末尾に移動する（矢印アイコンはそのまま）。
リストリンクであることがわかりづらい。	文頭に「・」を配置し、リストリンク形式にする。
ユーザー別ガイドがユーザー別になっていない。	ターゲットユーザー向けリンクエリアとしてまとめ、「はじめての方」「お困りの方」導線は外して別途バナーやナビゲーションから誘導させる。
右下の「お困りの方へ」追従メニューが有用とは判断しづらい。	「お困りの方へ」は削除し「よくある質問」をユーティリティメニューエリア（「はじめての方」リンクの隣）に配置する。

## 第4章 トップページ媒体の納入

本章では、本プロジェクトにおけるトップページ納入プロセスの全体像と、各工程の実施内容を記述する。

### 第1節. 納入プロセス

#### 1. 日本語サイトの構築

日本語サイトの構築については、要件定義および情報設計に基づき、トップページのデザインおよび第二階層以下も使用するテンプレートとスタイルガイドを整備した。共通ヘッダー・フッター、ナビゲーション、メインコンテンツ、メニュー等の主要なテンプレートとして活用できる形でトップページを実装した。アクセシビリティはWCAG2.2 および日本産業規格 JIS X 8341-3:2016 の達成等級AA 準拠を目標とし、キーボード操作、代替テキスト、コントラスト、見出し構造等を確認した。最後に表示崩れ、リンク切れ、404 ハンドリング等を検証した。

#### 2. 日本語サイトのスマートフォン対応の実施

日本語サイトのスマートフォン対応の実施においては、レスポンシブ Web デザインを採用し、主要ブレイクポイントを定義してレイアウトを最適化した。タップ領域、フォントサイズ、フォーカス可視性、を検証し、モバイル端末での可用性を高めた。iOS および Android の主要ブラウザで実機・エミュレータ検証を行い、縦横回転、画面解像度差異、ソフトキーボード表示時の挙動を確認した。

#### 3. 英語サイトの構築

英語サイトの構築は、日本語サイトの情報構造とテンプレートを基盤として、共通コンポーネントを再利用する方針で進めた。英語サイトに掲載するページについて、日英 URL、ページタイトル、翻訳ステータス等をリストにし、公開漏れがないように適切に管理した。これにより、表記変更や新規ページ追加時の影響範囲を即時に把握し、情報の一貫性を維持した。

### 第2節. 納入に向けた手続き

初回納入においては、日本語版・英語版各トップページのテンプレート、スタイルシート、スクリプト、画像、ならびに変更手順書を一式として取りまとめ、記録媒体に書き込み（メディア焼成）した。当該媒体は特許庁広報室あてに所定の手続きに従い持参・引渡しを実施した。これにより、日本語版および英語版トップページの初回納入を完了した。

その後、特許庁側において実運用環境上でトップページを構築・展開した際、環境依存の設定差分に起因するリソース参照エラーおよびスクリプト実行時の不整合が確認された。当社にて当該事象を確認し、原因の切り分けを行った上で修正対応を実施した。

修正後の成果物については、メールによる電子納付を実施した。当社は送信履歴および受領連絡をもって再納付の完了を記録した。

以上により、記録媒体での初回納入後に発生した実環境上のエラーについて修正対応を完了し、電子納付により改訂成果物を確実に納めた。

### 第3節. 納入物

トップページについて日本語・英語の両ページを納入した。なお、ウェブページはモバイル端末対応し

ている。

図表 66 トップページ (日本語)

パソコン	スマートフォン	
		① ヘッダー
		② 重要なお知らせ
		③ 注目コンテンツ
		④ はじめての方
		⑤ よくある質問
		⑥ 制度から探す
		⑦ 行政サービス・ピックアップ
		⑧ ユーザー別ガイド
		⑨ 目的別ガイド
		⑩ 新着情報・報道発表
		⑪ イベント情報
		⑫ 採用情報
		⑬ 関連リンク
		⑭ 広報・SNS
		⑮ フッター

図表 67 トップページ（日本語）パソコン画面詳細

**重要なお知らせ**

- 申請手続デジタル化の詳細について
- 発注手続デジタル化の詳細について

**2025年大阪・関西万博 特設サイト**

**明日を変える知財のチカラ**

**はじめての方**

- スッとわかる知的財産権
- 実用新案出願のいろは
- 商標出願のいろは
- 短特の教材・参考書
- 電子出願ソフトのご利用方法（動画）
- 特許出願のいろは
- 意匠出願のいろは
- 加付財産制度説明会
- お助けサイトへ通知を受け取った方へ
- 初心者のための電子出願ガイド

**よくある質問**

- よくある質問一覧
- 特許
- 意匠
- 審判
- 申請人登録関連手続
- お問合せ先一覧
- 金銭
- 実用新案
- 商標
- 登録
- 様式

**制度から探す**

**特許・実用新案**

- 知的財産権制度と特許・実用新案の概要
- 特許分類
- 基準・実例・ガイドライン
- 出願（特許）
- 出願（実用新案）
- 審査
- 審判
- 登録
- その他（情報提供制度、職務発明制度、先使用権制度、ビジネスガバナンス）
- よくある質問（特許）
- よくある質問（実用新案）

特許一覧を見る 実用新案一覧を見る

**意匠**

- 知的財産権制度と意匠の概要
- 意匠制度の概要
- 令和元年意匠法改正特設サイト
- 意匠分類
- 基準・実例・ガイドライン
- 出願
- 審査
- 審判
- 登録
- よくある質問

意匠一覧を見る

**商標**

- 知的財産権制度と商標の概要
- 商標制度に関するよくある質問
- 商品・役務の分類
- 基準・実例・ガイドライン
- 商標登録出願に関する基本予定等
- 新しいタイプの商標の保護制度について
- 地球ブランドの保護は、地球環境保護制度下
- 出願
- 審査
- 審判
- 登録
- よくある質問
- 海外における商標の取扱い輸出対応

商標一覧を見る

**審判**

- 審判注目情報
- 審判の共通手続
- 特許本審査の電子データ提供フォーム
- 審判種類別の情報
- その他
- よくある質問

審判一覧を見る

**国際出願**

- 特許協力条約（PCT）に基づく国際出願に関して
- 【商標の国際出願】マドリッド協定条約による国際出願に関して

**登録**

- 規定登録の手続
- 権利維持のための手続
- 権利の移転等に関する手続

- [【特許の国際出願】よくある質問](#)
- [【特許の国際出願】ハーグ協定のジュネーブ改正協定に基づく国際出願に関して](#)
- [【特許の国際出願】よくある質問](#)
- [ご注意ください：条約上規定された範囲外からの手数料請求について](#)

[国際出願一覧を見る](#)

- [その他の手続](#)
- [納付書・移転申請書等の様式（紙手続の様式）](#)
- [特許（登録）料納付書等の記載方法](#)
- [登録の定額Q&A](#)
- [特許（登録）料納付金額及び納付期限の確認方法](#)
- [特許情報プラットフォーム（J-PlatPat）で、特許（登録）料納付に必要な情報を調べたい方へ](#)

[登録一覧を見る](#)

## 行政サービス・ピックアップ

 <p>特許・実用新案・意匠・商標を検索 J-PlatPat（外部サイトへリンク）</p>	 <p>手数料金計算システム</p>	 <p>特許出願非公開制度</p>	 <p>特定登録調査機関制度</p>
 <p>特許行政年次報告書2023年版</p>	 <p>特許出願技術動向調査</p>	 <p>電子出願ソフトサポートサイト（外部サイトへリンク）</p>	 <p>ePCTトップページ（外部サイトへリンク）</p>

## ユーザー別ガイド

 <p>中小企業・スタートアップ・個人の方</p>	 <p>大学・研究機関の方</p>	 <p>企業の方</p>
--	--	---

## 目的別ガイド

 <p><b>出願したい方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">各種申請書類一覧（紙手続の様式）（知的財産相談・支援ポータルサイト）（外部サイトへリンク）</a></li> <li>• <a href="#">出願窓口</a></li> <li>• <a href="#">電子出願</a></li> <li>• <a href="#">手数料金計算システム</a></li> <li>• <a href="#">産業財産権関係料金一覧</a></li> <li>• <a href="#">特許料等の減免制度</a></li> <li>• <a href="#">意匠登録料金改正のお知らせ（2020年4月1日施行）</a></li> <li>• <a href="#">はじめての方へ</a></li> </ul>	 <p><b>検索したい方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">特許情報プラットフォーム（J-PlatPat）（外部サイトへリンク）</a></li> <li>• <a href="#">外国特許情報サービス POPISER（外部サイトへリンク）</a></li> <li>• <a href="#">画像意匠公開検索支援ツール（外部サイトへリンク）</a></li> <li>• <a href="#">初めての検索検索 各種を検索してみましょう</a></li> <li>• <a href="#">フン・ポータル・ドシエ（OPD）預金（外部サイトへリンク）</a></li> </ul>
 <p><b>法令等を知りたい方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">法令・基準</a></li> </ul>	 <p><b>相談したい方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <a href="#">知財総合支援窓口 知財ポータル（外部サイトへリンク）</a></li> <li>• <a href="#">知的財産相談・支援ポータルサイト（外部サイトへリンク）</a></li> <li>• <a href="#">産業秘密・知財戦略相談窓口 ～産業秘密110番～（外部サイトへリンク）</a></li> </ul>
 <p><b>知財企業アワード</b></p>	 <p><b>特許弁理人アワード</b></p>

**知財を学びたい方**

- 知財財産制度説明会
- 知財の教材・参考書
- 広報誌とっさよ
- 知財総合支援窓口
- 外国知的財産権情報

**知財エッセンスを学びたい方**

- 弁護士試験

## 新着情報・報道発表

- 

通令(海令 2025年12月26日)  
特許庁関係(特許特別会計)予算の概要(令和8年度)
  - 

お知らせ 2025年12月28日  
イベントカレンダー (1月26日 オンライン) 高林隆山口大客員教授会員の知財実務連続講演会(第10回)「登場人物に対する原作者の権利」
  - 

お知らせ 2025年12月24日  
イベントカレンダー (2月17日 オンライン) 山口大学知的財産セミナー【応用コース】「産学連携における知財取扱いの注意点」
  - 

お知らせ 2025年12月26日  
イベントカレンダー (3月23日 オンライン) 山口大学知的財産セミナー【著作権コース】「教育上の著作権・研究上の著作権について」
  - 

お知らせ 2025年12月26日  
イベントカレンダー (1月29日 千葉県松戸市) 生成AIを活用するための知財・法律の課題
- [新着情報一覧を見る](#)
[報道発表一覧を見る](#)

## イベント情報

- 

オンライン 2026年2月6日(金曜日)  
令和7年度中小企業向け知財支援セミナー「日常を『繋げる』工場づくりと「大躍」に見せて、核心を守る」基調。中小企業のためのオープンファクトリー実践セミナー(外部サイトリンク) [🔗](#)
  - 

神奈川経済開発 2026年2月20日(金曜日)  
図書館で学ぶ知的財産講座 第3回「AIと知財(著作権をメインに)」(外部サイトリンク) [🔗](#)
  - 

オンライン 2026年1月23日(金曜日)  
山口大学知的財産セミナー【著作権コース】「教育上の著作権・研究上の著作権について」(外部サイトリンク) [🔗](#)
  - 

オンライン 2026年1月26日(日曜日)  
高林隆山口大客員教授会員の知財実務連続講演会(第10回)「登場人物に対する原作者の権利」(外部サイトリンク) [🔗](#)
- [イベント情報一覧を見る](#)

## 採用情報

### 募集職種

- 

総合職・一般職(特許審査官/意匠審査官/商標審査官/事務職員) [➔](#)
- 

その他(任用付職員/評定審査考査委員/随時的任用職員/非常勤職員) [➔](#)

[採用情報一覧を見る](#)

### 特許庁 紹介動画



働く職場を紹介しています(外部サイトリンク) [🔗](#)

## 関連リンク

- 

知的財産推進フォーラム(II-PF) [🔗](#)
- 

知的財産情報支援ポータルサイト [🔗](#)
- 

知財総合支援窓口(外部サイトリンク) [🔗](#)
- 

工業所有権情報・研修館(外部サイトリンク) [🔗](#)

[特許庁へリンク](#) | [サイトへリンク](#) |  |



日本弁理士会 (外部サイトへリンク) |



経済産業省 (外部サイトへリンク) |



特許情報センター (外部サイトへリンク) |

[関連リンク一覧を見る](#)

## 広報・SNS

**特許庁 SNS 一覧**

- [特許庁公式 \(旧Twitter\) \(外部サイトへリンク\)](#) |
- [JPO channel \(YouTube\) \(外部サイトへリンク\)](#) |
- [JPOチャンネル \(YouTube\) \(外部サイトへリンク\)](#) |
- [特許庁 SNS 一覧](#)

 [特許庁メールマガジン配信サービス](#) [→](#)

 [特許庁新着情報メール配信サービス](#) [↓](#)

図表 68 トップページ（日本語）スマートフォン画面詳細



## 制度から探す



### 特許・実用新案



- [知的財産権制度と特許・実用新案の概要](#)
- [特許分類](#)
- [基準・便覧・ガイドライン](#)
- [出願（特許）](#)
- [出願（実用新案）](#)
- [審査](#)
- [審判](#)
- [登録](#)
- [その他（情報提供制度・職務発明制度・先使用権制度・ビジネス方法）](#)
- [よくある質問（特許）](#)
- [よくある質問（実用新案）](#)

[特許一覧を見る](#)

[実用新案一覧を見る](#)



### 意匠



- [知的財産制度と意匠の概要](#)
- [意匠制度の概要](#)
- [令和元年意匠法改正特設サイト](#)
- [意匠分類](#)
- [基準・便覧・ガイドライン](#)
- [出願](#)
- [審査](#)
- [審判](#)
- [登録](#)
- [よくある質問](#)

[意匠一覧を見る](#)



### 商標



- [知的財産制度と商標の概要](#)
- [商標制度に関するよくある質問](#)

- [商品・役務の分類](#)
- [基準・便覧・ガイドライン](#)
- [商標登録出願に関する着手予定等](#)
- [新しいタイプの商標の保護制度について](#)
- [地域ブランドの保護は、地域団体商標制度で](#)
- [出願](#)
- [審査](#)
- [審判](#)
- [登録](#)
- [よくある質問](#)
- [海外における商標の抜け駆け出願対策](#)

[商標一覧を見る](#)



## 審判



- [審判注目情報](#)
- [審判の共通手続](#)
- [紙原本書面の電子データ提供フォーム](#)
- [審判種類別の情報](#)
- [その他](#)
- [よくある質問](#)

[審判一覧を見る](#)



## 国際出願



- [特許協力条約（PCT）に基づく国際出願に関して](#)
- [【商標の国際出願】マドリッド協定議定書による国際出願に関して](#)
- [【商標の国際出願】よくある質問](#)
- [【意匠の国際出願】ハーグ協定のジュネーブ改正協定に基づく国際出願に関して](#)
- [【意匠の国際出願】よくある質問](#)
- [ご注意ください：条約上規定された組織外からの手数料請求について](#)

[国際出願一覧を見る](#)



## 登録



- [出願登録の手続](#)


特許・登録に関するリンク

- [権利維持のための手続](#)
- [権利の移転等に関する手続](#)
- [その他の手続](#)
- [納付書・移転申請書等の様式（紙手続の様式）](#)
- [特許（登録）料納付書等の記載方法](#)
- [登録の実務Q&A](#)
- [特許（登録）料納付金額及び納付期限の確認方法](#)
- [特許情報プラットフォーム（J-PlatPat）で、特許（登録）料納付に必要な情報を調べたい方へ](#)

[登録一覧を見る](#)

## 行政サービス・ピックアップ



[特許・実用新案・意匠・商標を検索 J-PlatPat（外部サイトヘリンク）](#) 



[手続料金計算システム](#)



特許出願非公開制度



特定登録調査機関制度



特許行政年次報告書2025年版



特許出願技術動向調査



電子出願ソフトサポートサイト (外部サイトへリンク)





ePCTトップページ（外部サイトヘリンク） [🔗](#)



## ユーザー別ガイド



中小企業・スタートアップ・個人の方



大学・研究機関の方



企業の方



## 目的別ガイド



### 出願したい方



- [各種申請書類一覧（紙手続の様式）（知的財産相談・支援ポータルサイト）（外部サイトヘリンク）](#)
- [出願窓口](#)
- [電子出願](#)
- [手続料金計算システム](#)
- [産業財産権関係料金一覧](#)
- [特許料等の減免制度](#)
- [審匠関係料金改正のお知らせ（2020年4月1日施行）](#)
- [はじめての方へ](#)



### 検索したい方



- [特許情報プラットフォーム（J-PlatPat）（外部サイトヘリンク）](#)
- [外国特許情報サービス FOPISER（外部サイトヘリンク）](#)
- [画像審匠公報検索支援ツール（外部サイトヘリンク）](#)
- [初めての商標検索 商標を検索してみましょう](#)
- [ワン・ポータル・ドシエ（OPD）照会（外部サイトヘリンク）](#)



### 法令等を知りたい方



- [法令・基準](#)



### 相談したい方



- [知財総合支援窓口 知財ポータル（外部サイトヘリンク）](#)
- [知的財産相談・支援ポータルサイト（外部サイトヘリンク）](#)
- [営業秘密・知財戦略相談窓口 ～営業秘密110番～（外部サイトヘリンク）](#)



### 知財を学びたい方



- [知的財産制度説明会](#)
- [知財の教材・参考書](#)
- [広報誌とつきよ](#)
- [とつきよちょうキッズページ](#)
- [外国知的財産権情報](#)



弁理士になりたい方



- [弁理士試験](#)

## 新着情報・報道発表



法令/施策

2025年12月26日

[特許庁関係（特許特別会計）予算の概要（令和8年度）](#)



お知らせ

2025年12月26日

[イベントカレンダー（1月26日 オンライン 高林龍山口大客員教授企画の知財実務連続講演会〈第10回〉『登場人物に対する原作者の権利』）](#)



お知らせ

2025年12月26日

[イベントカレンダー（2月17日 オンライン 山口大学知的財産セミナー【応用コース】『産学連携における知財取扱いの注意点』）](#)



お知らせ

2025年12月26日

[イベントカレンダー（1月23日 オンライン 山口大学知的財産セミナー【著作権コース】『教育上の著作権・研究上の著作権について』）](#)



お知らせ

2025年12月26日

[イベントカレンダー（1月29日 千葉県松戸市 生成AIを活用するための知財・法律の諸問題）](#)

[新着情報一覧を見る](#)

[報道発表一覧を見る](#)

## イベント情報



オンライン

2026年2月6日（金曜日）

[令和7年度中小企業向け知財支援セミナー「日](#)

常を『魅せる』工場づくりと『大胆に見せて、核心を守る』技術。中小企業のためのオープンファクトリー実践セミナー」(外部サイトヘリンク) [☞](#)



神奈川県川崎市  
2026年2月20日(金曜日)  
図書館で学ぶ知的財産講座 第3回「AIと知財(著作権をメインに)」(外部サイトヘリンク)  
[☞](#)



オンライン  
2026年1月23日(金曜日)  
山口大学知的財産セミナー【著作権コース】  
『教育上の著作権・研究上の著作権について』  
(外部サイトヘリンク) [☞](#)



オンライン  
2026年1月26日(月曜日)  
高林龍山口大客員教授企画の知財実務連続講演会(第10回)『登場人物に対する原作者の権利』(外部サイトヘリンク) [☞](#)

[イベント情報一覧を見る](#)

## 採用情報

### 募集職種

総合職・一般職(特許審査官/意匠審査官/商標審査官/事務職員) [→](#)

その他(任期付職員/障害者選考委員/臨時的任用職員/非常勤職員) [→](#)

### 特許庁 紹介動画



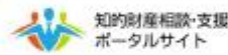
働く職員を紹介しています(外部サイトヘリンク) [☞](#)

[採用情報一覧を見る](#)

## 関連リンク



国際知的財産保護フォーラム (IIPPF)  
[\(外部サイトヘリンク\)](#)



知的財産相談・支援ポータルサイト (外部サイトヘリンク)



知財総合支援窓口 (外部サイトヘリンク)



工業所有権情報・研修館 (外部サイトヘリンク)



日本弁理士会 (外部サイトヘリンク)



経済産業省 (外部サイトヘリンク)



～知的財産活用支援サイト～  
 みんなの関西ちざいば (外部サイトヘリンク)

[関連リンク一覧を見る](#)

## 広報・SNS

### 特許庁SNS一覧

- [特許庁公式X \(旧Twitter\) \(外部サイトヘリンク\)](#)
- [JPO channel \(YouTube\) \(外部サイトヘリンク\)](#)
- [JPOちゃんねる \(YouTube\) \(外部サイトヘリンク\)](#)
- [特許庁SNS一覧](#)

[特許庁メールマガジン  
配信サービス](#)

[特許庁新着情報  
メール配信サービス](#)



〒100-8915  
 東京都千代田区霞が関3丁目4番3号  
 電話番号：03-3581-1101 (代表)  
 法人番号：2000012090003





























[知的財産権関連リンク集](#)  
[投書箱 \(ご意見・ご要望\)](#)

[サイトマップ](#)  
[ホームページの使い方](#)  
[プライバシーポリシー](#)  
[アクセスマップ](#)  
[このサイトについて](#)  
[用語解説](#)


[特許庁SNS一覧](#)

Copyright © Japan Patent office. All Rights Reserved.

図表 69 トップページ (英語)

パソコン	スマートフォン	
		① Header
		② Important Announcement
		③ Banners (Visual Contents)
		④ For Beginners
		⑤ FAQs
		⑥ Understanding IP
		⑦ Administrative Service Pickup
		⑧ Guide by User Type
		⑨ Purpose-Specific Guide
		⑩ News and Press Releases
		⑪ The JPO Quick Reads
		⑫ Related Information
		⑬ PR & Social Media
		⑭ Footer



図表 70 トップページ (英語) パソコン画面詳細



The screenshot displays the JPO homepage with the following elements:



- Header:** JPO logo, navigation links (For Beginners, FAQs, Language, Site Search), and a search bar powered by Google.
- Secondary Navigation:** HOME, Announcements, Systems/Procedures, Related Services, Statistics/References, About JPO, FAQs.
- Important Announcement:** A pink banner with an information icon and two dummy text links.
- Main Content Area:**
  - International Forums:** Promoting Intellectual Property Utilization for the SDGs, October 4 (SAT), 2025 EXPO 2025 (Live streaming).
  - JPO STATUS REPORT 2025:** Web of Stakeholder Report 2025.
  - GXTI:** Green Transformation Technologies Inventory.
  - INVEST JAPAN:** File patents, expand your business in Japan.
- Service Navigation:** For Beginners and FAQs buttons.
- Understanding IP:** A grid of buttons for Patents/Utility Models, Designs, Trademarks, Appeals/Trials, and International Applications.
- Administrative Service Pickup:** Four service cards: J-PlatPat (External Link), FAQ for Searching, Schedule of Fees, and Step-by-step Guide (IP Professionals).
- Guide by User Type:** Three user type cards: SMEs & Individuals, Universities/Research, and Enterprises.



## Purpose-Specific Guide

Application  

How to Search  

Learn about Laws and Regulations  

## News and Press Releases

 **Announcements** 25 December 2025  
[Preliminary Statistical Data on Applications, Requests and Registrations \(Data for October 2025\)](#)

 **Announcements** 24 December 2025  
[The PPH program between the Japan Patent Office and the Saudi Authority for Intellectual Property will be implemented indefinitely starting in January 2026, allowing for PCT-PPH requests to the Japan Patent Office](#)

 **Announcements** 24 December 2025  
[The PPH pilot program between the Japan Patent Office and the Ministry of Industry and Commerce of the Kingdom of Bahrain will start in January 2026](#)

 **Announcements** 24 December 2025  
[The PPH pilot program between the Japan Patent Office and the African Regional Intellectual Property Organization will start in January 2026](#)

 **Announcements** 24 December 2025  
[The 6th JPO-DPIIT Review Meeting Held](#)

[More News](#) [More Press Releases](#)

## The JPO Quick Reads

 **Announcements** 5 January 2026  
[The JPO Quick Reads : Hague Agreement 100th Anniversary Symposium \(External Link\) !\[\]\(f8c2e43049f01ccc123346d9b5d06085\_img.jpg\)](#)

 **Announcements** 22 December 2025  
[The JPO Quick Reads : The 11th Annual Meeting of the Industrial Design 5 Forum \(IDS\) \(External Link\) !\[\]\(5b91beb1aea4ad49409a9e7f702357c4\_img.jpg\)](#)

 **Announcements** 15 December 2025  
[The JPO Quick Reads : The 14th Annual Meeting of the Five Trademark Offices \(TM5\) \(External Link\) !\[\]\(fa1bcf8c16960d75a2e14656d54c10f6\_img.jpg\)](#)

 **Announcements** 8 December 2025  
[The JPO Quick Reads : Examination Practice Training Program for Laos \(External Link\) !\[\]\(9f4977083e269ddce6060f83ba77c78d\_img.jpg\)](#)

[More JPO Quick Reads](#)

## Related Information



[AI-related Inventions](#)



[Standard Essential Patents Portal Site](#)



[Intellectual Property Arbitration Portal Site](#)



[Examination Quality Management of the JPO](#)



[Trademark Channel](#)



[National Center for Industrial Property Information and Training \(External Link\)](#)



[Website of METI Ministry of Economy, Trade and Industry \(External Link\)](#)

[Other Related Information](#)

## PR & Social Media

### [JPO Official Social Media List](#)

- [JPO Official X \(English Version\) \(External Link\)](#)
- [JPO Channel \(External Link\)](#)
- [JPO Official LinkedIn \(External Link\)](#)
- [JPO Official Social Media List](#)
- [JPO's Video](#)
- [Public Comments](#)

[The JPO Quick Reads](#) →

[The JPO Key Features](#) →



Japan Patent Office (JCN 2000012090003)  
Address: 3-4-3 Kasumigaseki, Chiyoda-ku  
Tokyo 100-8915, Japan

\*note: in this site, JCN, abbreviation of Japan Corporate Number, means numbers to identify a specific individual in the administrative procedure\*

[Links](#)  
[Site Map](#)  
[Privacy Policy](#)  
[About JPO Website](#)

[Opinion Box](#)  
[How to Use JPO Website](#)  
[Access](#)

[JPO Official Social Media List](#)

Copyright © Japan Patent office.  
All Rights Reserved.

図表 71 トップページ (英語) スマートフォン画面詳細



J-PlatPat (External Link) [↗](#)



FAQ for Searching



Schedule of Fees




Step-by-step Guide (IP Professionals)




## Guide by User Type






SMEs & Individuals [→](#)






Universities/Research Institutes [→](#)



Enterprises [→](#)

### Purpose-Specific Guide

- 
Application [▼](#)
- 
How to Search [▼](#)
- 
Learn about Laws and Regulations [▼](#)

### News and Press Releases

- 
Announcements  
 25 December 2025  
[Preliminary Statistical Data on Applications, Requests and Registrations \(Data for October 2025\)](#)
- 
Announcements  
 24 December 2025

 [The PPH program between the Japan Patent Office and the Saudi Authority for Intellectual Property will be implemented indefinitely starting in January 2026, allowing for PCT-PPH requests to the Japan Patent Office](#)

---

 **Announcements**  
24 December 2025  
[The PPH pilot program between the Japan Patent Office and the Ministry of Industry and Commerce of the Kingdom of Bahrain will start in January 2026](#)


 **Announcements**  
24 December 2025  
[The PPH pilot program between the Japan Patent Office and the African Regional Intellectual Property Organization will start in January 2026](#)

 **Announcements**  
24 December 2025  
[The 6th JPO-DPIIT Review Meeting Held](#)


[More News](#)

[More Press Releases](#)


## The JPO Quick Reads

 **Announcements**  
5 January 2026  
[The JPO Quick Reads : Hague Agreement 100th Anniversary Symposium \(External Link\)](#) [↗](#)


---

 **Announcements**  
22 December 2025  
[The JPO Quick Reads : The 11th Annual Meeting of the Industrial Design 5 Forum \(ID5\) \(External Link\)](#) [↗](#)

---

 **Announcements**  
15 December 2025  
[The JPO Quick Reads : The 14th Annual Meeting of the Five Trademark Offices \(TM5\) \(External Link\)](#) [↗](#)

---

 **Announcements**  
8 December 2025  
[The JPO Quick Reads : Examination Practice Training Program for Laos \(External Link\)](#) [↗](#)

[More JPO Quick Reads](#)

## Related Information

 [AI-related Inventions](#)

 [Standard Essential Patents Portal Site](#)



[Intellectual Property Arbitration Portal Site](#)



[Examination Quality Management of the JPO](#)



[Trademark Channel](#)



[National Center for Industrial Property Information and Training \(External Link\)](#)




[Website of METI Ministry of Economy, Trade and Industry \(External Link\)](#)

[Other Related Information](#)

## PR & Social Media

### [JPO Official Social Media List](#)

- [JPO Official X \(English Version\) \(External Link\)](#)
- [JPO Channel \(External Link\)](#)
- [JPO Official LinkedIn \(External Link\)](#)
- [JPO Official Social Media List](#)
- [JPO's Video](#)
- [Public Comments](#)

[The JPO Quick Reads](#) 

[The JPO Key Features](#) 



Japan Patent Office (JCN 2000012090003)  
 Address: 3-4-3 Kasumigaseki, Chiyoda-ku  
 Tokyo 100-8915, Japan

"Note: In this site, JCN, abbreviation of Japan Corporate Number, means numbers to identify a specific individual in the administrative procedure"

[Links](#)

[Opinion Box](#)


[Site Map](#)

[How to Use JPO Website](#)

[Privacy Policy](#)

[Access](#)

[About JPO Website](#)

 [JPO Official Social Media List](#)

Copyright © Japan Patent office. All Rights Reserved.

#### 第4節. 納入サイトのUX評価

本トップページは、特許庁という専門性の高い機関のウェブサイトとして、膨大な情報へのアクセシビリティを確保しつつ、構造を体系的に整理しようとする意図を明確にした。情報設計に注力し、ユーザーフレンドリーなUXデザインを実現した。

具体的には、「はじめての方」「ユーザー別ガイド」「目的別ガイド」といった利用者視点の動線を充実させ、多様なユーザー層へ配慮した。また、「制度から探す」「行政サービス・ピックアップ」など、明確なセクション分けを行うことで、目的の情報へ迷わず到達できる構造とした。加えて、視覚的な一貫性が保たれたナビゲーションや検索機能を適切に配置し、直感的で使いやすいサイトにした。

図表 72 UX評価

調査要素	調査項目	評価
視覚表現	デザインの一貫性	ページ全体で、青、白、黒（または濃いグレー）を基調とした統一感のあるカラーパレットが使用されている。アイコンのスタイル、カード形式のコンポーネント、ボタンの形状なども一貫しており、視覚的な連続性が保たれている。
レイアウト	リキッドレイアウト	基準を満たす
レイアウト	グリッド	基準を満たす。
情報量	幅が 40 文字を超えない	基準を満たさない。 (注記) 「はじめての方」や「よくある質問」の箇条書き項目など、多くのリスト形式のテキストは短く、視覚的に読みやすい文字数に収めている。一方で、「新着情報・報道発表」や「イベント情報」のタイトルなど、一部の長い見出しとなる文書については、正確性や視覚的な読みやすさを重視し、1行の文字数が40文字を超えることを許容した。
情報量	均等割りの禁止	基準を満たす。
情報量	行送り 1.5 倍	基準を満たす。
情報量	段落間隔 1.5 倍	基準を満たす。
情報量	テキスト 200%拡大	基準を満たす。
文字サイズ	3.49mm 以上	基準を満たす。
コントラスト	コントラスト比 4.5:1 以上	基準を満たす。
アクセシビリティ	アクセシビリティ	基準を満たす。
アクセシビリティ	alt 属性	基準を満たす。

情報の見せ方・フロー	視線の動き	ページは上部の主要なナビゲーションから始まり、重要な告知、そして「はじめての方」「よくある質問」といった主要な入り口が配置されている。その後、「制度から探す」といったカテゴリーに視線が自然に誘導され、全体的に論理的で構造化された視線の流れが設計されている。
情報の見せ方・フロー	ナビゲーション	ページ上部にグローバルナビゲーションが配置されており、主要なカテゴリー（「お知らせ」「手続」など）が明確に提示されている。また、「ユーザー別ガイド」や「目的別ガイド」のように、ユーザーのニーズに合わせたナビゲーションも提供されており、情報へのアクセスが多角的に考慮されている。
情報の見せ方・フロー	情報の階層構造	見出し（例：「制度から探す」）、サブ見出し、箇条書きリスト、カード形式のコンポーネントを効果的に使用し、情報の重要度や関連性に応じた明確な階層構造が確立されている。これにより、ユーザーはページ全体の内容を素早く把握し、必要な情報にたどり着きやすくなっている。
情報の見せ方・フロー	視覚的ヒント	各カテゴリーを象徴するアイコン（例：「特許・実用新案」の電球アイコン）や、リンクや展開を示す矢印が効果的に使用されている。また、セクションごとの背景色の違いや、ボタンの視覚的な強調も、ユーザーの行動や注意を促す視覚的ヒントとして機能している。
情報の見せ方・フロー	ボタン配置	「一覧を見る」ボタンや、各カードの右下にある矢印アイコンなど、アクションを促すボタンやリンクは、一貫した位置に配置されており、ユーザーが次取るべき行動を直感的に理解できるようになっている。検索バーも目立つ位置にあり、主要な機能へのアクセスが容易である。

## 第5節. アクセシビリティ

### 1. 概要

トップページの制作にあたって、WCAG 2.2 および JIS X 8341-3:2016 の適合レベル AA を満たすことを目標とし、設計・実装および検証を行った。

### 2. 適用規格及び検証基準

トップページの検証にあたっては、最新の国際規格である WCAG 2.2 に基づき検査を実施した。これは、JIS X 8341-3:2016 の内容を包含しつつ、最新の利用環境に合わせて拡張された基準であり、将来的な本構築工程における品質担保および多様なデバイス環境への対応を目的としたものである。

### 3. 検証結果

検証の結果、トップページは WCAG 2.2 および JIS X 8341-3:2016 の適合レベル AA が求めるすべての達成基準を満たしている。チェックリストにおいて、対象となるすべての項目で「適合 (○)」であることを確認しており、アクセシビリティ上の不適合箇所は存在しない。結果の詳細は以下の通りである。

図表 73 アクセシビリティ達成基準リスト

達成基準	適合レベル	適用	結果	注記
1.1.1: 非テキストコンテンツ	A	○	○	
1.2.1: 音声のみ及び映像のみ (収録済)	A	-	○	該当コンテンツ無し
1.2.2: キャプション (収録済)	A	-	○	該当コンテンツ無し
1.2.3: 音声解説、又はメディアに対する代替 (収録済)	A	-	○	該当コンテンツ無し
1.2.4: キャプション (ライブ)	AA	-	○	該当コンテンツ無し
1.2.5: 音声解説 (収録済)	AA	-	○	該当コンテンツ無し
1.3.1: 情報及び関係性	A	○	○	
1.3.2: 意味のある順序	A	○	○	
1.3.3: 感覚的な特徴	A	○	○	
1.3.4: 表示の向き	AA	○	○	
1.3.5: 入力目的の特定	AA	-	○	該当コンテンツ無し
1.4.1: 色の使用	A	○	○	
1.4.2: 音声の制御	A	-	○	該当コンテンツ無し
1.4.3: コントラスト (最低限)	AA	○	○	
1.4.4: テキストのサイズ変更	AA	○	○	
1.4.5: 文字画像	AA	○	○	
1.4.10: リフロー	AA	○	○	
1.4.11: 非テキストのコントラスト	AA	○	○	
1.4.12: テキストの間隔	AA	○	○	
1.4.13: ホバー又はフォーカスで表示されるコンテンツ	AA	○	○	
2.1.1: キーボード	A	○	○	
2.1.2: キーボードトラップなし	A	○	○	
2.1.4: 文字キーのショートカット	A	-	○	該当コンテンツ無し
2.2.1: タイミング調整可能	A	-	○	該当コンテンツ無し
2.2.2: 一時停止、停止、非表示	A	-	○	該当コンテンツ無し
2.3.1: 3回の閃光、又は閾値以下	A	○	○	
2.4.1: ブロックスキップ	A	○	○	
2.4.2: ページタイトル	A	○	○	

2.4.3: フォーカス順序	A	○	○	
2.4.4: リンクの目的 (コンテキスト内)	A	○	○	
2.4.5: 複数の手段	AA	○	○	
2.4.6: 見出し及びラベル	AA	○	○	
2.4.7: フォーカスの可視化	AA	○	○	
2.4.11: 隠されないフォーカス (最低限)	AA	○	○	
2.5.1: ポインタのジェスチャ	A	-	○	該当コンテンツ無し
2.5.2: ポインタのキャンセル	A	○	○	
2.5.3: 名前 (name) のラベル	A	○	○	
2.5.4: 動きによる起動	A	-	○	該当コンテンツ無し
2.5.7: ドラッグ動作	AA	○	○	
2.5.8: ターゲットのサイズ (最低限)	AA	○	○	
3.1.1: ページの言語	A	○	○	
3.1.2: 一部分の言語	AA	-	○	該当コンテンツ無し
3.2.1: フォーカス時	A	○	○	
3.2.2: 入力時	A	-	○	該当コンテンツ無し
3.2.3: 一貫したナビゲーション	AA	○	○	
3.2.4: 一貫した識別性	AA	○	○	
3.2.6: 一貫したヘルプ	AA	-	○	該当コンテンツ無し
3.3.1: エラーの特定	A	-	○	該当コンテンツ無し
3.3.2: ラベル又は説明	A	-	○	該当コンテンツ無し
3.3.3: エラー修正の提案	AA	-	○	該当コンテンツ無し
3.3.4: 誤り防止 (法的、金融、データ)	AA	-	○	該当コンテンツ無し
3.3.7: 冗長な入力項目	A	-	○	該当コンテンツ無し
3.3.8: アクセシブルな認証 (最低限)	AA	-	○	該当コンテンツ無し
4.1.2: 名前 (name) ・ 役割 (role) ・ 値 (value)	A	○	○	
4.1.3: ステータスメッセージ	AA	-	○	該当コンテンツ無し

(注釈)

- ・ 「適用」の欄は、適用する達成基準を「○」、適用しない達成基準を「-」とする。
- ・ 「結果」の欄は、検証の結果、適合している達成基準を「○」、適合していない達成基準を「×」とする。

## 第6節. 今後の運用に向けた、ウェブデザインの改善提案

### 1. 各セクションの項目数について

納入したトップページでは、第二階層以降との関連性を重視した結果、各セクションの項目数が最大13個の箇所がある。一方で、認知心理学における「ミラーの法則」では、人間が短期記憶に保持できる数は「7 (±2)」とされている。認知負荷の観点からは、項目数を上限9個以内に抑えることが望ましい。したがって今後の運用においては、階層構造の見直し等を行い、各セクションの項目数を削減して

いくことを推奨する。

## 2. 開閉式のセクションメニューと項目数について

納入したトップページでは、メニューに開閉式（アコーディオン形式）を採用している。これは、全項目を最初から表示することによるページの長大化と、それに伴うスクロール量の増大を防ぐための措置である。一方で、開閉式はユーザーがクリックしない限り中身を確認できないため、情報の見落としが発生するリスクも伴う。そのため、今後の運用で項目数が削減された際には、開閉式から「常時表示（一覧表示）」形式へ変更し、一見して内容が把握できるように改修することを推奨する。

## 第3部. 特許庁ホームページの第二階層以下のリニューアルに向けた準備

### 第1章 既存ホームページの問題点の把握

#### 第1節. 調査対象ページ

第二階層以下は共通 CSS によって、フォントサイズや余白などが統一されており、複数のページが同等のデザインになっていることから、第二階層以下のウェブサイトからひとつのページを選択して評価した。対象ページを「出願の手続

<[https://www.jpo.go.jp/system/laws/rule/guideline/syutugan\\_tetuzuki.html](https://www.jpo.go.jp/system/laws/rule/guideline/syutugan_tetuzuki.html)> 」とした。

図表 74 評価対象ページ

The screenshot shows the JPO website interface. At the top, there are utility links for font size, language (English), and a search bar. The main navigation bar includes 'ホーム', 'お知らせ', '制度・手続', '支援情報・活用事例', '資料・統計', '特許庁について', and 'お問合せ Q&A'. The '出願の手続' link is highlighted in blue. Below the navigation, a breadcrumb trail reads 'ホーム> 制度・手続> 法令・施策> 法令・基準> 基準・便覧・ガイドライン> 出願の手続'. The main content area is titled '出願の手続' and contains a note that the content is available as a PDF. A list of links is provided for downloading PDFs, including '出願の手続 (令和7年度版) 一括ダウンロード (PDF: 13.610KB)'. Below this, there is a '目次及び概要' (Table of Contents and Summary) section with links to '目次 (PDF: 331KB)', '出願から権利消滅まで (PDF: 525KB)', and '電子出願の概要 (PDF: 459KB)'. The '目次' link is expanded to show a list of sections: '第一節 出願の事前手続', '第二節 申請人登録に関する手続 (PDF: 489KB)', '第三節 オンラインシステムを使用して行う手続 (PDF: 476KB)', '第四節 書面による手続の特例の定め (PDF: 467KB)', '第五節 包括委任状 (PDF: 488KB)', '第六節 予約による手数料及び特許料等の納付 (PDF: 575KB)', '第七節 現金納付制度 (電子現金納付を含む) (PDF: 2.051KB)', '第八節 口座振替納付制度 (PDF: 902KB)', '第九節 指定立替納付制度 (クレジットカードによる納付) (PDF: 842KB)', and '第十節 識別番号付身請求書、氏名(名称)変更届等の却下 (PDF: 446KB)'.

出典：特許庁 ([https://www.jpo.go.jp/system/laws/rule/guideline/syutugan\\_tetuzuki.html](https://www.jpo.go.jp/system/laws/rule/guideline/syutugan_tetuzuki.html)) 調査日 2026年2月12日

#### 第2節. 問題点の整理

第二階層以下のページでは、情報量の過多や階層構造の複雑化によって、利用者が目的情報へ円滑にアクセスできない点が顕著である。PDFや添付ファイルによる更新が主流となっているため、最新情報の把握やウェブ上での閲覧が困難であり、パンくずリスト等のナビゲーションも混乱を招く要因となっている。加えて、モバイル対応の遅れや多言語対応における構造的な相違が、利用者の利便性を損な

っている。さらに部署間連携など、運用面での課題も顕在化している。また、知財になじみのない一般の方に向けても、ウェブサイトとしての見やすさや分かり易さを改善が課題として想定される。第1部、第4章、第2節で挙げた9つの課題の詳細について明らかにした。

図表 75 第二階層以下の問題点と詳細

番号	問題点	詳細
1	サイト構造が広範かつ階層が深く、目的情報への到達が困難である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>グローバルナビゲーションのカテゴリ設計が組織内の都合や組織図を優先して行われた結果、カテゴリの粒度に不整合が生じている。その影響で一部カテゴリ（「制度・手続」など）にコンテンツが過度に集中し、階層が深くなり、利用者にとって情報構造が分かりづらく、目的情報への到達性が低下している。</li> </ul>
2	情報整理・優先順位付けが不十分であり、重要情報が埋もれやすい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユーザー視点の情報配置と管理側の都合による情報配置が混在しており、誰にとっての情報なのか不明確になりやすく、重要情報が埋もれやすい状況にある。</li> <li>日々の運用において、各部署からの掲載申請に基づく「特許庁（の各部門）が発信したい情報」が優先・強調される傾向があり、その結果、「訪問者が解決したい課題」を起点とした情報整理が後回しになっている。</li> </ul>
3	サイトの階層構造が複雑化し、パンくずリストが分かりづらくなっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>クリック数の最小化を過度に優先した結果、ページの至るところにショートカットリンクが乱立し、情報導線が複雑化して利用者が迷いやすく、目的情報への到達性が低下している。</li> <li>多軸分類により同一コンテンツが複数カテゴリに重複配置され、正規の保管場所（正規 URL）が曖昧化している。その結果、パンくずやサイトマップの整合性が損なわれている。</li> </ul>
4	PDF や添付ファイルによる情報更新で、管理や更新が煩雑になっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>PDF に依存した情報公開のため、サイト内検索や外部検索で十分にヒットせず、訪問者が必要な情報に迅速にアクセスしづらい。</li> <li>PDF 改版のたびにファイル再生成・差し替え・リンク修正が必要となりデータ管理が煩雑になる。</li> <li>ファイル名や版数、更新日の統一が難しく、最新版の所在が不明瞭になり、旧版の残存による誤参照リスクが高まる。</li> </ul>
5	特許庁内で複数課にまたがる転送が発生し、問い合わせ対応が煩雑化している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者が参照する各コンテンツに複数の問い合わせ先が併記されているため、初動の窓口選択が困難になり、誤った課への連絡や一次受け先の部課での判断保</li> </ul>

		<p>留が増加している。結果として、庁内での転送が複数課にまたがり、対応が煩雑化・長期化している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問い合わせ先には外線電話番号、内線番号、問い合わせフォームが混在しており、利用者が適切な窓口を選択しづらい。</li> </ul>
6	自己解決支援（FAQ等）の充実が不足している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ よくある質問が一か所に集約されておらず、検索性が不十分で、必要な情報を探しづらい。</li> <li>・ FAQの内容が利用者のニーズを十分に反映していない。</li> </ul>
7	部署ごとの情報が縦割りで一元管理されていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一部の情報が更新されないまま掲載されているため、情報整理が十分に進んでいない部分が見受けられる。</li> <li>・ 情報の掲載形式がHTMLやPDFなど統一されていないため、運用ルールが明確になっていない。</li> </ul>
8	スマートフォン等多端末対応が不十分であり、レイアウトの崩れ等が発生している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一部でレイアウトの崩れや、文章が見切れる、改行の不自然さが発生している。</li> </ul>
9	日英両言語における階層構造の違いにより、情報の比較・連携が困難である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本語ページから英語ページに切り替えた際に、対応する英語ページがない場合はトップページに戻ってしまう。</li> <li>・ 日英両言語における階層構造の違いがあるため、情報の比較や連携が難しい。</li> </ul>

### 第3節. 特許庁の第二階層以下のページユーザーの体験（UX）の評価アクセシビリティ

#### 1. 評価基準

ウェブサイトにおけるユーザー体験（UX）を評価軸とし、トップページと同一基準に基づき、下記項目に分類の上、第二階層以下の特定ページを評価したものである。

#### 2. 調査結果

調査結果は以下の通りである。

図表 76 調査結果

調査要素	調査項目	評価
視覚表現	デザインの一貫性	青を基調として、色数を減らした官公庁に相応しい落ち着いた色彩設計で信頼性を視覚的に表現している。
レイアウト	リキッドレイアウト	基準を満たす。
レイアウト	グリッド	基準を満たさない。

調査要素	調査項目	評価
情報量	幅が 40 文字を超えない	基準を満たさない。
情報量	均等割りの禁止	基準を満たす。
情報量	行送り 1.5 倍	基準を満たす。
情報量	段落間隔 1.5 倍	基準を満たさない。
情報量	テキスト 200%拡大	基準を満たさない。
文字サイズ	3.49mm 以上	基準を満たさない。
コントラスト	コントラスト比 4.5:1 以上	基準を満たす。
アクセシビリティ	色覚多様性への配慮	基準を満たす。
アクセシビリティ	alt 属性	基準を満たす。
情報の見せ方・フロー	視線の動き	テキスト情報が主体のため、上から下に自然に視線を誘導している。
情報の見せ方・フロー	ナビゲーション	ページ上部にパンくずリストを配置し、カテゴリーも明瞭で一貫性が保たれている。
情報の見せ方・フロー	情報の階層構造	見出し・サブ見出し・本文の段階が明確で、情報が階層的に整理されている。ただし、見出しと本文の文字サイズ差が小さく、文字自体も小さいため、見づらい。
情報の見せ方・フロー	視覚的ヒント	h1 から h4 まで、アイコンや色の強調、区切り線が効果的に用いられ、重要情報やリンクが視覚的に識別しやすい。
情報の見せ方・フロー	ボタン配置	テキスト情報が主体のため、ボタンがない。ボタンを配置し、視線誘導する余地はある。

#### 第4節. アクセシビリティ

##### 1. 適用規格及び検証基準

トップページと同様、日本産業規格 JIS X 8341-3:2016 および最新の国際規格である WCAG 2.2 (適合レベル AA) を基準とし、既存の第二階層以下ウェブサイトページに関するアクセシビリティを検証した。

##### 2. 検証結果総括

JIS X 8341-3:2016 の適合レベル A (および WCAG 2.2) の基準を一部満たしていないことが判明したため、検証の結果、当該ページは適合レベル A 一部準拠である。構造化、視覚設計、およびインタラクティブ要素の役割設定において、複数の課題が確認された。

図表 77 アクセシビリティ達成基準リスト

達成基準	適合レベル	適用	結果	注記
1.1.1: 非テキストコンテンツ	A	○	○	
1.2.1: 音声のみ及び映像のみ (収録済)	A	-	○	該当コンテンツ無し
1.2.2: キャプション (収録済)	A	-	○	該当コンテンツ無し
1.2.3: 音声解説、又はメディアに対する代替 (収録済)	A	-	○	該当コンテンツ無し
1.2.4: キャプション (ライブ)	AA	-	○	該当コンテンツ無し
1.2.5: 音声解説 (収録済)	AA	-	○	該当コンテンツ無し
1.3.1: 情報及び関係性	A	○	×	
1.3.2: 意味のある順序	A	○	○	
1.3.3: 感覚的な特徴	A	-	○	該当コンテンツ無し
1.3.4: 表示の向き	AA	○	○	
1.3.5: 入力目的の特定	AA	-	○	該当コンテンツ無し
1.4.1: 色の使用	A	○	○	
1.4.2: 音声の制御	A	-	○	該当コンテンツ無し
1.4.3: コントラスト (最低限)	AA	○	×	
1.4.4: テキストのサイズ変更	AA	○	○	
1.4.5: 文字画像	AA	○	×	
1.4.10: リフロー	AA	○	○	
1.4.11: 非テキストのコントラスト	AA	○	○	
1.4.12: テキストの間隔	AA	○	○	
1.4.13: ホバー又はフォーカスで表示されるコンテンツ	AA	○	○	
2.1.1: キーボード	A	○	○	
2.1.2: キーボードトラップなし	A	○	○	
2.1.4: 文字キーのショートカット	A	-	○	該当コンテンツ無し
2.2.1: タイミング調整可能	A	-	○	該当コンテンツ無し
2.2.2: 一時停止、停止、非表示	A	-	○	該当コンテンツ無し
2.3.1: 3回の閃光、又は閾値以下	A	○	○	
2.4.1: ブロックスキップ	A	○	○	
2.4.2: ページタイトル	A	○	○	
2.4.3: フォーカス順序	A	○	×	
2.4.4: リンクの目的 (コンテキスト内)	A	○	○	
2.4.5: 複数の手段	AA	○	○	
2.4.6: 見出し及びラベル	AA	○	○	
2.4.7: フォーカスの可視化	AA	○	○	
2.4.11: 隠されないフォーカス (最低限)	AA	○	○	

2.5.1: ポインタのジェスチャ	A	-	○	該当コンテンツ無し
2.5.2: ポインタのキャンセル	A	○	×	
2.5.3: 名前 (name) のラベル	A	○	○	
2.5.4: 動きによる起動	A	-	○	該当コンテンツ無し
2.5.7: ドラッグ動作	AA	-	○	該当コンテンツ無し
2.5.8: ターゲットのサイズ (最低限)	AA	○	○	
3.1.1: ページの言語	A	○	○	
3.1.2: 一部分の言語	AA	○	○	該当コンテンツ無し
3.2.1: フォーカス時	A	○	○	
3.2.2: 入力時	A	-	○	該当コンテンツ無し
3.2.3: 一貫したナビゲーション	AA	○	○	
3.2.4: 一貫した識別性	AA	○	○	
3.2.6: 一貫したヘルプ	AA	-	○	該当コンテンツ無し
3.3.1: エラーの特定	A	-	○	該当コンテンツ無し
3.3.2: ラベル又は説明	A	-	○	該当コンテンツ無し
3.3.3: エラー修正の提案	AA	-	○	該当コンテンツ無し
3.3.4: 誤り防止 (法的、金融、データ)	AA	-	○	該当コンテンツ無し
3.3.7: 冗長な入力項目	A	-	○	該当コンテンツ無し
3.3.8: アクセシブルな認証 (最低限)	AA	-	○	該当コンテンツ無し
4.1.2: 名前 (name) ・ 役割 (role) ・ 値 (value)	A	○	×	
4.1.3: ステータスメッセージ	AA	-	○	該当コンテンツ無し

(注釈)

- ・ 「適用」の欄は、適用する達成基準を「○」、適用しない達成基準を「-」とする。
- ・ 「結果」の欄は、検証の結果、適合している達成基準を「○」、適合していない達成基準を「×」とする。

### 3. 主な課題点と分析

#### (1) 情報構造と関係性 (達成基準 1.3.1 / 4.1.2)

「お問い合わせ」セクション等の重要な見出しが、適切な見出し要素 (h2 等) ではなく段落要素 (p) でマークアップされており、スクリーンリーダー等の支援技術利用者が構造を把握するのが困難な状態にある。また、スマートフォン表示時のメニューや検索の開閉ボタンに適切な「ボタン」の役割が与えられておらず、役割設定 (role) が不適切である。

#### (2) 視覚的配慮 (達成基準 1.4.3 / 1.4.5)

「お問い合わせフォーム」ボタン等において、背景色とテキストのコントラスト比が 4.5:1 を下回っており、視認性に課題がある。また、文字サイズの変更ボタン等に「文字画像」が多用されており、最新のウェブ設計において推奨されるテキストベースの実装 (CSS による装飾) への移行が必要である。

(3) キーボード操作（達成基準 2.4.3）

スマートフォン表示時、バーガーメニュー展開後に **Tab** キーを押下すると、メニュー内のリンク要素を飛び越えて「検索窓を開く」ボタンにフォーカスが移動してしまう。メニューが開いている状態では、メニュー内コンテンツへ論理的に誘導する制御が必要である。

## 第2章 特許庁ホームページのあり方検討

### 第1節. 解決手段の整理

第二階層以下のページでウェブページの改訂によって解決できるものとそうでないものを分類し、優先順位を定めた。Web デザイン (IA/UX/UI/検索設計/フロント実装) で主に解決できる内容を優先度が高く、運用・体制・コンテンツ/システム改革が必須なものを優先度が低いとした。

図表 78 課題解決の優先度

優先度	カテゴリー	問題点番号
高い	Web デザイン (IA/UX/UI/検索設計/フロント実装) で主に解決できる。	① ③ ⑧ (② ⑥) ※②と⑥は Web デザインに加え、コンテンツと運用体制の見直しを推奨。
低い	デザインだけでは不十分で、運用・体制・コンテンツ/システム改革が必須。	④ ⑤ ⑦ ⑨

### 第2節. あり方の検討

企業支援情報の発信に関する現在のウェブサイトデザインのトレンド・ベストプラクティスに加え、当社が昨年度受託した「令和6年度産業財産権制度各国比較調査研究等事業『主要国、機関における知的財産制度』」の研究報告書より、主要国の階層構造を整理し、第二階層以下のあり方を検討した。

#### 1. 問題点に対する解決案の方向性

図表 79 課題解決の詳細

番号	問題点	詳細
1	サイト構造が広範かつ階層が深く、目的情報への到達が困難である。	【優先度 高い】 ・ 特許庁および関連サイトとのリンク切れを防止し、第二階層以下のページとの整合性を保つため、現行のサイト構造を基本として維持する。 ・ 一部の情報の階層については、カテゴリーの入れ替えを行う。
2	情報整理・優先順位付けが不十分であり、重要情報が埋もれやすい。	【優先度 高い】 ・ タイトル (H1) を最上部に、続いて公開日、次に概要をコンテンツページ上部に掲示する。以降は「見出し (H2~H4)」「本文 (p)」の順に記事を記述する。

		<ul style="list-style-type: none"> <li>コンテンツページ全体について掲載ルールを整備し、告知の仕方や情報の配置、優先度の設定などのルールを統一。ページごとのバラつきをなくし、ユーザーがどのページでも一貫したルールで情報を見つけやすくする。</li> </ul>
3	サイトの階層構造が複雑化し、パンくずリストが分かりづらくなっている。	<p>【優先度 高い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>パンくずは組織内都合ではなく「利用者の訪問目的」基準で構成する。パンくずの深さは第三階層から第五階層までを目指す。</li> <li>ひとつのコンテンツが複数の切り口に同時に属する状態である多軸分類を作らず、パンくずは主パスのみに限定する。</li> </ul>
4	PDFや添付ファイルによる情報更新で、管理や更新が煩雑になっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>HTMLファースト（Webを正本）に移行し、必要時のみPDFを提供する。ファイルはサイズ・更新日・版数を明示することで、情報の新古を明らかにする。</li> </ul>
5	特許庁内で複数課にまたがる転送が発生し、問い合わせ対応が煩雑化している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>問い合わせ前の自己解決フローとして、「よくある質問」のコンテンツを整備する。</li> <li>電話対応の前に、メール問合せを推奨し、必要情報の取得と、回答時間の目安を明示する。</li> </ul>
6	自己解決支援（FAQ等）の充実が不足している。	<p>【優先度 高い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>サイト内で「よくある質問」を検索できるように内容を整備する。</li> <li>構造化データ（FAQ schema など）で外部検索からも直接回答を露出できるようにする。</li> </ul>
7	部署ごとの情報が縦割りで一元管理されていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織全体で、ページデザイン、表記ルール、情報分類ルール、文章テンプレートを標準化し、職員が再利用できるように一元管理する。</li> </ul>
8	スマートフォン等多端末対応が不十分であり、レイアウトの崩れ等が発生している。	<p>【優先度 高い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>モバイルファーストの方針に基づき、レスポンシブデザインを採用する。</li> <li>最重要は常時アクセス可能に：底部ナビ（3-5項目）や固定ヘッダーで主要タスクを露出。</li> </ul>
9	日英両言語における階層構造の違いにより、情報の比較・連携が困難である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>言語切り替え時には、グローバルナビ／パンくずリストの項目対応表に基づき、可能な限り同一の情報設計（IA）を維持した上で、一対一に対応するページへ遷移する。切り替え後もタブやフィルターなどのコンテキストを保持し、対応ページがない場合は関連性の高い代替ページを提示する。</li> </ul>

## 2. アクセシビリティ対応

WCAG2.2 および JIS X 8341-3:2016 に基づいた現状分析の結果、視認性や操作性の向上に向けた複数の改善項目が抽出された。それらの課題を解消し、身体的条件や利用環境に左右されず、すべてのユーザーが円滑に情報を取得・利用できる環境を整備するための具体的な改善策を提示した。

図表 80 アクセシビリティに関する改善

達成基準				
番号	名前 (自動)	該当箇所	課題点	改善案
1.3.1	情報及び関係性	お問い合わせ見出し <p>お問い合わせ</p>	見出しレベルが設定されていないため、構造を理解する事が難しい	h2 要素を用いる * 表形式では無い ため、可能であれば table 要素ではなく、 ul 要素等を用いる
1.4.3	コントラスト (最低限)	お問い合わせフォームボタン 	ボタン背景色とテキストのコントラスト比が不足している (3.7 : 1)	コントラスト比が 4.5:1 以上になるように色を調整する
1.4.5	文字画像	文字の大きさ切り替えボタン   	テキストが画像化されているため、「文字の大きさ変更機能」で拡大することが出来ない	テキストを用いて視覚的提示は CSS で調整する

1.4.5	文字画像	用語解説リンク <img src="/shared/images/head er/hnavi_dictionary_btn. png" alt="用語解説" width="110" height="25">	テキストが画像化され ているため、「文字の大 きさ変更機能」で拡大す ることが出来ない	テキストを用いて視 覚的提示は CSS で調 整する
1.4.5	文字画像	お問い合わせフォームリ ンク <img alt="お問い合わせフ ォーム" width="180" height="30" src="/shared/images/mai n/inquiry/inquiry_btn.gif" class="inquiry_btn">	テキストが画像化され ているため、「文字の大 きさ変更機能」で拡大す ることが出来ない	テキストを用いて視 覚的提示は CSS で調 整する
1.4.5	文字画像	グローバルメニュー開閉 ボタン <a id="home" href="/index.html"></a> <a id="oshirase" href="javascript:void(0);" ></a> <a id="seido" href="javascript:void(0);" ></a> <a id="sesaku" href="javascript:void(0);" ></a> <a id="shiryoku" href="javascript:void(0);" ></a> <a id="shoukai" href="javascript:void(0);" ></a> <a id="toiawase" href="javascript:void(0);" ></a>	テキストが画像化され ているため、「文字の大 きさ変更機能」で拡大す ることが出来ない	テキストを用いて視 覚的提示は CSS で調 整する
2.4.3	フォーカス 順序	SP 時、バーゲームニュー 開閉ボタン	キーボード操作時、バー ゲームニューを開いた	バーゲームニューを 開いた状態では、「バ

		<pre>&lt;a href="javascript:void(0);" &gt;&lt;span&gt; メ ニ ュ ー &lt;/span&gt;&lt;/a&gt;</pre>	<p>後、Tab キーを押すとフォーカスがバーゲームメニュー内のリンク要素ではなく、「検索窓を開く」ボタンにフォーカスが移動してしまう</p>	<p>「バーゲームメニューを開くボタン」→「バーゲームメニュー内のリンク要素」の順にフォーカス順序を設定する</p>
2.5.2	ポインタのキャンセル	<p>グローバルメニュー開閉ボタン</p> <pre>&lt;a id="home" href="/index.html"&gt;&lt;/a&gt; &lt;a id="oshirase" href="javascript:void(0);" &gt;&lt;/a&gt; &lt;a id="seido" href="javascript:void(0);" &gt;&lt;/a&gt; &lt;a id="sesaku" href="javascript:void(0);" &gt;&lt;/a&gt; &lt;a id="shiryuu" href="javascript:void(0);" &gt;&lt;/a&gt; &lt;a id="shoukai" href="javascript:void(0);" &gt;&lt;/a&gt; &lt;a id="toiawase" href="javascript:void(0);" &gt;&lt;/a&gt;</pre>	<p>マウス操作で、左クリックを押した時点でグローバルメニューが開いてしまう</p>	<p>左クリックを押した後、離すまでの動作をボタンの上で行った場合にグローバルメニューを開くように調整する</p>
4.1.2	名前 (name) ・役割 (role) 及び値 (value)	<p>文字の大きさ変更ボタン</p> <pre>&lt;a href="javascript:void(0);" class="text_size_down"&gt;&lt;img src="/shared/images/header/func_txt_sml.png" alt=" 小 " width="24" height="21" class=""&gt;&lt;/a&gt;</pre>	<p>ページ中のフォントサイズを切り替える機能のはずが、リンクと設定されているため、役割設定が不適切</p>	<p>button 要素を用いる</p>

		<pre>&lt;a href="javascript:void(0);" class="text_size_normal" &gt;&lt;img src="/shared/images/header/func_txt_nml.png" alt=" 中 " width="24" height="21" class=""&gt;&lt;/a&gt;  &lt;a href="javascript:void(0);" class="text_size_up"&gt;&lt;img src="/shared/images/header/func_txt_big.png" alt=" 大 " width="24" height="21" class=""&gt;&lt;/a&gt;</pre>		
4.1.2	名前 (name) ・役割 (role) 及び値 (value)	<p>SP 時、バーガーメニュー開閉ボタン</p> <pre>&lt;a href="javascript:void(0);" &gt;&lt;span&gt; メ ニ ュ ー &lt;/span&gt;&lt;/a&gt;</pre>	バーガーメニューの開閉機能のほが、リンクと設定されているため、役割設定が不適切	button 要素を用いる *可能であれば WAI-ARIA を用いて状態を伝える
4.1.2	名前 (name) ・役割 (role) 及び値 (value)	<p>SP 時、検索開閉ボタン</p> <pre>&lt;a href="javascript:void(0);" class="active"&gt;&lt;span&gt; 検 索&lt;/span&gt;&lt;/a&gt;</pre>	検索の開閉機能のほが、リンクと設定されているため、役割設定が不適切	button 要素を用いる *可能であれば WAI-ARIA を用いて状態を伝える
4.1.2	名前 (name) ・役割 (role) 及び値 (value)	<p>SP 時、検索メニュー内の、閉じるボタン</p> <pre>&lt;a href="#tmp_wrapper"&gt;&lt;s pan&gt;閉じる&lt;/span&gt;&lt;/a&gt;</pre>	検索の閉じる機能のほが、リンクと設定されているため、役割設定が不適切	button 要素を用いる *可能であれば WAI-ARIA を用いて状態を伝える

4.1.2	名前 (name) ・役割 (role) 及び値 (value)	<p>SP 時、バーガーメニュー内のアコーディオン開閉ボタン</p> <pre>&lt;a id="oshirase" href="javascript:void(0);" &gt;お知らせ&lt;/a&gt; &lt;a id="seido" href="javascript:void(0);" &gt;制度・手続&lt;/a&gt; &lt;a id="sesaku" href="javascript:void(0);" &gt;支援情報・活用事例&lt;/a&gt; &lt;a id="shiryou" href="javascript:void(0);" &gt;資料・統計&lt;/a&gt; &lt;a id="shoukai" href="javascript:void(0);" &gt;特許庁について&lt;/a&gt; &lt;a id="toiawase" href="javascript:void(0);" &gt;お問合せ・Q&amp;A&lt;/a&gt;</pre>	アコーディオンの開閉機能のほが、リンクと設定されているため、役割設定が不適切	button 要素を用いる * 可能であれば details と summary 要素を併用するか、WAI-ARIA を用いて状態を伝える
-------	----------------------------------	--	--	--

### 3. 第二階層以降の階層について

サイト全体の情報構造を最適化するため、第二階層以下のディレクトリ構成を見直した。実施にあたっては、既存ページへの外部リンク切れを防止するため、現行のサイト構造をベースとした部分的な階層変更に留めた。

具体的には、現行の「資料・統計 (/resources)」を「データ・資料・学習」へと改称・拡充し、関連性の高い「キッズページ」等を同配下へ移設することで、ユーザーが必要な情報にたどり着きやすい導線を整備する。

図表 81 第二階層以降の階層

変更前	変更後	内容
お知らせ	お知らせ	<p>新着情報／イベント情報、広報／災害関連情報、調達・公募、パブリックコメント、          その他／一般情報、採用情報、          資格・試験：弁理士試験、特定侵害訴訟代理業務試験、          特許庁 SNS 一覧：X、JPO Channel、メルマガ          施策・取組：国際的な取組、情報公開、最近の動き、DE&amp;I</p>

制度・手続	制度・手続	初心者向けコンテンツ：はじめての方へ、初めてだったらここを読む 特実・意・商ごとに整理された権利取得までに必要な情報、 審判、手続一般、 法令・施策：基準、施策・取組、公報、外国知財権情報
支援情報・活用事例	支援情報・活用事例	特実・意・商の検索：J-PlatPat、FOPISER 一般支援情報： 特定支援情報：中小企業・大学・研究機関・スタートアップ・模倣品 対策・海外展開支援 活用事例：
資料・統計	データ・資料・学習	資料：刊行物・報告書、審議会・研究会の議事録 データ・統計：統計資料 学習：キッズページ、特許庁動画チャンネル
特許庁について	特許庁について	長官からのメッセージ、MVV、特許庁の組織 産業財産権の歴史、アクセス・入館案内、ロゴマーク 品質管理
お問合せ Q & A	お問合せ	各種相談・手続き・審査についての各お問い合わせ、よくある質問、 投書箱

#### 4. タイトル表記の一貫性

第二階層以降のサイト構造の検討に合わせ、ページタイトル、見出し、リンクテキスト、ナビゲーション項目等における表記の一貫性を確保する。

各ページには、その内容を示すページタイトルをつけることによって、利用者がコンテンツを見つけやすく、現在位置を把握しやすくする効果がある。また、タイトルがリンクやサイトマップ、検索結果として表示されたときに、アクセスしたいページであるか、より素早く確認でき、問い合わせの削減などの効果も期待できる。同一概念には同一の語・記号・日付書式を用いることを原則とすることで、サイト内の情報理解を容易にし、アクセシビリティの基準適合を支える。

類似の情報を識別しやすくするため、最も重要な情報を各見出しの先頭に配置することが望ましい。

例 × 出願：特許、 出願：実用新案

○ 特許：出願、 実用新案：出願

タイトルは長くなりすぎないように注意し、サブタイトルは利用しないことが望ましい。識別しやすさの観点からも、サブタイトルがなければ区別ができないような構成は適切とは言い難い。

端的に伝える、識別しやすくする観点から、タイトルは完結に書くことが望ましい。具体的には、句読点を含む文の形式ではなく、キーワードを含む名詞を中心としたタイトルが望ましい。また、複数の用語を並列する場合の表記は「・(中点)」を使用する。

例 × 中小企業の方に向けた情報

- 中小企業向け情報
- ×
- × 大学、研究機関の方への情報はこちら
- 大学・研究機関向け情報

外来語のカタカナ表記、送り仮名について迷う場合は、内閣告示第二号『外来語の表記』あるいは『送り仮名の付け方』を参照されたい。

## 5. 第二階層以降のコンテンツページデザイン

コンテンツページの最上部にタイトル（H1）を配置し、その直下に公開日、さらに概要を掲載する。その下に「見出し（H2～H4）」と「本文（p）」を階層的に記述する。同一コンテンツを複数の分類軸に同時に属させる多軸分類は採用せず、各コンテンツは単一の主経路のみに属させる。パンくずリストはこの主経路のみに限定して表示する。なお、主経路とは異なる代替経路は、ユーザーが識別できるように「関連情報」とは明確に区別して表示する。ユーザーが現在位置や関連ページを把握しやすくするため、パンくずリストに加え、左側に同階層のページへアクセスできるサイドメニューを設ける。これにより、ページ間の移動が容易になり、ブラウザの戻る・進む操作の頻度が減少する。

図表 82 コンテンツページの構成と関連情報セクションの配置

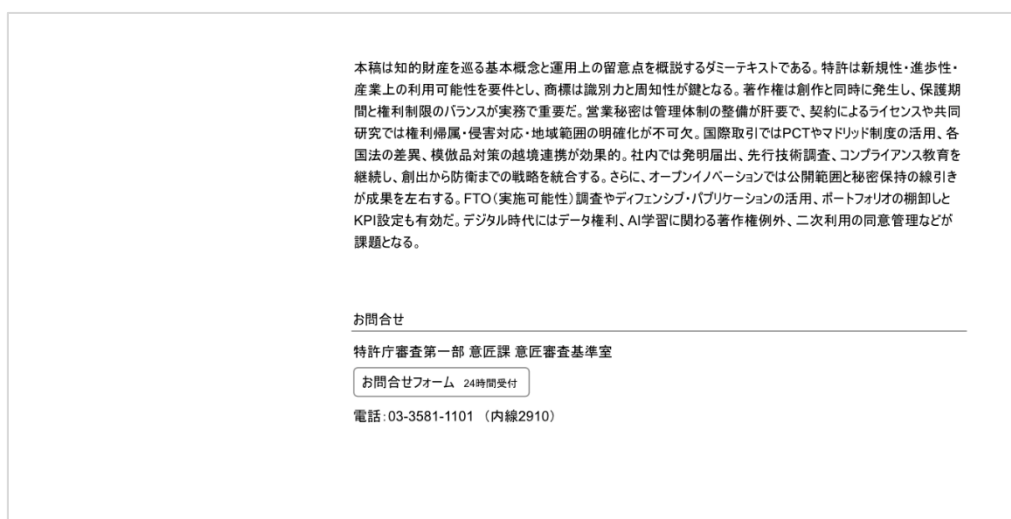
The screenshot displays a website interface for the Japan Patent Office. At the top, there is a navigation bar with the logo and menu items like 'Home', 'Notice', 'Regulation', etc. Below this, a breadcrumb trail is shown: 'Home > Second Level Title > Third Level Title > Fourth Level Title'. The main content area is divided into two columns. The left column contains a 'Third Level Title' section with a 'Summary (Overview)' link and a list of 'Fourth Level Title' links. The right column features a 'Fourth Level Title' section with a 'Published Date: 2026.1.1' and a detailed text block. Below the text, there is a 'Related Information' section with links to 'Related Title' and 'Related Article'. The text in the main content area discusses intellectual property concepts, patents, and trademarks.

図表 83 リストページの構成と関連情報セクションの配置



お問い合わせフォームを電話番号より上に配置し、24 時間受付などの利点を訴求して利用を促進することで、必要情報の収集と回答時間の確保を図る。

図表 84 コンテンツページの構成（ページ下部）



## 6. PDF コンテンツに対する配慮

Google などの検索エンジンを使って特許庁が管理する PDF に直接アクセスされた場合でも掲載元の HTML ページへ戻れるようにするには、PDF ファイル内に「出典ページへのリンク」を埋め込む。具体的には、PDF の冒頭に「この PDF は[元ページ名] (URL) からアクセスできます」といった注記を追加する。

図表 85 PDF からウェブサイトへ誘引するための注記例

このPDFは特許庁ホームページ[「令和元年意匠法改正特設サイト」](#)からアクセスできます。

### 関連意匠制度の拡充に関する Q&A

#### はじめに

この Q&A は、令和元年の意匠法改正(注)により拡充された関連意匠制度の審査運用について、ユーザーの皆様から寄せられるご質問への回答をまとめたものです。令和 2 年 4 月 1 日の改正意匠法の施行以降に出願される、意匠登録出願を対象としています。

今後も皆様からのご質問等に対応し、必要に応じて追加等を行っていく予定です。

注：令和元年 5 月 17 日に法律第 3 号として公布された「特許法等の一部を改正する法律案」に基づくもの。  
以下、本 Q&A においては、この改正によって改正された意匠法を「改正意匠法」といいます。

#### 目次

[願書について](#)

### 第3章 改善策（案）についてのヒアリング

#### 第1節. 特許庁、INPIT及び関係団体の担当者へのアンケート調査

##### 1. 実施概要

以下の内容にて実施した。

図表 86 実施概要

調査期間	2026年1月30日～2026年2月16日
調査方法	メール送付、メール回収
対象者	特許庁及びINPIT職員 ※外部機関については特許庁との協議を経て除外した。
回収数	19部署・担当者よりご意見を回収
調査項目	<ul style="list-style-type: none"><li>● 特許庁HPのトップページの試作ページ（修正版）および第2階層以下の方針に関する以下の評価<ul style="list-style-type: none"><li>➢ 訪問者が自力で目的の情報に到達できると思うか</li><li>➢ 掲載する情報のカテゴリーや項目は訪問者にとって適切だと思うか</li><li>➢ ウェブページはわかりやすく構成されていて、見やすいと思うか</li><li>➢ スマートフォン版は情報が網羅されつつ、レイアウトは使いやすいと思うか</li><li>➢ 第2階層以下について、改善が見込めると思うか</li><li>➢ 新たなウェブサイトのサイト構造（サイトマップ）について、検索性や情報へのアクセスの容易性の改善が見込めると思うか</li><li>➢ コンテンツページのレイアウト変更によって、視認性や情報へのアクセスのしやすさの改善が見込めると思うか</li><li>➢ PDFに掲載元ページのURLを貼り付けるルール変更によって、検索性や情報へのアクセスのしやすさの改善が見込めると思うか</li></ul></li></ul>

調査方法は、下図の Excel を担当者へメールで送付し、メールにて回答いただいた。設問は「①基本設問」と「②追加設問」に分け、回答しやすいよう、①では調査項目別に評価を5段階で問う形とし、②については任意回答とした。

加えて、別紙として特許庁ホームページの二階層以下のリニューアルに向けた対応案【概要版】を作成して添付した。

図表 87 特許庁、INPIT 及び関係団体の担当者への第二階層以下の改善策（案）に対するアンケート調査票（依頼文）

1	下記をふまえ、ご記入いただけますと幸いです。ご多用のところ恐縮ですが、何卒よろしくお願い申し上げます。
2	
3	■本アンケートの目的
4	-「令和7年度知的財産行政情報の収集促進支援調査事業(特許庁の戦略的な広報実施に向けた調査)」の一環で実施しております。
5	-特許庁ウェブサイト(https://www.jpo.go.jp/)のリニューアル後のトップページの「試作ページ」についてご意見をいただきたくご協力をお願いします。
6	-今回の試作ページはPC版およびスマートフォン版となっておりますので、それぞれご確認をお願いします。
7	※収集した情報について外部公開する報告書等に掲載する場合には、回答者が特定されない形に加工いたします。また、機微情報については対外非公開とします。
8	＜トップページの「試作ページ」について＞
9	-デジタル庁では「誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化を。」の実現を目指し、あらゆる人がデジタル化の恩恵を享受できる社会にすべく「デジタル庁デザインシステム」を公表しています(https://www.digital.go.jp/policies/servicedesign/designsystem)。
10	-本「試作ページ」は、デジタル庁デザインシステムを参照したものと なっています。
11	-そのため、現行のホームページでは、画像が一定時間で切り替わるカルセル表示、全体として青を基調としたデザイン等になっていますが、視野狭窄ユーザー、読み上げ機能を活用するユーザー等にもアクセスしやすいページリニューアルしたいと考えています。
12	-令和7年度において関係者の皆様のご意見をいただく最後のアンケートとなります。
13	＜第2階層以下のあり方(問題点と対応案)について＞
14	-第2階層以下について、これまでいただいたご意見もふまえ、問題点と対応案を作成しております。
15	-全体はやや細かいため、別添ファイルに概要をお示ししております。
16	
17	■ご回答方法
18	-「①基本設問」の薄オレンジ色セルにご記入ください。
19	-「①基本設問」については、ご所属の組織・部署、氏名をご記入いただいた上で設問①～⑧にご回答ください。
20	-上記「①基本設問」以外にもご意見がある場合、「②追加設問」シートに試作トップページの該当箇所または、第2階層以下の内容に分けてご意見をご記入ください。
21	-「②追加設問」が不足する場合は、適宜、行を追加してのご回答をお願いします。
22	
23	■評価対象
24	○トップページ試作版
25	※PC版とスマートフォン版の共通アドレスです。
26	https://shin-shisakuqa.jpo.go.jp/
27	※別途お知らせするIDとパスワードの入力が必要です。
28	○第2階層以下のあり方
29	※別添資料「特許庁ホームページの2階層以下のリニューアルに向けた対応案【概要版】」をご覧ください。
30	
31	■ご切
32	2026年2月6日(金)
33	
34	■返送先、問い合わせ先
35	本アンケートの依頼は特許庁広報室より発出しておりますが、回答は、本事業を委託している三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社内下記宛てにエクセルファイルをご返送ください。
36	特許庁の戦略的な広報実施に向けた調査事務局
37	ip_or@murc.jp

図表 88 特許庁、INPIT 及び関係団体の担当者への第二階層以下の改善策（案）に対するアンケート調査票（①基本設問）

	A	B	C
1	質問	ご回答例	回答欄
2	所属	特許庁○○部△△課□□室☆☆班	
3	氏名	○○ ○○	
4	ご連絡先 (本事業に関連する問い合わせ等の際にご連絡させていただきます。)	※メールアドレス ip_pr@murc.jp	
5	①訪問者が自力で目的の情報に到達できると思いますか。	とてもそう思う	【選択してください】
6	上記①について、「そう思わない」か「全く思わない」を選択した場合は、理由をお聞かせください。		
7	②掲載する情報のカテゴリーや項目は訪問者にとって適切だと思いますか。	そう思う	【選択してください】
8	上記②について、「そう思わない」か「全く思わない」を選択した場合は、理由をお聞かせください。		
9	③ウェブページはわかりやすく構成されていて、見やすいと思いますか。	そう思う	【選択してください】
10	上記③について、「そう思わない」か「全く思わない」を選択した場合は、理由をお聞かせください。		
11	④スマートフォン版は情報が網羅されつつ、レイアウトは使いやすいと思いますか。	そう思う	【選択してください】
12	上記④について、「そう思わない」か「全く思わない」を選択した場合は、理由をお聞かせください。		
13	⑤第2階層以下について、改善が見込めると思いますか。	とてもそう思う	【選択してください】
14	上記⑤について、「そう思わない」か「全く思わない」を選択した場合は、理由をお聞かせください。		
15	⑥新たなウェブサイトのサイト構造(サイトマップ)について、検索性や情報へのアクセスの容易性の改善が見込めると思いますか。	そう思う	【選択してください】
16	上記⑥について、「そう思わない」か「全く思わない」を選択した場合は、理由をお聞かせください。		
17	⑦コンテンツページのレイアウト変更によって、視認性や情報へのアクセスのしやすさの改善が見込めると思いますか。	そう思う	【選択してください】
18	上記⑦について、「そう思わない」か「全く思わない」を選択した場合は、理由をお聞かせください。		
19	⑧PDFに掲載元ページのURLを貼り付けるルール変更によって、検索性や情報へのアクセスのしやすさの改善が見込めると思いますか。	そう思う	【選択してください】
20	上記⑧について、「そう思わない」か「全く思わない」を選択した場合は、理由をお聞かせください。		
21	※収集した情報について外部公開する報告書等に掲載する場合には、回答者が特定されない形に加工いたします。また、機微情報については対外非公開とします。		
22	※現在の特許庁ウェブサイト(https://www.jpo.go.jp/)と比較した評価をお願いします。		

図表 89 特許庁、INPIT 及び関係団体の担当者への第二階層以下の改善策（案）に対するアンケート調査票（②追加設問）

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1		↓該当に○をつけてください。	対象ページ： <a href="https://shin-shisakupage.jpo.go.jp/">https://shin-shisakupage.jpo.go.jp/</a> ※アクセスにはIDとパスワードが必要です。							
2		トップページ PC版	トップページ スマホ版	第2階層 以下	対象箇所	課題に感じる点	改善案(あれば)	※適宜行を増やしてご回答ください		
3	回答1									
4	回答2									
5	回答3									
6	回答4									

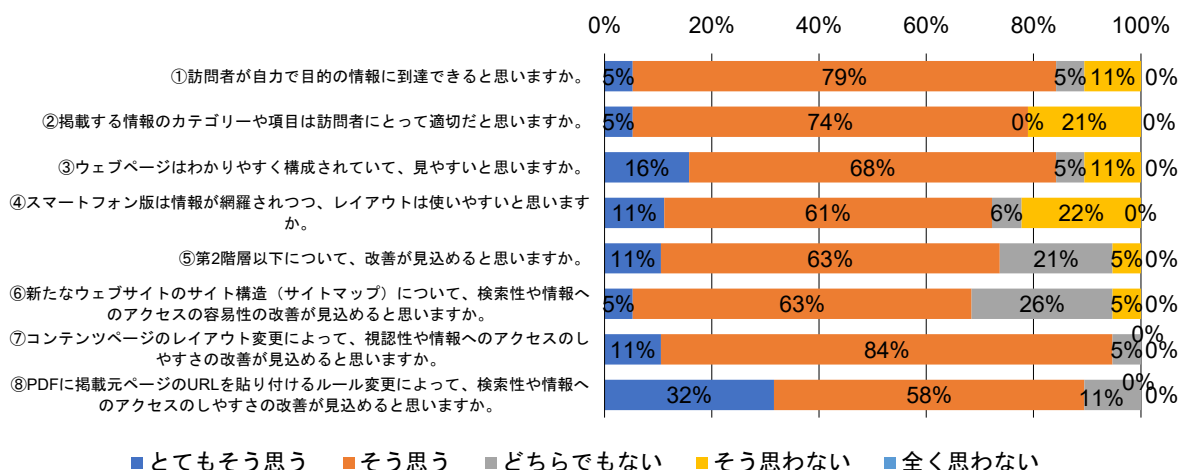
## 2. 実施結果

以下の結果を得た。

5段階で訪ねた基本設問に関しては、いずれの設問においても「とてもそう思う」と「そう思う」の合計が6割を超え、8割を超える設問も多数あり、概ね合意を得られた。

追加設問については、トップページに関する「誤字脱字等」が5件、「構成、レイアウト」に関するものが13件、「方針」に関するものが3件であった。

図表 90 基本設問の回答



図表 91 追加設問の回答分類

対象	誤字脱字等	構成、レイアウト	方針	合計
トップページ PC版	4	5	0	9
トップページ スマホ版	1	5	0	6
第二階層以下	—	3	3	6
合計	5	13	3	21

※複数の対象にまたがる回答もあった。

※誤字脱字等：誤字や文字切れ等に対するご意見

※構成、レイアウト：サイトの視認性や操作性に関するご意見

※方針：サイト作成にあたっての大きな考え方に関するご意見

## 第2節. ユーザーニーズ調査（3回目）

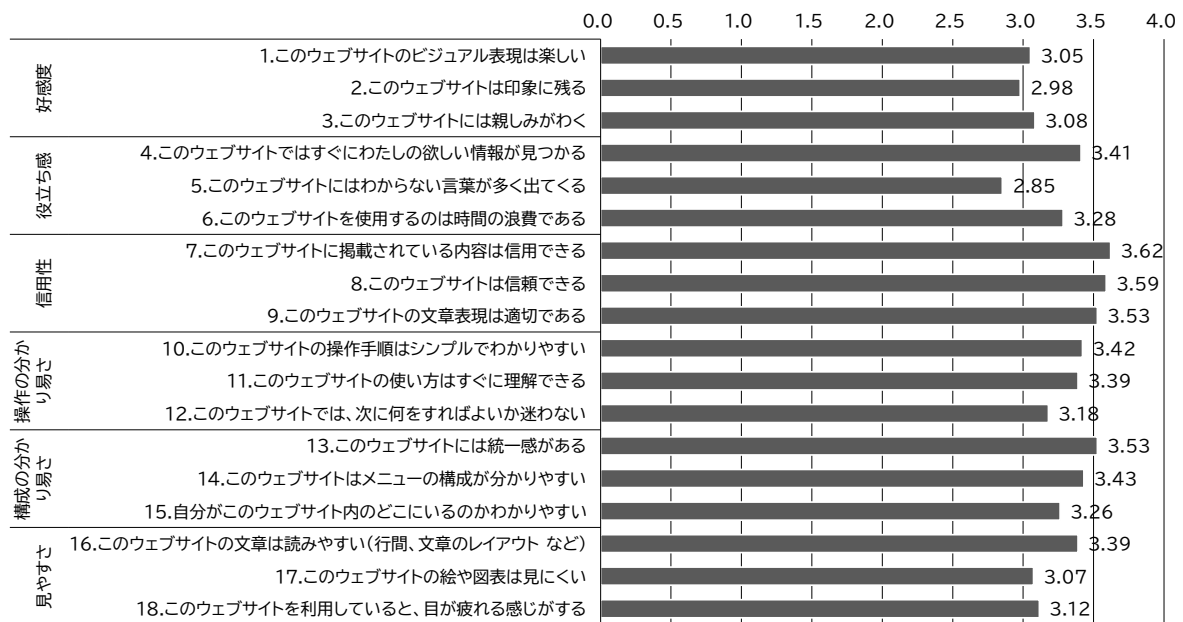
### 1. 調査結果

#### ① 知財の知識や知財制度になじみのない一般の方（ユーザー⑨）

##### (1) 試作ページ（トップページ）のユーザビリティ評価

##### ■評価項目別 評価点（5段階評価の平均点）

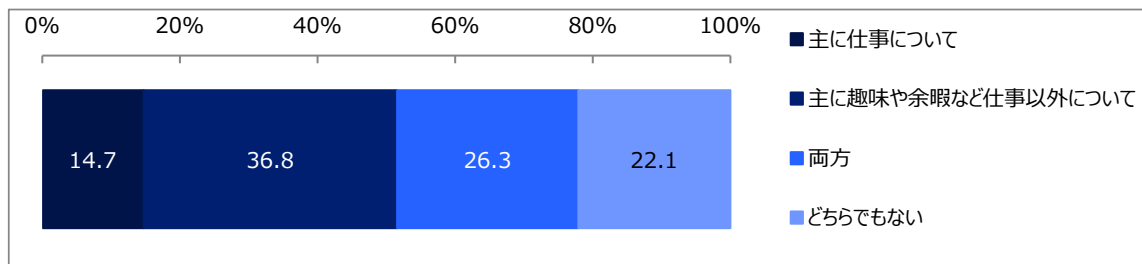
選択肢の点数化）大変そう思う=5、そう思う=4、  
どちらでもない=3、そう思わない=2、全くそう思わない=1  
※ 項目5, 6, 17, 18はマイナス評価のため、反対の点数を設定



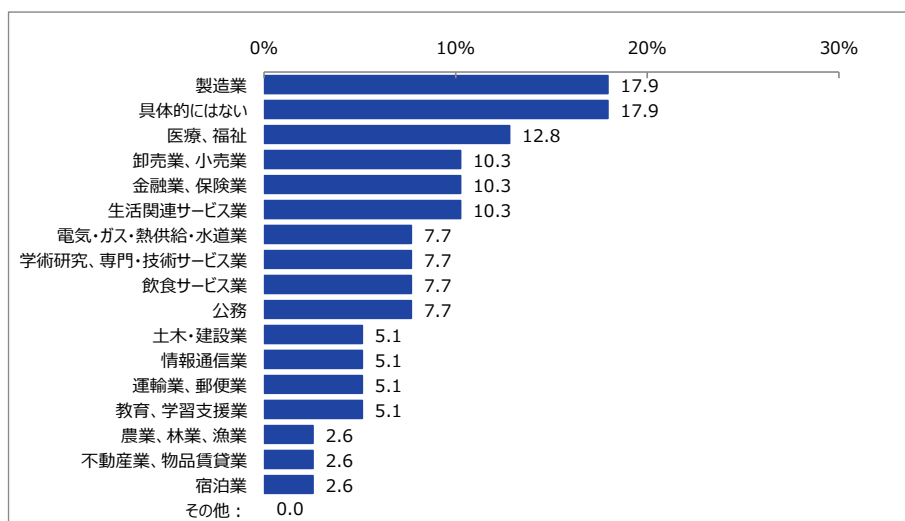
順位	評価項目	評価点
1位	7.このウェブサイトに掲載されている内容は信用できる	3.62 ↑
2位	8.このウェブサイトは信頼できる	↑ 前回調査より点数UP 3.59 ↑
3位	9.このウェブサイトの文章表現は適切である	➡ 前回調査と点数変化なし 3.53 ↑
4位	13.このウェブサイトには統一感がある	3.53 ↑
5位	14.このウェブサイトはメニューの構成が分かりやすい	前回13位⇒今回5位 3.43 ↑
6位	10.このウェブサイトの操作手順はシンプルでわかりやすい	3.42 ↑
7位	4.このウェブサイトですぐにわたしの欲しい情報が見つかる	3.41 ↑
8位	11.このウェブサイトの使い方はすぐに理解できる	3.39 ↑
9位	16.このウェブサイトの文章は読みやすい(行間、文章のレイアウト など)	3.39 ↑
10位	6.このウェブサイトを使用するのは時間の浪費である	3.28 ↑
11位	15.自分がこのウェブサイト内のどこにいるのかわかりやすい	3.26 ↑
12位	12.このウェブサイトでは、次に何をすればよいか迷わない	3.18 ↑
13位	18.このウェブサイトを利用していると、目が疲れる感じがする	3.12 ➡
14位	3.このウェブサイトには親しみがわく	3.08 ↑
15位	17.このウェブサイトの絵や図表は見にくい	3.07 ↑
16位	1.このウェブサイトのビジュアル表現は楽しい	3.05 ↑
17位	2.このウェブサイトは印象に残る	2.98 ➡
18位	5.このウェブサイトにはわからない言葉が多く出てくる	2.85 ➡

(2) 知的財産の関心の対象について

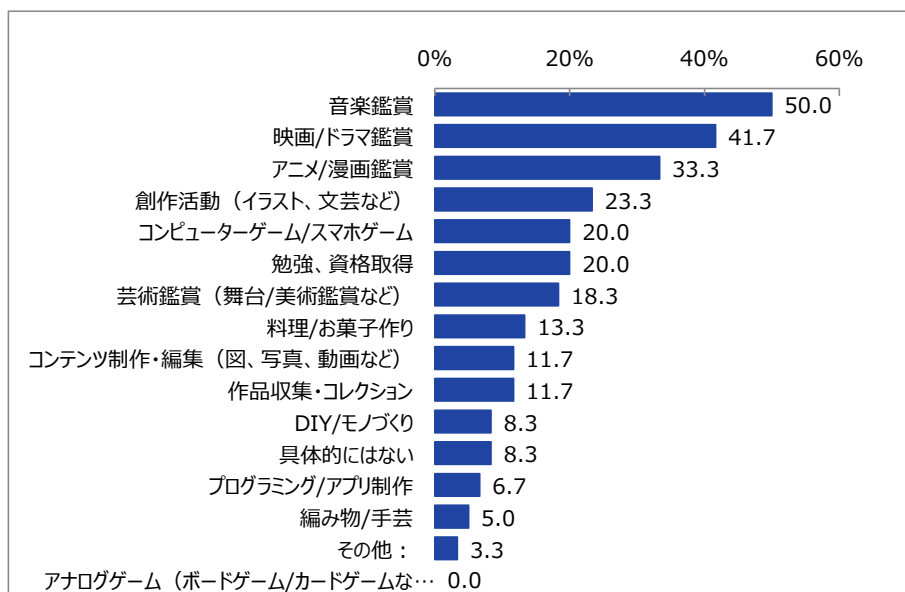
■あなたが関心のある知的財産の対象について教えてください。



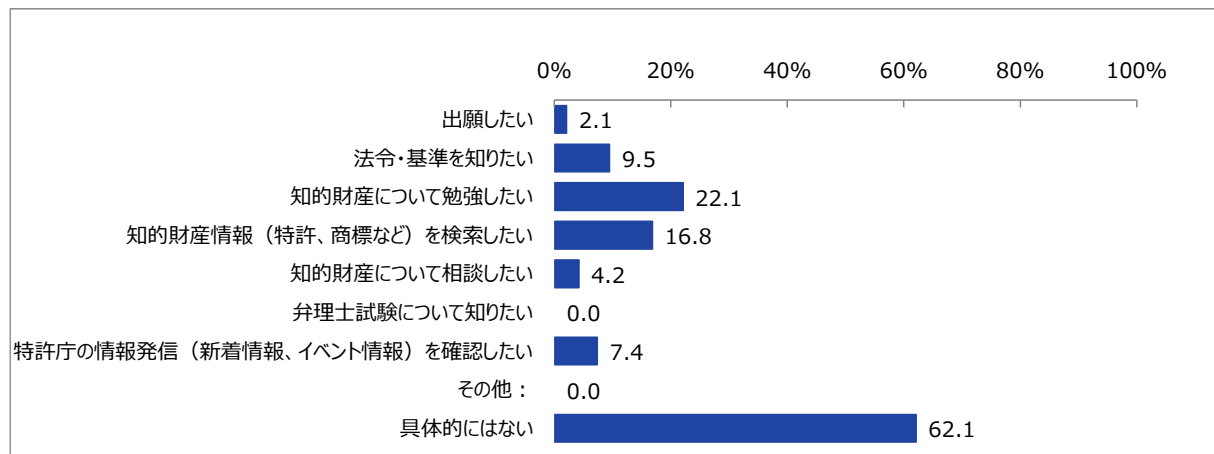
■あなたが関心のある「仕事について」の知的財産について、対象の業種を教えてください。(いくつでも)



■あなたが関心のある「趣味や余暇など仕事以外」の知的財産について、対象の趣味や余暇の内容を教えてください。(いくつでも)



■あなたの特許庁ウェブサイトの利用目的（可能性があるもの）について教えてください。（いくつでも）



## 第4章 特許庁関係者に対するヒアリング結果に基づく改善策の検討

### 第1節. ヒアリング結果に対する所感

特許庁関係者へのヒアリングを通じて、第二階層以下のサイト構造、コンテンツ配置、レイアウト、およびPDFへの元ページURLの追加について、改善の余地が大きいとの評価が得られた。多くの意見は検索性や情報アクセスの向上に期待を寄せるものだが、一部では情報過多や特定コンテンツの配置に関する懸念も示された。

具体的な提言として、URLのAI対応化、重複コンテンツの整理、弁理士試験情報等の重要コンテンツの階層配置に関する議論が挙げられた。これらのフィードバックは、利用者目線での抜本的な見直しを行い、より利便性の高いウェブサイトを構築するための有益な示唆を与えるものであった。

### 第2節. 改善すべき課題

#### 1. 弁理士試験情報等の配置の適切さ

「データ・資料・学習」内に「弁理士試験情報」が含まれる現状の構成には懸念が示された。特に「弁理士試験統計」については、「お知らせ」内の「弁理士試験」配下にある方がアクセスしやすいとの指摘があった。

#### 2. サイト構造（サイトマップ）における情報過多と階層の深さ

- (1) 1つの項目に含まれる情報量が多すぎると指摘された。例えば、「お知らせ」に「国際的な取組」や「DE&I」などが含まれており、ユーザーが「お知らせ」という項目から想起する内容と乖離している懸念がある。また、「支援情報・活用事例」にJ-PlatPat等の検索機能が含まれることへの違和感も指摘された。
- (2) 「弁理士試験」や「特定侵害訴訟代理業務試験」のように項目数が多く内容が多岐にわたる場合、第二階層の項目数を最大8つまでとする制限案では階層が深くなりすぎ、かえってアクセス性が悪化する懸念がある。
- (3) これまでのサイト構造構築が「継ぎ接ぎ的に新しい項目を追加し、ぶら下げてきた」状態に見受けられるため、抜本的な見直しが必要。

#### 3. 問い合わせ方法に関する懸念

電話対応の前にメール問い合わせを一律に推奨する方針について、内容によってはメールでの回答のほうが時間を要する場合があるため、一律の推奨は避けるべきとの意見があった。

#### 4. 「品質管理」の配置の非直感性

「特許庁について」の配下に「品質管理」が配置されているのは直感的ではないとの指摘があり、より適切な場所へ移動すべきとの意見が寄せられた。

#### 5. コンテンツページにおける「概要」の必要性への疑問

サイドメニューの設置や公開日をタイトル直下に記載する方針には賛同が得られたものの、ページ内容の「概要」表示については、かえって煩雑な印象を与える懸念があり、必要性が疑問視されている。個別のページ改善よりも、上位階層の構成整理を優先すべきとの認識が示された。

## 6. PDF 掲載元 URL の追加ルール・周知の不足

PDF に掲載元ページの URL を記載することで資料の出所を明確にする点は評価されたが、そのルールや追加手順が明確化されておらず、庁内で周知されていない点が課題として挙げられた。

## 7. AI 検索への非対応な URL 構造

AI を介した検索の増加を見据え、現状の URL 文字列（日本語のローマ字表記など）は AI が認識しにくいいため改善が必要との懸念が挙げられた。

### 第3節. 改善策の検討

#### 1. 弁理士試験情報の適切な配置

- (1) 弁理士試験情報は、現行通り「お知らせ」メニューに集約するか、または「データ・資料・学習・弁理士試験（仮）」のように明記した上で、弁理士関連情報をすべて移設する方向で検討する。
- (2) 「弁理士試験統計」は「お知らせ」内の「弁理士試験」配下に配置し、アクセス性を向上させる。

#### 2. サイト構造（サイトマップ）の抜本的な見直しと整理

- (1) 従来の「継ぎ接ぎ的」なサイト構造を見直し、URL 変更がどのような影響を及ぼすかを試算した上で、抜本的な見直しが可能かどうかを改めて審議する。例えば、階層構造に影響を及ぼさない「支援情報・活用事例」の J-PlatPat などは、階層変更を検討することを推奨する。
- (2) 1つの項目に情報が集中しすぎないようにコンテンツを再分類するとともに、多岐にわたる情報を持つコンテンツについては、階層が深くなりすぎない構造を検討する。

#### 3. 問い合わせ方法の慎重な運用

メールが電話に比べて回答に時間を要するケースがどの程度存在するか、庁内関係者にヒアリングを実施する。複数のケースで時間を要することが確認された場合は、問い合わせに対して一律にメールを推奨する運用は避け、特定の内容に限定して推奨するなど、状況に応じた柔軟な運用を検討する。

#### 4. コンテンツページレイアウトの改善

- (1) トップページと統一感のあるデザインを採用し、ユーザーフレンドリーな画面設計とする。
- (2) サイドメニューの設置や公開日記載の方針は維持しつつ、ページ内容の「概要」欄については必要性を再検討し、情報の視認性を確保する。

#### 5. PDF 掲載元 URL の追加ルール化と周知

掲載元ページの URL 追加方法をマニュアル化し、庁内全体へ周知・徹底する。

#### 6. AI フレンドリーな URL タイトルへの変更

一般的に、URLに含まれる日本語ローマ字表記を英語表記に変更（例: kanren\_isho → related\_design）することで、AI 認識精度やSEOに多少の効果はあるが、劇的な差は生じないとされている。一方で、英語表記は人間にとっても可読性が高く、リンク共有時にURLの意味が伝わりやすいというUX上のメリットがある。メリット・デメリットを踏まえ、URLの英語表記への変更を検討する。

## 第5章 特許関係ユーザーに対するヒアリング結果に基づく改善策の検討

### 第1節. ヒアリング結果に対する所感

特許関係ユーザーへのヒアリングを通じて、第二階層以下のページにおいてデザインの統一感欠如や情報過多による視認性の低下が主要な課題として浮き彫りになった。特に、階層が深くなるにつれナビゲーション機能が弱まり、ユーザーが迷いやすくなる点や、モバイル表示時の操作性に対する懸念が示された。

これらに対し、第二階層以降のデザイン刷新や、アプリ的な「戻り導線」の確保等の改善策が挙げられた。情報の探しやすさと読みやすさを両立させ、利用者目線でのユーザビリティ向上を徹底する必要がある。

### 第2節. 改善すべき課題

特許庁ウェブサイトの改善点として、主に以下の課題が挙げられた。

#### 1. 第二階層以降の統一感と情報量

- (1) 第二階層以降が現状のウェブサイトデザインページに接続される仕様で、情報量が増えるため、やや探しにくく、ビジーな印象がある。
- (2) 第二階層の各項目の表示内容や文量に差が大きく、特に文字数の多い情報が集まると視認性や使い勝手が劣る。具体的には「支援情報・活用事例」はタイトルの文字数が多く、「制度・手続」は掲載項目が多く詰め込まれた印象。

#### 2. ナビゲーションと戻り導線

- (1) サイトの階層が深くなるほど、「現在地」の把握や「戻り方」が不明確になり、利用者が迷子になりやすい。パンくずリストが弱いことや、ブラウザバックに頼るとフォーム入力が消えるなどの問題が発生する。
- (2) ヘッダーメニューとパンくずリストの表示に不一致があり、わかりづらい。

#### 3. モバイル利用時の課題

- (1) PDFや外部リンクに遷移した後に元のアプリ/ブラウザに戻れない。
- (2) 画面最上部の固定要素が大きく、実表示領域が狭い。
- (3) 文字サイズや行間の統一が崩れて、読み疲れが出る。

#### 4. サイト構造の項目重複

「お知らせ⇒お知らせトップ」や「制度・手続⇒制度・手続トップ」といった階層が不要ではないか(短冊展開時の項目と重複)

## 5. PC版とスマホ版の表示最適化

箇条書き項目の行間スペースが不足しており、見づらい。

### 第3節. 改善策の検討

#### 1. 第二階層以降のデザイン統一

- (1) 第二階層以降も第一階層と同様のデザインやトーンで統一し、見やすく、使いやすくする。
- (2) 第二階層の表示内容や文量について、視認性や使い勝手が向上するように改善する。

#### 2. ナビゲーション機能の強化

- (1) 「一覧へ戻る」のような、アプリ的な戻り導線を設けることを検討する。
- (2) タグ付け(マルチタクソノミー)やショッピングサイトのファセットナビゲーションのような、コンテンツを絞り込める便利な機能の導入。

#### 3. サイト構造(サイトマップ)の抜本的な見直しと整理

サイトマップの構造について、どの程度の見直しが可能かを審議する。その上で、不要な概要ページ(Overview)の削除を行う。

#### 4. 表示の最適化と効率化

- (1) スマートフォン・PC版の画面サイズを考慮し、スペース効率を改善する。
- (2) 箇条書き項目の行間スペースをUXの観点からトップページ同様のスペースを確保する。

## 第4部. 特許庁及び INPIT 職員向け検討会及び報告会の開催

### 第1章 検討会の開催

#### 第1節. 検討会の開催概要

##### 1. 検討会の開催準備

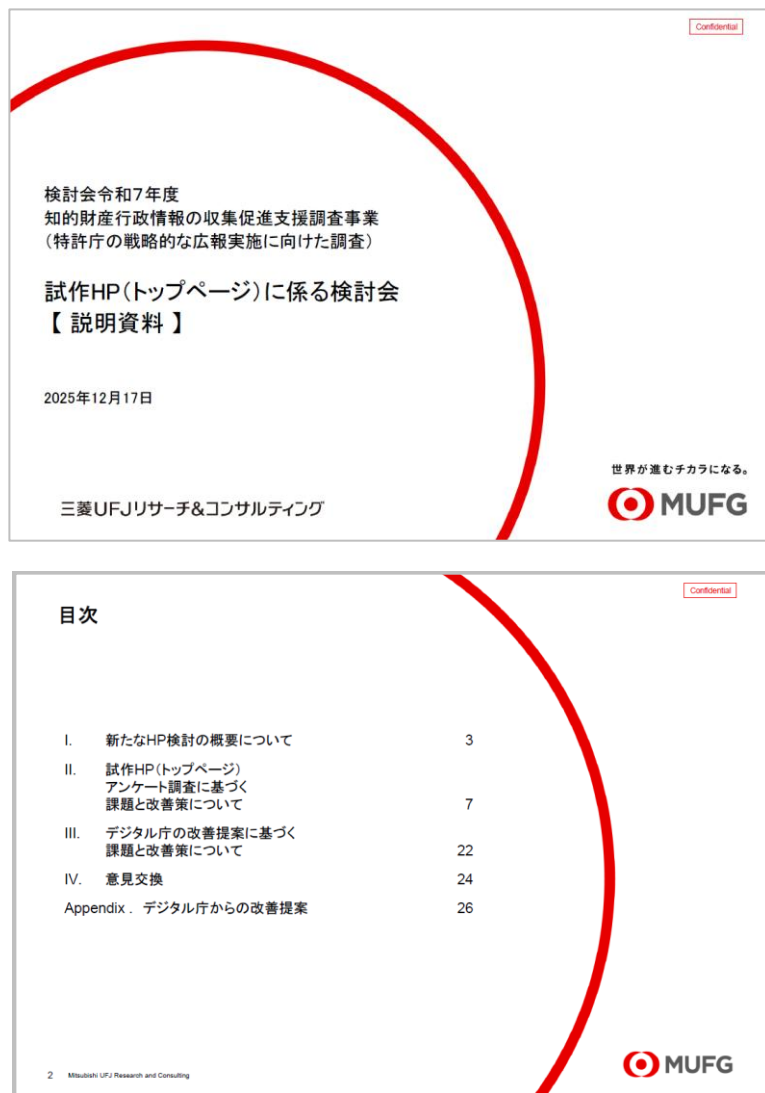
###### (1) 検討会に関するロジ面の準備

前述したトップページ(試作ページ)のあり方について、知財関連情報発信公的機関担当者のうち特許庁及び INPIT 職員の検討会を開催した。開催にあたり開催方法を検討、提案し、オンライン形式(Teams 会議を利用)を採用した。

###### (2) 検討会説明資料の準備

検討会の開催にあたり、事務局からの説明資料として、以下を準備し、事前配布を行った。

図表 92 検討会説明資料



## 2. 検討会の開催結果

### (1) 開催結果

開催結果は以下の通り。

図表 93 検討会開催概要

開催年月日	2025年12月17日(水) 15:30~16:30
場所・方法	オンライン開催 (Teams 会議)
対象者	特許庁及び INPIT 職員
次第等	1. 新たな HP 検討の概要について 2. 試作 HP (トップページ) アンケート調査に基づく課題と改善策について 3. デジタル庁の改善提案に基づく課題と改善策について 4. 意見交換
備考	デジタル庁からの改善提案についても全体共有を行った。

## 第2章 報告会の開催

### 第1節. 報告会の開催概要

#### 1. 報告会の開催準備

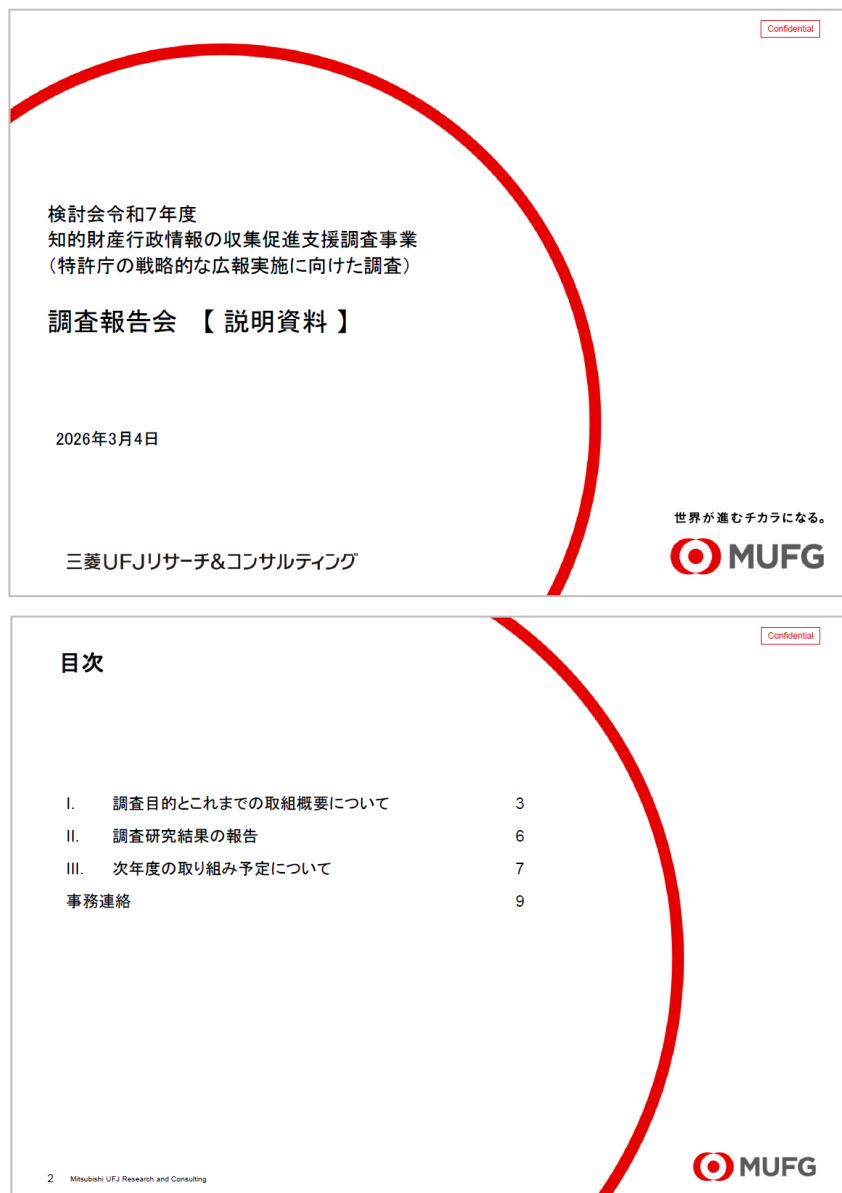
##### (1) 報告会に関するロジ面の準備

知財関連情報発信公的機関担当者のうち特許庁及びINPIT 職員の報告会を開催した。開催にあたり開催方法を検討、提案し、オンライン形式（Teams 会議を利用）を採用した。

##### (2) 報告会説明資料の準備

報告会の開催にあたり、事務局からの説明資料として、以下を準備し、事前配布を行った。

図表 94 報告会説明資料



## 2. 報告会の開催結果

### (1) 開催結果

開催結果は以下の通り。

図表 95 報告会開催概要

開催年月日	2026年3月4日(水) 11:00~12:00
場所・方法	オンライン開催 (Teams 会議)
対象者	特許庁及び INPIT 職員
次第等	1. 調査目的とこれまでの取組概要について 2. 調査研究結果の報告 3. 次年度の取り組み予定について 4. 事務連絡
備考	調査報告書(事務局案)を用い説明を行った。

## 第5部. 調査総括

### 第1章 調査概要

平成30年の現行ホームページ改訂以降、特許庁の戦略的な広報の中核としてホームページの役割は拡大しているが、情報量の増加や運用の複雑化により、ユーザーが必要な情報に迅速・確実に到達しづらい状況が見られる。

次年度のGSS（ガバメントソリューションサービス）移行も見据え、官庁サイトとしての高品位なUXとアクセシビリティ（JIS X 8341-3:2016、WCAG2.2）への適合、日英の情報構造の整合、スマートフォン等多端末最適化、FAQ等による自己解決支援の強化が喫緊の課題である。

このため、国内外のベストプラクティス調査、ユーザー調査、庁内関係者ヒアリング、試作ページによる検証を通じて、トップページの再設計と第二階層以下の再編方針を策定・検証し、納入・総括までを行った。

### 第2章 個別調査結果のまとめ

#### 第1節. 既存ホームページの課題把握に向けた調査

##### 1. 結果ふりかえり

企業支援情報の発信に強い官庁・民間の21サイトを選定し、利用者体験（UX）の5要素で現状を評価した。特許庁サイトは落ち着いた配色で信頼感がある一方、文字の小ささ、整列の不統一、アクセシビリティ未達などが課題として整理できた。また、左揃え・縦並び、固定ヘッダー、検索は上部メニュー内、画像の代替テキスト、上位5件の新着表示などが有効な方針と整理した。

##### 2. グループインタビューの結果より

庁内アンケートとグループインタビューでは、電話案内の難しさ、「よくある質問」の見つけにくさ、新着情報の過多、日英ページの構造の差、スマホ表示の崩れ、採用情報の発信不足が課題として指摘された。

#### 第2節. 特許庁ホームページのトップページのリニューアルに関する調査

##### 1. 結果ふりかえり

トップページの試作をモックで可視化し、サブドメインで検証環境を整備して職員・利用者にはヒアリングを実施した。また、デジタル庁と2回協議し、固定表示のバナー、左揃え徹底、リンク下線、メニュー開閉の視覚変化などを反映させた。

これらをもとに、縦スクロールの圧縮、項目順の見直し、検索窓の常時表示（パソコン）、キービジュアル縮小、採用情報のメニュー追加、「よくある質問」の強化、「目的から探す」の再追加、SNSリンクの明確化を実施した。また、日本語・英語のトップページを納入し、国際指針（WCAG2.2）と国内規格（JIS X 8341-3:2016）に適合させた。

## 2. 獲得した主な知見

- ・ 自力到達のしやすさは意見が分かれたが、見やすさ・わかりやすさは概ね好評であった。
- ・ 縦スクロールの圧縮、項目順の見直し、検索窓の常時表示（パソコン）、キービジュアルの縮小、メニューに採用情報追加を反映した。
- ・ 「よくある質問」の強化、「目的から探す」を再追加、文言の統一、SNS リンクの明確化（X や動画チャンネルの個別ボタン）を実施した。
- ・ デジタル庁の指摘に沿い、固定表示のバナー、左揃え徹底、リンクの下線、メニュー開閉の視覚変化などに改良した。
- ・ 日本語・英語のトップページを納入し、WCAG2.2 と JIS X 8341-3:2016（AA）の適合を確認した。
- ・ トップの構成は「重要なお知らせ」「はじめての方」「よくある質問」「制度から探す」「行政サービス・ピックアップ」「ユーザー別ガイド」「目的別ガイド」「新着・報道」「イベント」「採用」「関連リンク」「広報・SNS」などに整理した。
- ・ 今後の運用では、各セクションの項目数を 9 件以内へ整理し、開閉式から一覧表示への切り替えを検討することを整理した。
- ・ 検証環境は政府のデザインシステムを活用し、ベーシック認証で保護して試作を共有した。

### 第3節. 特許庁ホームページの2階層以下のリニューアルに向けた準備

#### 1. 結果ふりかえり

第二階層以下は代表ページで UX とアクセシビリティを評価し、構造が深い、PDF 依存、パンくずの不整合、スマホ不具合、日英構造差など 9 課題を抽出した。

優先度を定め、PDF 依存について HTML を正本化させること、パンくずは主経路のみとすること、FAQ の集約と検索強化、問い合わせ先の整理、デバイスの画面サイズや解像度に合わせて Web サイトのデザインやレイアウトを最適化すること、日英の構造共通化を提案した。また、「資料・統計」を「データ・資料・学習」に改称・集約し、コンテンツは「タイトル→公開日→概要→見出し→本文」に統一させる、また、サイドメニューと「一覧へ戻る」を設ける案を提案した。このほか、PDF に元ページ URL を明記する運用を提案し、URL は英語表記の検討案を示した。

庁内・外部からはブラウザバックに依存しない戻り導線の明確化やスマホ表示最適化などの改善要望が寄せられた。

#### 2. 獲得した主な知見

- ・ 主な課題は、構造の深さ、PDF 依存、パンくず（現在地表示）の不整合、スマホ表示の崩れ、多言語構造差であった。
- ・ アクセシビリティでは、見出し構造、コントラスト、文字画像、キーボード操作、ボタンの役割設定に不適合があった。
- ・ 解決策は、PDF 依存については HTML を正本にする、パンくずは主経路のみ、FAQ の集約と検索強化、問い合わせ先の整理、デバイスの画面サイズや解像度に合わせて Web サイトのデザインやレイアウトを最適化すること（レスポンス最適化）、日英の構造共通化と整理した。

- ・ 階層再編として「資料・統計」を「データ・資料・学習」に改称し、キッズなど関連情報の集約案を提示した。
- ・ コンテンツページは「タイトル→公開日→概要→見出し→本文」の順に統一し、サイドメニューと「一覧へ戻る」を設ける措置を実施した。
- ・ PDF には、掲載するページの URL を明記するルールを提案し、検索で直接 PDF にアクセスした際に PDF を掲載するページへの移動を容易にする工夫を実施した。URL は英語表記へ変更する検討案を提示し、認識性と共有時の可読性向上を図ることが 妥当と整理した。
- ・ 庁内等からの改善案評価は 6 割超が賛同であり、構成・レイアウト・方針に関する追加意見を反映した。また、外部モニターからは、戻り導線の明確化、スマホの固定要素の最適化、行間の統一などの要望が寄せられた。

#### 第4節. 特許庁及び INPIT 職員向け検討会及び報告会の開催

##### 1. 結果ふりかえり

職員向けにオンラインで検討会を実施し、トップページの試作ページについてのアンケートに基づく課題と改善策、デジタル庁の改善提案を共有した。縦に長い項目で居場所が分かりづらい点や画面上の目印の工夫などの質問に対して、項目再検討やスマホ前提の工夫を複数案で検討する方針を示した。

同様に、調査報告書（案）をもとに、調査の全体を共有する報告会を開催し、本調査の成果を共有するとともに次年度の予定についても共有を行った。

### 第3章 調査全体のまとめ

本調査は、トップページから第二階層以下まで一貫して「利用者中心」と「誰も取り残さない情報提供」を軸に、構造・デザイン・運用の三身一体で課題を特定し、改善策を具体化させた。

ターゲットの定義（探している情報が掲載されている箇所に最短で到達したい方／案内が必要な方）に基づき、トップでは「重要なお知らせ」「はじめての方」「よくある質問」「制度から探す」「ユーザー別・目的別ガイド」「行政サービス・ピックアップ」などを整理し、視線の流れを左揃え・縦並びに統一して、迷わず最短で到達できる導線となるよう設計した。庁内の実務課題である電話案内の困難や FAQ の分散、新着情報の過多、英語版との構造差、スマホ表示の不具合に対し、FAQ の集約と表示方法の変更、上位 5 件表示と一覧による誘導、日英の構造の共通化、デバイスの画面サイズや解像度に合わせて Web サイトのデザインやレイアウトを最適化すること（レスポンス最適化）を具体化させた。

第二階層以下は、構造の深さと PDF 依存が情報アクセスの妨げになっているため、HTML を正本にしてパンくずは主経路のみとすること、左側に同階層ナビと「一覧へ戻る」を備えるといった方針を推奨する結論に至った。PDF へ元ページ URL を明記することで検索で直接 PDF にアクセスした際に PDF を掲載するページへの移動検を可能にし、誤参照を防ぐことも一考すべき事項となる。

表記や階層の統一、項目数の上限化（認知負荷の低減）により、見つけやすさと読みやすさの両立を図ることができることを期待する。なお、英語版は日本語版と構造を共通化し、言語切替時の一対一対応で案内の一貫性を高めることが必要と整理した。

アクセシビリティは、国際・国内規格への適合を前提に、見出し構造、コントラスト、テキスト実装（画像でない文字）、キーボード操作、ボタンの役割設定などを改修して品質を担保することを提案した。また、デジタル庁のデザインシステムに準拠し、色数を抑え、固定ヘッダーやリンクの視覚表現を統一することで、官庁としての高品位な印象と操作の予測可能性を確保できるものと考えた。

運用面では、FAQの整備・集約、問い合わせ先の整理、画像の代替テキストの徹底、PDFの注記、表記ルールやテンプレートの標準化などを通じて、更新作業の再現性と一貫性を高める必要がある。また、新着・イベント・広報は分けて表示し、埋もれを防ぎつつ一覧への導線で利用者自らの深掘りを促す構成が望ましいと考える。

今回試作したトップページの改訂案は、トップの見やすさと自力到達の支援、下層の構造整理とアクセシビリティの適合、運用ルールの整備という三層の対策が相互に補完し合う設計とした。職員アンケートと検討会の意見を随時取り込んだ段階的な改良により、電話案内の負荷軽減、自己解決の促進、誤参照の防止、日英・多端末での使いやすさ向上が期待される。

今後は、各セクションの項目数の削減や開閉式から一覧表示への切り替えなど、運用データを踏まえた継続改善を進め、利用者にとって「探しやすく、分かりやすく、使いやすい」ホームページの定着を目指していくことが今後取り組むべき課題であると考えます。

#### 第4章 今後の取り組みについて（戦略的な広報にあたりとるべき方針案）

今後の戦略的な広報を実践していくにあたり、重視する観点を整理し、とるべき方針として整理した。

- トップページの改善：第2部第4章第3節. 納入物に示す試作トップページを導入する。導入に際しては、以下の点を実施の上、導入する。
  - ・各セクションの項目数の削減と表示形式の見直し
- 第二階層以下の改善：以下の点を実施する。
  - ・第2階層以下の一部ページにおける階層の見直し（「第3部第2章第2節3. 第二階層以降の階層について」に対応）
  - ・サイドメニュー導入により、ユーザーが現在位置や関連ページを把握できるようにする（「第3部第2章第2節5. 第二階層以降のコンテンツページデザイン」の一部に対応）。

・PDF ファイルを掲載する場合には、PDF を掲載する元ページの URL を PDF に掲載する運用とする（既存の PDF ファイルには適用しない）。

▶ アクセシビリティの継続担保：

JIS X 8341-3:2016 ・ WCAG2.2 AA 準拠の維持、デジタル庁デザインシステム準拠の運用を図る。

## 謝 辞

本報告書をまとめるにあたり、ご協力いただいた特許庁職員、独立行政法人工業所有権情報・研修館職員の方々、モニター調査にご協力いただいた各機関関係者や有識者、一般モニターの方々に厚く御礼申し上げます。

令和8年3月

三菱UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社

非売品  
禁無断転載

令和7年度 知的財産行政情報の収集促進支援調査事業  
特許庁の戦略的な広報実施に向けた調査

令和8年3月

請負先 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

乱丁、落丁がございましたら、上記までご連絡下さい

## 二次利用未承諾リスト

## 報告書の題名

知的財産行政情報の収集促進支援調査事業  
 (特許庁の戦略的な広報実施に向けた調査) 調査報告書

## 委託事業名

知的財産行政情報の収集促進支援調査事業  
 (特許庁の戦略的な広報実施に向けた調査)

## 受注事業者名

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

頁	図表番号	タイトル
6～28	4～24	「美しさ」「わかりやすさ」「見やすさ」「使いやすさ」「探しやすさ」に関する調査結果
32～47	31～35	特許庁、INPIT及び関係団体の担当者への現状把握におけるアンケート調査票及び調査結果、検討会での説明資料
50～61		調査票
72～79	38～52	トップページデザイン案ほか
81～92	54～58	特許庁、INPIT及び関係団体の担当者へのアンケート調査票及び調査結果
100	65	デジタル庁との協議結果に基づく主な改良点
149～150	87～89	特許庁、INPIT及び関係団体の担当者へのアンケート調査票及び調査結果